講義科目名称： 解剖学Ⅱ　　授業コード： 4N033

英文科目名称： AnatomyⅡ　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　脈管系１ 血管系総論　心臓　刺激伝導系　心臓の血管（冠状動脈）	浅見知市郎
	第2回　脈管系２ 肺循環と体循環　動脈系　静脈系	浅見知市郎
	第3回　脈管系３ 胎生時の循環系　リンパ系（リンパ節　リンパ本幹）　脾臓　胸腺	浅見知市郎
	第4回　脈管系４　消化器系１ 血液　血球　造血器官　内臓学総論（粘膜　腺）　口腔（歯）	浅見知市郎
	第5回　消化器系２ 口腔（口蓋　舌　唾液腺）　咽頭　食道	浅見知市郎
	第6回　消化器系３ 胃　小腸（十二指腸　空腸　回腸）	浅見知市郎
	第7回　消化器系４ 大腸（盲腸　結腸　直腸）　肝臓　胆嚢　膵臓	浅見知市郎
	第8回　呼吸器系１ 鼻腔　副鼻腔　喉頭　気管　気管支	浅見知市郎
	第9回　呼吸器系２　泌尿器系 肺　胸膜　腎臓　尿管　膀胱　尿道	浅見知市郎
	第10回　生殖器系１ 男性生殖器（精巣　精巣上体　精管　精嚢　前立腺　陰茎　精液　精子）	浅見知市郎
	第11回　生殖器 女性生殖器（卵巣　卵管　子宮　膣　外陰部　胎盤）　腹膜	浅見知市郎
	第12回　内分泌系 内分泌器（下垂体　松果体　甲状腺　上皮小体　副腎　膵島）	浅見知市郎
	第13回　感覚器系１ 視覚器（眼球　眼球の付属器）	浅見知市郎
	第14回　感覚器系２ 平衡聴覚器（外耳　中耳　内耳）	浅見知市郎
	第15回　感覚器系３ 皮膚（表皮　真皮　皮下組織　角質器　皮膚の腺）　人体の発生のあらまし	浅見知市郎
科目の目的	看護職としての基本知識となる脈管・内臓・発生の肉眼解剖学的構造を習得する。【対象の理解】	
到達目標	脈管・内臓の基本的な構造と発生学について説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ　生理学Ⅰ　生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	試験100％	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで配布する講義資料を理解しながら通読すると概ね1時間を要する。	
教科書・参考書	教科書：「入門人体解剖学」藤田恒夫（南江堂） 参考書：特に無し	
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (asami@paz.ac.jp)	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-d～i、Ⅲ-10-A-k、Ⅲ-10-A-m～n ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-5-B-a、Ⅰ～Ⅲ-5-C-a、Ⅰ～Ⅲ-5-D、Ⅰ～Ⅲ-6-A～C、Ⅰ～Ⅲ-7-A、Ⅰ～Ⅲ-9-A-a～b、Ⅰ～Ⅲ-9-B-b、Ⅰ～Ⅲ-10-A-a、Ⅰ～Ⅲ-10-B、Ⅰ～Ⅲ-11-A-a～c、Ⅰ～Ⅲ-11-B-a～c、Ⅰ～Ⅲ-11-B-e～f、Ⅰ～Ⅲ-13-A-a、Ⅰ～Ⅲ-13-C-a～b、Ⅰ～Ⅲ-15-C、Ⅰ～Ⅲ-16-A-a～c、Ⅰ～Ⅲ-16-A-g、Ⅰ～Ⅲ-16-B～C	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 看護学概論Ⅰ　　授業コード： 4N060

英文科目名称： Introduction to Nursing Ⅰ　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美			

授業形態	講義（８回）グループワーク（2回　講義中に組み込む）	担当者
授業計画	第1回　ガイダンス・看護とは（１） 看護の定義と役割、看護の特徴と社会的責任について学ぶ。	萩原　一美
	第2回　看護とは（２） 看護の主要概念である人間、健康、環境について学ぶ。	萩原　一美
	第3回　看護とは（３） 看護の主要概念である人間、健康、環境について学ぶ。	萩原　一美
	第4回　看護の対象 看護の対象の捉え方、ライフサイクルと健康について学ぶ。	萩原　一美
	題5回　看護の提供者（１） 職業としての看護の確立までの歴史的変遷と、資格・養成制度について学ぶ。	萩原　一美
	第6回　看護の提供者（２） 安全で安心な看護を提供するための方法について学ぶ。	萩原　一美
	第7回　看護における倫理 倫理、道徳、法の理解を前提とした看護倫理を学ぶ。	萩原　一美
	第8回　看護職を取り巻く法的側面 保健師助産師看護師法をはじめとする看護の関連法規について学ぶ。	萩原　一美
科目の目的	看護の歴史的変遷を踏まえ、看護学の主要概念である「人間」「環境」「健康」「看護」を掘り下げて学ぶことにより、看護とは何かを考察する。また、看護の対象を理解した上で、看護提供者としての役割と責務を看護に関連する法律と関連づけて理解する。【対象の理解】【国際的な視野】	
到達目標	1.看護の主要概念（健康・環境・人間・看護）について説明できる。 2.看護の歴史と変遷について説明できる。 3.看護提供者としての役割と責務を関連法規と結び付けて説明できる。 4.看護とは何かについて自己の考えを表現できる。	
関連科目	基礎看護技術演習、看護学概論Ⅱ、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション論、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、看護過程論入門、看護過程展開論、治療援助学演習をはじめとする看護学全般の基盤となる	
成績評価方法・基準	筆記試験（80%）、課題レポート（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿って、教科書の該当ページを読み、理解できない内容を明確にして授業に臨むこと。 1コマあたり約120分の事前学習と復習が必要。	
教科書・参考書	教科書：系統看護学講座　専門分野　看護学概論　基礎看護学１　茂野　香おる　吉岡　京子　他 医学書院 参考書:特になし	
オフィス・アワー	萩原　一美：授業日の前後の時間(研究室)	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-1-A～C、Ⅰ-4-A～C、Ⅰ-5-A～B、Ⅱ-6-A～B、Ⅱ-7-A～G、Ⅱ-8-A～B、Ⅱ-9-A、Ⅲ-11-B-a ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅰ-2-A ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅰ-1-A～B、Ⅲ-6-D-c～h、Ⅲ-7-A-a、Ⅲ-7-A-c、Ⅲ-7-A-e、Ⅲ-9-A-c、Ⅲ-10-A、Ⅳ-11-A、Ⅳ-11-B-a、Ⅳ-11-C-a～c ≪基礎看護学≫-Ⅰ-1-A～C、Ⅰ-2-A～B、Ⅱ-3-D-a ≪成人看護学≫-Ⅰ-1-A～C、Ⅰ-2-A～C ≪老年看護学≫-Ⅰ-1-A～C、Ⅲ-9-A-b ≪小児看護学≫-Ⅰ-2-A-a、Ⅰ-2-A-d ≪精神看護学≫-Ⅰ-1-D-a、Ⅰ-1-D-c～e ≪在宅看護論／地域・在宅看護論≫-Ⅰ-1-B-a～d、Ⅰ-1-B-f	
履修条件・履修上の注意	予習、復習し、主体的に授業に臨むこと。	
アクティブ・ラーニングの実施	演習は、グループワーク・調査学習を行う。	

講義科目名称： 看護学概論Ⅱ　　授業コード： 4N061

英文科目名称： Introduction to NursingⅡ　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原一美	長嶺めぐみ		

授業形態	講義（６回　グループワークを含む）演習（２回）	担当者
授業計画	第1回　看護理論（１）講義 看護の理論家にみる看護の定義を学ぶ。	萩原一美
	第2回　看護理論（２）演習 看護理論家の主要概念と看護の視点を学ぶ。	萩原一美
	第3回　国民の健康・生活　講義 国民の健康・生活の全体像を把握し、現代の日本人の健康と生活を考える。	萩原一美
	第4回　看護における倫理（１）講義 前期の看護倫理をさらに発展させて、看護倫理を深める。	萩原一美
	第5回　看護における倫理（２）演習 看護倫理とは何か、看護における倫理の必要性を考察する。	萩原一美
	第6回　広がる看護の活動領域：講義 国際看護、災害看護の基礎知識および看護の役割・活動について学ぶ。	長嶺めぐみ
	第7回　看護職のキャリア・看護政策（講義） 看護職のキャリア発達・キャリア開発を学ぶ。また、看護政策の基本的な内容を知る。	萩原一美
	第8回　医療安全・看護の継続性と多職種連携　講義・グループワーク 医療安全の視点から医療事故における法的責任について学ぶ。 チーム医療における医療安全と多職種連携について学ぶ。	萩原一美
科目の目的	「看護学概論Ⅰ」の学習を踏まえ、看護の基盤になる理論、方法について学習する。看護の見方・考え方の基盤として看護理論について学習し、看護学の特徴や看護実践への活用方法を理解する。また、倫理上の課題、医療事故の問題等について考え、看護師を目指すものとして現実の課題について関心をもつ。国際看護・災害看護の基礎知識および活動について理解する。 【対象の理解】【国際的な視野】	
到達目標	1. 看護理論家の理論を構成する主要概念や特長について説明できる。 2. 看護の倫理原則及び倫理的概念について説明できる。 3. 看護の倫理的課題、医療安全の側面から社会における看護の役割について説明できる。 4. 国際看護・災害看護の基礎知識をふまえて看護の役割、機能について説明できる。	
関連科目	既習学習の基礎看護技術演習、看護学概論Ⅰ、同時進行の日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、2年次以降の看護過程入門、看護過程展開論演習、治療援助学演習をはじめとする看護学全般の基盤となる。	
成績評価方法・基準	筆記試験（80%）課題レポート（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿って、教科書の該当ページを読み、理解できない内容を明確にして授業に臨むこと 1コマあたり約120分の予習と復習が必要。	
教科書・参考書	教科書：系統看護学講座　専門分野　看護学概論　基礎看護学①　茂野香おる，吉岡京子、他　医学書院 参考書：なし	
オフィス・アワー	萩原　一美：授業の前後の時間　（研究室） 長嶺めぐみ：授業の前後の時間　（研究室）	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-2-C ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅰ-1-C-a、Ⅰ-1-C-c、Ⅰ-2-A-a、Ⅰ-2-A-d、Ⅰ-2-B-a、Ⅰ-2-B-c～f、Ⅱ-3-A-b～c、Ⅱ-3-B、Ⅱ-4-A-b、Ⅱ-4-B-b、Ⅱ-4-B-e、Ⅲ-10-B-a、Ⅲ-10-B-d、Ⅳ-11-D-a～b ≪基礎看護学≫-Ⅰ-1-A-c、Ⅰ-1-D、Ⅰ-2-C、Ⅲ-6-A～B ≪成人看護学≫-Ⅲ-6-D-c ≪老年看護学≫-Ⅲ-9-A-a ≪母性看護学≫-Ⅰ-1-A-a～b、Ⅰ-1-C ≪在宅看護論／地域・在宅看護論≫-Ⅰ-2-A、Ⅰ-2-D-b～c、Ⅰ-1-B-a～d、Ⅲ-8-A-a～d、Ⅲ-8-B-a～d、Ⅲ-8-C-a～d、Ⅲ-8-D-a～d、Ⅲ-8-E-a～d、Ⅲ-8-F-a～d、Ⅲ-9-A-a、Ⅲ-9-B-a ≪看護の統合と実践≫-Ⅰ-1-A-a、Ⅰ-1-A-c、Ⅰ-1-C-b、Ⅰ-1-E-a、Ⅱ-2-A～B、Ⅲ-3-A～B、Ⅳ-4-A、Ⅳ-4-E	
履修条件・履修上の注意	予習・復習し、主体的に授業に臨むこと。	
アクティブ・ラーニングの実施	演習では、調査学習・グループディスカッションを行う。	

講義科目名称： コミュニケーション論　　授業コード： 4N063

英文科目名称： Communication Theory　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
萩原 一美	堀込由紀		長嶺めぐみ	千葉今日子
	森田綾子		佐藤美保	

授業形態	講義　8時間（４回）　演習　8時間（４回）	担当者
授業計画	第1回　コミュニケーションの意義と目的・構成要素と成立過程：講義 １．コミュニケーションの意義と人間のコミュニケーションの特徴を学ぶ。 １）医療・看護におけるコミュニケーション ２）コミュニケ―ションと観察 ２．コミュニケーションにおける構成要素と成立過程を理解する。	萩原一美
	第2回　看護におけるコミュニケーションの実際（カンファレンス）：講義 １．カンファレンスにおける基本的な知識を理解する。	萩原一美
	第3回　看護におけるカンファレンスの実際　：演習 日常生活援助学演習Ⅰでの体験に基づくテーマカンファレンスを行う。 カンファレンスにおける役割（司会・参加者）の役割を体験する。 カンファレンスの体験をとおして、自己のコミュニケーションの課題を分析・考察する。	萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 千葉今日子 森田綾子 佐藤美保
	第4回　看護における対人関係を振り返る方法（プロセスレコード、ロールプレイ、リフレクション）：講義 １）プロセスレコード ２）ロールプレイ ３）リフレクション	萩原一美
	第5回　コミュニケーションの方法：演習（ロールプレイ） 事例のロールプレイをグループで実践する。 ロールプレイ終了後にテーマカンファレンスを行う。	萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 千葉今日子 森田綾子 佐藤美保
	第6回　コミュニケーションを振り返る方法：演習（プロセスレコード①） 自身の日常会話の中から、気かがりなこと、違和感を感じた場面を再構成し、プロセスレコードの構成要素を理解する。	萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 千葉今日子 森田綾子 佐藤美保
	第7回　コミュニケーションを振り返る方法：演習（プロセスレコード②） 看護における傾聴・受容・共感について考える 日常生活援助学演習Ⅱでの体験をプロセスレコードを用いての再構成し、自己のコミュニケーションを振り返る。	萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 千葉今日子 森田綾子 佐藤美保
	第8回　看護におけるコミュニケーションの意義と援助関係に必要なコミュニケーション：講義	萩原一美
科目の目的	患者―看護者関係を成立するためのコミュニケーションの意義と目的、方法を学習する。その上で、人間関係コミュニケーションにおける、相互作用の重要性に気づき、看護職に求められるコミュニケーションを考察する。【対象の理解】	
到達目標	1. 患者―看護者関係を成立するためのコミュニケーションの構成要素と過程を説明する。 2. 患者―看護者関係を成立するためのコミュニケーションの方法を説明する。 3. 他者とのコミュニケーションをとおして、自己のコミュニケ―ションの課題に気づく。 4. 看護職に求められるコミュニケーション力を考え、説明する。	
関連科目	教養科目群：社会学、教育学、 専門科目群：看護学概論Ⅰ・Ⅱ、看護基礎技術論　日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ	
成績評価方法・基準	筆記試験（50%）　演習課題（50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容に合わせて課題を提示する。本科目に必要な自己学習時間は15時間である。事前課題の必要最低時間は60分、事後課題の必要最低時間は60分。課題の詳細はその都度提示する。	
教科書・参考書	教科書：系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅰ　医学書院 参考書：なし	

オフィス・アワー	【萩原一美】　授業の前後（研究室） 【堀込由紀】　授業の前後（研究室） 【長嶺めぐみ】授業の前後（研究室） 【千葉今日子】授業の前後（研究室） 【森田綾子】　授業の前後（研究室） 【佐藤美保】　授業の前後（研究室）
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅳ-13-A ≪基礎看護学≫-Ⅰ-2-A、Ⅱ-3-A
履修条件・履修上の注意	コミュニケーション技術は看護職にとって重要なスキルであり、コミュニケーションスキルを磨くことは看護学生にとって大きな課題ある。また、看護基礎実習の履修に関連する科目となるため、自己のコミュニケーション力を分析して授業に臨むことが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	第３・５・６・７回は、体験学習・グループディスカッション等を行う。

講義科目名称： 日常生活援助学演習Ⅱ（清潔・安楽）　　授業コード： 4N065

英文科目名称： Practice in Daily Life CareⅡ　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
堀込 由紀	萩原一美		長嶺めぐみ	千葉今日子
	森田綾子		佐藤美保	

授業形態	講義3回、演習12回		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス・清潔保持と衣生活1/講義 清潔保持に関する生理的メカニズム、清潔のニーズのアセスメントについて学ぶ。	堀込由紀
	第2回	清潔保持と衣生活2/講義 清潔の保持や衣生活の援助の意義、療養生活で用いる衣類の種類と取り扱いについて学ぶ。	堀込由紀
	第3回	清潔保持と衣生活3/講義 清潔保持に関する援助方法を学ぶ。	堀込由紀
	第4回	整容・寝衣交換1/演習 整容の方法について習得する。 様々なタイプの寝衣と、その着脱に関する援助方法を習得する。	堀込由紀・萩原一美・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第5回	寝衣交換2/演習 臥床患者の寝衣交換（浴衣タイプからセパレートタイプの病衣等）の援助方法を習得する。	堀込由紀・萩原一美・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第6～7回	部分浴/演習 部分浴（足浴）の援助方法を習得する。 臥位での足浴及び座位での足浴の援助方法を習得する。	堀込由紀・萩原一美・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第8～9回	部分浴/演習 部分浴（洗髪）の援助方法を習得する。 ケリーパッド及び洗髪車を使用した洗髪の援助方法を習得する。	堀堀込由紀・萩原一美・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第10～11回	全身清拭/演習 臥床患者の全身清拭の援助方法を習得する。	堀堀込由紀・萩原一美・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第12～13回	全身清拭と寝衣交換/演習 臥床患者の全身清拭と寝衣交換の援助方法を習得する。	堀込由紀・萩原一美・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第14～15回	既出事項のまとめ/演習 清潔の援助の実践（技術習得度チェック）を通して知識・技術に関する整理及び確認を行う。	堀込由紀・萩原一美・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保

科目の目的	「基礎看護技術論」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活援助（清潔の保持、衣生活）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では看護の対象の清潔を保つ意義、目的、方法の知識を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、安全・安楽な清潔への援助方法を実施する。その上で、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験を通して学ぶ。【看護の実践】
到達目標	1. 清潔保持に関する生理的メカニズム、清潔のニーズのアセスメントについて説明できる。 2. 清潔の保持や衣生活の援助の意義とその援助方法について説明できる。 3. 患者のニーズに応じ、かつ、安全で根拠のある清潔の援助を実施することができる。 4. 援助を受ける対象者に関心を持ち、患者のニーズに配慮した安心・安楽なケアの必要性に気付き表現することができる。
関連科目	教養科目：心理学・社会学 専門基礎科目：解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学 専門科目：看護学概論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習、日常生活援助学演習Ⅰ、コミュニケーション論
成績評価方法・基準	筆記試験（50%）、課題（20%）、技術習得度（30%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	【予習】講義予定の該当ページを熟読する。演習の場合には事前課題に取り組む。1コマ当り30分目安 【復習】講義・演習終了後、該当ページを熟読する。演習後は事後課題に取り組み技術を振り返り、技術の根拠や手順について理解を深める。1コマ当り60分目安
教科書・参考書	教科書1：系統看護学講座専門分野　基礎看護学技術Ⅰ・Ⅱ　医学書院 教科書2：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　第3版　医学書院
オフィス・アワー	【萩原一美】講義・演習の前後（研究室） 【堀込由紀】講義・演習の前後(研究室) 【長嶺めぐみ】講義・演習の前後（研究室） 【千葉今日子】講義・演習の前後（研究室） 【森田綾子】講義・演習の前後（研究室） 【佐藤美保】講義・演習の前後（研究室）
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-2-A-e、Ⅳ-14-D ≪基礎看護学≫-Ⅱ-4-F
履修条件・履修上の注意	予習、復習し、主体的に講義・演習に臨むこと。演習では身だしなみを整え参加すること。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目は基本的看護技術を習得するために必要な知識、技術、態度を学習するため、教室または主として基礎・臨床看護学実習室にて学生間で技術練習を行う。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	堀込 由紀（看護師）、萩原 一美（看護師）、長嶺 めぐみ（看護師）、千葉 今日子（看護師）、森田 綾子（看護師）佐藤 美保（看護師）
授業の概要	「基礎看護技術論」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活援助（清潔の保持、衣生活）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では看護の対象の清潔を保つ意義、目的、方法の知識を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、安全・安楽な清潔への援助方法を実施する。その上で、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験をとおして学ぶ。

講義科目名称： 精神保健　　授業コード： 4N100

英文科目名称： Mental Health　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川　薫	佐藤　和也		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　日本の精神保健医療の現状と課題 日本における精神保健医療の現状を国際比較しながら現状と課題を理解する	西川　薫
	第2回　精神の健康について理解する 精神の健康の概念（WHOの概念、正常・異常の概念など）について理解する	西川　薫
	第3回　精神の構造と働きについて理解する（1） こころの構造と機能について、フロイトの精神力動論を中心に理解する	西川　薫
	第4回　精神の構造と働きについて理解する（2） 無意識にこころを守る防衛機制について理解する	西川　薫
	第5回　精神の発達に関する主要な考え方について理解する 分離個体化理論（マーガレット・マーラー）、漸成的発達理論（エリクソン）などについて理解する	佐藤　和也
	第6回　精神の危機状況について理解する こころの危機状況について危機理論に基づき理解する	佐藤　和也
	第7回　家族と精神の健康について理解する 家族の機能と家族システムについて理解する	西川　薫
	第8回　現代社会と精神の健康について理解する 国際比較に基づいて、現代日本社会のこころに関する課題と解決策について理解する	西川　薫
科目の目的	精神（こころ）の健康を維持・増進・回復するために必要な基礎理論及び支援体制の概要について学習し、看護専門職に必要とされる専門知識の基盤とする。精神の健康、精神の発達と機能、ストレス（危機）とその反応、現代社会における精神保健の課題とその対策について理解できることを目指す。ディプロマポリシーである【対象の理解】の修得をめざす。	
到達目標	1.精神（こころ）の健康について説明できる。 2.精神の構造と働きについて説明できる。 3.精神の発達と機能について説明できる。 4.精神の危機状況について説明できる。 5.現代社会における精神保健の課題とその対策について説明できる。	
関連科目	精神看護学概論、精神看護方法論、精神看護学演習、精神看護学実習、精神看護学特論、発達心理学	
成績評価方法・基準	定期試験（70%）、各回のリフレクションシート（30%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：各講義日の講義内容について教科書及び参考図書を講読し、学習内容を把握し、疑問点等を抽出する（1時間） 復習：講義終了後に講義内容の再確認及び疑問点を抽出し、疑問点について調べる（1時間）	
教科書・参考書	教科書：新体系 看護学全書 精神看護学概論／精神保健 編集：岩﨑弥生・渡邉博幸　メヂカルフレンド社	
オフィス・アワー	火曜日・水曜日：12:10～12:50（西川研究室）	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-1-A、Ⅰ-1-C-c～d、Ⅰ-2-A-g、Ⅱ-6-B-c、Ⅱ-7-E-c～d、Ⅱ-8-A～B ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-3-C-d ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅰ-2-A-c ≪基礎看護学≫-Ⅰ-1-B-b ≪精神看護学≫-Ⅰ-1-A～E、Ⅰ-1-F-d、Ⅰ-1-F-g、Ⅳ-4-A-d、Ⅳ-4-E-a～c	
履修条件・履修上の注意	履修条件は特にないが、不明な点は積極的に質問をしてほしい。 配布資料は、前日までにActive Academyで配布する。配布資料は各自が印刷し持参する。	
アクティブ・ラーニングの実施	リフレクションシートを用いた発見学習、調査学習、Think Pair Share（シンク・ペア・シェア）	

講義科目名称： 看護学への誘い　　授業コード： 4N105

英文科目名称： Invitation to nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄	看護学科教員全員		

授業形態	講義7回　演習8回	担当者
授業計画	第1回　イントロダクション・看護の理解①（講義） ・大学で看護学を学ぶにあたって ・基礎看護学とは	矢島正榮 他
	第2回　看護の理解②（講義） ・在宅看護学とは ・訪問看護ステーションで働く看護師の実際（大山晴美）	矢島正榮 他
	第3回　看護の理解③（講義） ・精神看護学とは ・小児看護学とは	矢島正榮 他
	第4回　看護の理解④（講義） ・成人看護学とは ・総合病院で働く看護師の実際（林綾乃）	矢島正榮 他
	第5回　看護の理解⑤（講義） ・老年看護学とは ・療養病棟、地域包括ケア病棟で働く看護師の実際（平山美鈴）	矢島正榮 他
	第6回　看護の理解⑥（講義） ・公衆衛生看護学とは ・市町村保健センターで働く保健師の実際（青木好実）	矢島正榮 他
	第7回　看護の理解⑦（講義） ・母性看護学、助産学とは ・病院で働く助産師の実際（上原富美子）	矢島正榮 他
	第8回　課題解決技法の獲得①（演習） ・GWの方法について/プレゼンテーションの方法について／テーマの検討	看護学科全 教員
	第9回　課題解決技法の獲得②（演習） ・テーマの決定 ・今後のGWスケジュールの立案 ・調査内容の分担	看護学科全 教員
	第10回　課題解決技法の獲得③（演習） ・前週のHWについて発表・討議 ・追加で調査が必要なことを整理し、分担する	看護学科全 教員
	第11回　課題解決技法の獲得④（演習） ・前週のHWについて発表・討議 ・追加で調査が必要なことを整理し、分担する	看護学科全 教員
	第12回　課題解決技法の獲得⑤（演習） ・前週のHWについて発表・討議 ・発表内容のまとめ	看護学科全 教員
	第13回　課題解決技法の獲得⑥（演習） ・発表方法の検討 ・発表用媒体の作成	看護学科全 教員
	第14回　課題解決技法の獲得⑦（演習） ・発表用媒体の作成 ・発表の練習	看護学科全 教員
	第15回　発表会（演習）	看護学科全 教員
科目の目的	保健・医療・福祉に携わる看護職の機能と役割について理解を促し、看護に対する興味・関心を深められるよう導く。また、グループワークを通して、看護職として必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題解決能力を育てる。【専門性の探究】	
到達目標	1. 対象や活動の場の特性に応じた看護職(看護師・保健師・助産師)の機能と役割を説明できる。 2. 自分自身の目指す看護師像と、そこに至るための今後の大学生活における目標を述べることがで	

	きる。 3. グループでテーマを設定し、必要な情報を収集・整理して結論を導くことができる。 4. 相手の意見を尊重しながら自分の考えを述べ、グループのメンバーと協働できる。 5. グループワークの成果を分かりやすく、説得力をもって発表できる。
関連科目	生命倫理、大学の学び入門、多職種理解と連携、看護学概論Ⅰ・Ⅱ
成績評価方法・基準	レポート40%、グループワークへの取り組み30%、発表会における内容30%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義に出席する前に、講義で取り上げる内容について調べた上で出席すること。また、グループワークにおいても担当した内容については、十分に調べ、理解をした上で参加すること。いずれにおいても準備学習時間は1～2時間である。
教科書・参考書	特に指定しない。
オフィス・アワー	適宜各回担当教員に確認する。 グループワーク開始後については、各グループ担当教員に確認する。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	本科目は学生自身の主体的かつ積極的な学習が必須の科目であることを理解したうえで参加すること。
アクティブ・ラーニングの実施	課題解決学習、グループワーク

講義科目名称： 教育学　　授業コード： 4N001

英文科目名称： Education　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
髙野 利雄			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　人間の活動としての教育 教育とは何か　人間は教育によって何を達成しようとしているのか	髙野
	第2回　学習権という人権 義務教育　教育の機会均等　子どもの権利条約	髙野
	第3回　教育活動の時と場 人間の成長と発達課題　家庭・学校・社会での教育と学習	髙野
	第4回　学校教育の柱と方法 学習指導要領　教科と特別活動　生徒指導提要	髙野
	第5回　道徳教育とその位置づけ 特別の教科道徳の開始　道徳をどうとらえるか	髙野
	第6回　学校教育現場の諸問題 いじめ　不登校　学級崩壊	髙野
	第7回　教育活動の土台となる信頼関係 良好なコミュニケーション　ゴードンメソッド	髙野
	第8回　さまざまな学習形態 アクティブラーニング　シチズンシップエデュケーション	髙野
	第9回　キャリア教育 自らを生きる・生かす学び	髙野
	第10回　障害児教育 特別支援教育の考え方と実状　インクルーシブ教育	髙野
	第11回　家族の変化と教育 貧困格差と教育の課題　虐待への対応	髙野
	第12回　チームとしての学校 学校保健　スクールカウンセラー　スクールソーシャルワーカー	髙野
	第13回　社会教育と生涯学習 学校以外の学習の場　自分はどこまで学び続けるか	髙野
	第14回　教育に関係する法と制度 福祉　医療　教育の連携	髙野
	第15回　人生を支える学力とは	髙野
科目の目的	教育活動についての学びを通して、看護・医療の対人援助職に必要な教育者的素養を身につける。 【看護職としての態度】	
到達目標	教育の役割を理解し、対人援助職を目指す自らのありようを述べられること。	
関連科目	心理学、教育心理学	
成績評価方法・基準	試験（60%）、随時の提出物と授業への取り組み（40%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回の資料を熟読し、理解して備えること。1コマあたり4時間を目安とする。	
教科書・参考書	教科書・・・使用しない 参考書・・・講義時に紹介する	
オフィス・アワー	講義の前後	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅱ-7-D-c ≪小児看護学≫-Ⅰ-1-B-c、Ⅰ-2-A-d、Ⅰ-2-C-o、Ⅰ-3-C-d、Ⅰ-2-H-b～c、Ⅲ-6-A、Ⅳ-8-C-c	
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ディスカッションやグループワークを実施	

講義科目名称： 心理学　　授業コード： 4N002

英文科目名称： Psychology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹居田 幸仁			

授業形態	講義（13コマ），演習（2コマ）．講義中，随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。	担当者
授業計画	第1回　心理学の歴史と方法 本講義のテーマ，講義の展開予定，受講上の注意などについて説明をする。また，心理学の歴史と研究方法について学び，本講義の到達目標について展望する。 key words：哲学における心理学，実験心理学の始まり（ヴント），ヴント批判（ゲシュタルト心理学，行動主義，精神分析）	竹居田 幸仁
	第2回　脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では，心の働きの基盤となる脳と神経の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words：人間の脳の構造，脳の働き，高次脳機能障害	竹居田 幸仁
	第3回　心の発達 年齢によって人間の一生を大まかに分け，それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて，これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では人間の発達の諸側面，子どもの認知発達について学ぶ。 key words：こどもの認知発達（ピアジェ），こどもの社会性の発達，生涯発達心理学，知的能力障害	竹居田 幸仁
	第4回　感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには，外界を理解する必要がある。本講義では，我々が外界の情報を受容し，それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words：感覚，知覚的な体制化，奥行き知覚と知覚の恒常性，錯覚，運動の知覚	竹居田 幸仁
	第5回　学習 一般に学習というと，学校における教科学習を想像するが，心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では，行動主義が提唱した学習原理と，社会的学習理論を概観する。 key words：古典的（レスポンデント）条件づけ（パブロフ），オペラント条件づけ（スキナー），社会的学習理論（バンデューラ）	竹居田 幸仁
	第6回　記憶と思考 感覚・知覚によって入力されてきた情報は，私たちが環境に適応するために使用される。そのためには，情報を効率的に貯蔵し，この使用の方法についての戦略が必要になる。心理学では前者の課程を「記憶」と呼び，後者の課程を「思考」とよぶ。本講義では，人間の記憶と思考の仕組みについて学習する。 key words：記憶のしくみ，記憶の二重貯蔵モデル，問題解決と意思決定，推論	竹居田 幸仁
	第7回　動機づけと情動 人の行動は多様であるが，それぞれの行動には，その行動と結びついた特定の原因があると考えられる。例えば，Aさんが勉強を中断して夜食を食べたのは「空腹だったから」であろうし，また，恋人と別れてBさんが泣いたのは「悲しかったから」であろう。行動の原因と考えられるもののうち，前者のグループは「動機づけ」とよばれ，後者のグループは「情動」とよばれる。本講義では，人間の動機づけと情動について理解を深める。 key words：動機づけと欲求，マズローの欲求階層モデル，感情・情動，表出行動とコミュニケーション，動機づけと情動の病理	竹居田 幸仁
	第8回　性格 私たちはそれぞれ，他の人とは違うその人らしい考え方，感じ方，そして行動の仕方（行動様式）を持っている。このような考え方や行動の仕方は，状況の変化にも関わらず，時や場所を越えて，比較的一貫し，安定している。このことから，私たちには，このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ，それは「性格」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である「類型論」と「特性論」や性格の5因子モデルについて学ぶ。講義の後半では，臨床の現場で用いられる性格検査を体験する。 key words：類型論，特性論，性格の5因子モデル，性格検査の信頼性と妥当性	竹居田 幸仁

	第9回	対人関係と集団 人は生きていく中で，様々な他者と出会い，交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし，他者とともにあることは，人生を豊かにする半面，様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では，私たちが他者をどのようにとらえ，関わっているか，他者からどのような影響を受けているかを学習する。 key words：対人認知，対人感情，関係の維持	竹居田 幸仁
	第10回	臨床心理学（１）精神分析 精神分析とは，オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり，理論であり，精神疾患や不適応の治療法である。本講義では，心理療法としての精神分析を中心に，その基本概念について学習する。 key words：意識，前意識，無意識，エス（イド），自我，超自我，エディプス・コンプレックス	竹居田 幸仁
	第11回	臨床心理学（２）分析心理学 分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり，一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが，その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では，フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。 key words：個人的無意識，普遍的無意識，元型，症状の持つ意味，夢分析	竹居田 幸仁
	第12回	臨床心理学（３）クライエント中心療法 カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき，人間の成長力，主体性を重視し，心理療法を「クライエント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり，その理論の変遷について理解する。 key words：クライエント中心療法，パーソン・センタード，静かなる革命，受容，共感，自己一致，建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件	竹居田 幸仁
	第13回	臨床心理学（４）心理療法１ 心理療法とは，「心の問題」に対する心理学の知見を用いた援助である。本講義では，行動療法，認知行動療法について学習する。 key words：心理療法行動療法，認知行動療法	竹居田 幸仁
	第14回	臨床心理学（５）心理療法２　コラージュ療法演習 本講義では，心理療法の中でも「表現療法」とよばれるものについて学習し，その中でも「芸術療法」とよばれるものの一つである「コラージュ療法」について体験する。 key words：表現療法，芸術療法，コラージュ療法	竹居田 幸仁
	第15回	臨床心理学（６）心理療法３　箱庭療法 箱庭療法はローエンフェルトによって考案され，その後，カルフがユングの考えを導入して発展させ，河合隼雄によって我が国へ導入され，さらに世界中に広がった技法である。本講義では，箱庭療法の分析方法を紹介し，それを応用し，自らが作成したコラージュについて検討を行う。 key words：コラージュ療法，箱庭療法，空間象徴	竹居田 幸仁

科目の目的	心理学を学ぶことにより，社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う．自己および他者への理解を深め，社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知識を身に付けることを目的とする。 ディプロマポリシー：【看護職としての態度】【対象の理解】
到達目標	1.　心理学の概要を理解し，国家試験対策の基礎を形成する。 2.　心理学理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 3.　心理学的援助の概要と方法について理解し，自らの専門分野に活かす。
関連科目	【教養・共通基盤科目群】教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，社会学，生活文化と医療，大学の学び入門，大学の学びー専門への誘いー，多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ，発達心理学，臨床心理学，公衆衛生学，保健統計，カウンセリング 【専門科目群】全科目
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・50%）に，毎回の受講後に作成する小レポートの評価（50%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について，１時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は，概ね講義の１週間前までにActive Academyにて配布するので，各自ダウンロードしておくこと。
教科書・参考書	【教科書】 山祐嗣・山口素子・小林知博編著（2009）「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」　北大路書房
オフィス・アワー	講義後の教室において，もしくは事前にe-mailで予約のうえ，随時対応します。
国家試験出題基準	

履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習（90分のものを2回，10分程度のものを13回）を行う予定である。

講義科目名称： 教育心理学　　授業コード： 4N003

英文科目名称： Educational Psychology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
竹居田 幸仁			

授業形態	講義を中心とし，必要に応じて随時小演習（個別およびグループ）を取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	教育心理学とは 教育心理学は「発達」「学習」「人格と適応」「教育評価」などの幅広い分野を含む，教育のための心理学である。本講義では，教育心理学の歴史と概要を学ぶ。	竹居田 幸仁
	第2回	子どもの認知発達 ピアジェの理論を参照しながら人の認知発達について学び，認知発達の過程を通して幼児期，児童期，青年期に対する教育的関わり方の違いや，学校教育について考える。 key words：感覚運動期，前操作期，具体的操作期，形式的操作期，心の理論	竹居田 幸仁
	第3回	神経発達症／神経発達障害（１） 平成19年に全国で特別支援教育が開始され，ここ数年で発達障害に対する理解が急速に広まりつつある。本講義では3つの代表的な発達障害の中からAD/HD・SLDの2つと，発達障害とは区別される知的能力障害（知的発達症／知的発達障害）の特徴と支援について学び，理解を深める。 key words：発達障害，AD/HD，SLD，知的能力障害（知的発達症／知的発達障害），特別支援教育	竹居田 幸仁
	第4回	神経発達症／神経発達障害（２） 前回に続き，発達障害について学習する。本講義では3つの代表的な発達障害の最後の1つである自閉スペクトラム症の歴史と特徴について学び，DSM-IV－TRとDSM-5の診断の基準の違いについて理解を深める。 key words：自閉スペクトラム症，DSM-IV-TR，DSM-5，特別支援教育	竹居田 幸仁
	第5回	子どもの認知発達と太田ステージ（１） 太田ステージとは，ピアジェの発達理論を参考に，子どもの発達段階をとらえやすくするために，いくつかの発達の節目をとらえてステージ分けしたものである。本講義では生まれて間もなくから１歳半くらいまでの乳幼児期に相当するStageⅠの特徴と療育について学習する。 key words：太田ステージ，Stage Ⅰ，模倣，指さし，おもちゃ遊び	竹居田 幸仁
	第6回	子どもの認知発達と太田ステージ（２） 一般的な子どもの発達で見ると，１歳半から２歳くらいに相当するStageⅡ，物には名前があることがはっきりとわかるようになった段階だが，関係の中で物事をとらえることができず，思考の柔軟性がないStageⅢ-1の特徴と療育について学習する。 key words：シンボル機能の芽生え，名称による物の指示，用途による物の指示，経験に沿ったパターン	竹居田 幸仁
	第7回	子どもの認知発達と太田ステージ（３） 一般的な子どもの発達で見ると，３歳から４歳くらいに相当するStageⅢ-2，5歳から7歳くらいに相当するStageⅣの特徴と療育について学習する。 key words：概念形成の芽生え，大小比較，上下の空間関係，因果関係の理解	竹居田 幸仁
	第8回	学ぶことと考えること 「学ぶ」ということは，新しい概念がそれまで持っていた知識のネットワークの中に組み込まれ，知識がより構造化していくことである。本講義では知識を活用し，問題を解決していく方略について学習する。 key words：宣言的知識，手続き的知識，アルゴリズム，ヒューリスティック，メタ認知	竹居田 幸仁
	第9回	「やる気」を考える 何か一つのことを頑張って，最後までやり遂げるということは人にとって嬉しいことである。では，人はどんな時に最も頑張るのであろうか？逆に，どのような時に一生懸命やろうという気持ちがなくなってしまうのだろうか？本講義では，「達成動機づけ」と呼ばれる問題に関して，いくつかの考え方を学習する。 key words：期待－価値モデル，学習性無力感，原因帰属，内発的動機づけ，外発的動機づけ，アンダーマイニング効果	竹居田 幸仁
	第10回	学級という社会 人が最初に経験する「学校」という組織の特殊性とそこで起こる心理的事象について学ぶ。 key words：ピグマリオン効果，P-M理論，ソシオメトリックテスト，ゲス-フーテスト	竹居田 幸仁

	第11回	どのように教えるか 学習指導の形態は一斉学習，グループ学習，個別学習に大別され，いくつかの形態が組み合わされて実施されることが多い。また，教授法には発見学習と受容学習という対照的な2つの方法がある。本講義ではこれらの教授法の他，いくつかの特徴的な指導形態についても学習する。 key words：機械的学習，有意味学習，ジグソー学習，プログラム学習，適正処遇交互作用	竹居田 幸仁
	第12回	児童・生徒をどう評価するか 教育評価は，児童・生徒の理解度や意欲の程度を知るのに役立つだけでなく，授業で取り扱った内容の適切さや教師の授業方法の適切さを判断することにも役立つ。本講義では，教育評価の目的や機能，方法について学習し，教育評価に関する理解を深める。 key words：絶対評価，相対評価，偏差値，診断的評価，総括的評価，形成的評価	竹居田 幸仁
	第13回	知能とその測定 知能とは，目的的に行動し，合理的に行動し，環境を能率的に処理する総合的な能力である。知能に関する理論とその測定方法について学習する。 key words：CHC理論，田中ビネーⅤ，WISC-IV，WAIS-Ⅳ	竹居田 幸仁
	第14回	教育相談 子どもたちの健全な成長・発達の支援を目的とする，乳幼児期から青年期までを対象とした，教育の一環としての相談援助活動である教育相談について，事例を通して学習する。 key words：教育相談，カウンセリング	竹居田 幸仁
	第15回	教育心理学の意義 これまでの講義を概観して教育心理学的な関わりや考え方について理解を深める．教育や他者との関わりについて考えていく。	竹居田 幸仁
科目の目的	教育心理学は「発達」「学習」「人格と適応」「教育評価」などの幅広い分野を含む，教育のための心理学である。本講義では幼児，児童および生徒を教師が効果的に支援するために必要な心身の発達および学習の過程に関する基本事項を心理学的な観点から理解することを目的とし，教育心理学の基礎的な知識を学ぶ。 ディプロマポリシー：【看護職としての態度】【対象の理解】		
到達目標	１．教育心理学の基本的な知識を習得する。 ２．幼児，児童および生徒の心身の発達および学習の過程に関する基本事項を心理学的な観点から理解する。 ３．教育実践についての見解を深め，自分の意見を論じることができる。		
関連科目	【教養・共通基盤科目群】心理学，教育学，生命倫理，哲学，人間と宗教，社会学，生活文化と医療，大学の学び入門，大学の学びー専門への誘いー，多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ，発達心理学，臨床心理学，公衆衛生学，保健統計，カウンセリング 【専門科目群】全科目		
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・50%）に毎回の講義後に作成する小レポートの評価（50%）を加味して評価する．小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1年次選択科目「心理学」受講者は、教科書第3章「こころの発達」，第5章「学習」の内容をよく理解しておくこと。 その他，準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について，１時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は，概ね講義の１週間前までにActive Academyにて配布するので，各自ダウンロードしておくこと。		
教科書・参考書	【教科書】 鎌原雅彦・竹綱誠一郎　(2015)　「やさしい教育心理学　第５版」　有斐閣アルマ 【参考書】 永井洋子・太田昌孝編　(2011)　「太田ステージによる自閉症療育の宝石箱」　日本文化科学社 山祐嗣・山口素子・小林知博編著　(2009)　「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」　北大路書房		
オフィス・アワー	講義後の教室において，もしくは事前にe-mailで予約のうえ，随時対応します。		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。		
アクティブ・ラーニングの実施	毎回，10分程度の体験学習を行う予定である。		

講義科目名称： 健康スポーツ理論　　授業コード： 4N004

英文科目名称： Sports Science　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	講義（12回）・演習（3回）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション・目標の設定と達成 受講のルール説明、全15回の流れを解説。自身の大学生活についてのアファメーションを行い、準備学習の課題を設定する。	岩城 翔平
	第2回	健康とスポーツの関わり 健康とは、スポーツとは何かを改めて考える。身近なスポーツ環境について学ぶ。	岩城 翔平
	第3回	運動・スポーツを通じたコミュニケーション アリーナでミニ運動会を行う。心と身体の健康と運動・スポーツのつながりについて体感し、考察する。	岩城 翔平
	第4回	生涯を通じた運動・スポーツの実践 人生100年時代に自身の健康とどのように向き合っていくのか検討し、仲間たちと協議する。今後の自身の健康と運動・スポーツの関係について考える。	岩城 翔平
	第5回	トレーニングの基本理論① 筋収縮の様式やトレーニングの代表的手法について学ぶ。	岩城 翔平
	第6回	トレーニングの基本理論② 代表的なトレーニングのバリエーションを学び、体験する。例えば誰しも一度はしたことのある腕立伏せや腹筋にも様々な狙いや意義があることを知る。	岩城 翔平
	第7回	トレーニングと栄養 トレーニング効果を十分に得るために摂取すべき栄養素や摂取方法について学ぶ。	岩城 翔平
	第8回	ウェイトトレーニングの効果と方法論 バーベルやダンベルを用いた代表的なトレーニングの効果と方法を学ぶ。	岩城 翔平
	第9回	トレーニング計画の策定 班活動を行う。それぞれ設定された対象に対して、どのような運動処方をすべきかについて班で協議し、トレーニングプログラムを作成する。	岩城 翔平
	第10回	トレーニングプログラムのプレゼンテーション① 第９回で作成したトレーニングプログラムを用いて、設定した対象に向けた運動処方の班別プレゼンテーションを行う。	岩城 翔平
	第11回	コーチングの基本理論 コーチングの基本的な理論を学ぶ。前回の発表内容を互いに評価し合い、プレゼンテーションの内容を見直す。	岩城 翔平
	第12回	トレーニングプログラムのプレゼンテーション② 第11回で見直し、改善したトレーニングプログラムの班別プレゼンテーションを実施する。班別プレゼンテーションは演習の成績評価に該当する。	岩城 翔平
	第13回	心の健康・試験説明 心の健康と社会生活におけるコミュニケーション能力の関係について考え、実践する。 試験の内容等について説明する。	岩城 翔平
	第14回	講義内容の振り返り・授業内試験実施 これまでの講義を振り返り、要点を解説する。 授業内試験は試験の成績評価に該当する。	岩城 翔平
	第15回	試験結果のフィードバック、まとめ 試験の結果についてフィードバックする。本講義で得られた成果を今後どのように生活へ役立てるのかを改めて考え、自身の健康とスポーツのかかわりについて具体的にイメージする。	岩城 翔平
科目の目的	高等学校保健体育において、「生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続し、スポーツとの多様な関わり方を状況に応じて選択し、卒業後も継続して実践することができる」素養を身に付けているものとしたときに、高等教育においてはそれを指導したり、自ら組み立てたりするなど健康・スポーツに関する活動を提供する側に回ることができる教養を身に付けるべきである。医療従事者を志す学生として、自身の心身の健康を保持増進することはもとより、家族や仲間、患者、地域社会にも配慮し、健康で豊かな生活を送るサポートができるよう、より実践的な理論を中心に仲間とコミュニケーションをとりながら学んでゆく。本講義内で健康とスポーツに関連する取り組みをとおして、保健医療分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる能力を養う。また、社会人の基盤となる豊かな感性、倫理観、幅広い教養を備え、看護職としての態度を身につける。		

	【看護職としての態度】
到達目標	【心身の健康と様々なスポーツの関わりについて考える】 ・授業内で接する仲間と上手にコミュニケーションが取れるようになる。 ・生涯にわたる健康は自発的な活動により得られることを理解し、さらに自らが発信者となることで周囲の人々へ健康に関する最新の知見を与えられるようになる。 ・身体運動の基本的な理論を理解し、様々なトレーニングが身体に及ぼす影響について考察できるようになる。 ・受ける側から与える側への転換期であることを理解し、様々な学習に対し自律して取り組む必要性を学ぶ。
関連科目	健康スポーツ実技
成績評価方法・基準	演習（35%）：トレーニングの基礎基本について理解があるか、また、発信者として適切な表現方法でプレゼンできているかどうかを、班別プレゼンテーション内で評価する。 試験（65%）：これまでの講義内容について理解できているかを測る授業内試験を行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日の中で5分間程度、授業中に作成した目標シートを何度も読み返す。 また、学習したトレーニングについて1週間に計40分程度実践し、運動への理解を深める。
教科書・参考書	教科書使用せず。 ［参考書］ 「生涯スポーツ実践論：第4版」川西正志・野川春夫 編著　市村出版 「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一 ※非常に高価、購入必要無。
オフィス・アワー	講義室または体育棟管理室にて、講義の前後。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	数回、運動することがある。 その際は運動するのに適したスタイルで参加すること。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、グループ・ディスカッション、グループ・ワーク

講義科目名称： 健康スポーツ実技　　授業コード： 4N005

英文科目名称： Practice in Sports Science　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	実技		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション・からだづくり運動 受講のルール説明、学生自己紹介カードの作成、全15回の流れについて解説。軽強度のHIITトレーニングを行い、今後の授業に向けて身体を慣れさせる。班と班長の決定。	岩城 翔平
	第2回	班編成・安全なスクワットの習得・球技（バレーボール①） HIITトレーニング、アイスブレーキング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第3回	第1回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干改変したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座位体前屈	岩城 翔平
	第4回	班別ミーティング、球技（バレーボール②） アイスブレーキング、班別ミーティング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第5回	班別トレーニング①、球技（バレーボール③） アイスブレーキング、班別トレーニング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第6回	班別トレーニング②、球技（バドミントン①） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第7回	班別トレーニング③、球技（バドミントン②） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第8回	班別トレーニング④、球技（バドミントン③） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第9回	班別トレーニング⑤、球技（タグラグビー導入） 班別トレーニング、タグを使ったアイスブレーキング、タグに慣れる、ボールに慣れる、ボールハンドリング、効果的なアタックの方法、ディフェンスの方法、ルールの確認	岩城 翔平
	第10回	班別トレーニング⑥、球技（タグラグビー①） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第11回	班別トレーニング⑦、球技（タグラグビー②） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第12回	班別トレーニング⑧、球技（アルティメット①） フライングディスクを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、アルティメット	岩城 翔平
	第13回	班別トレーニング⑨、球技（アルティメット②） フライングディスクを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、アルティメット	岩城 翔平
	第14回	第2回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干改変したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座体前屈 【班制作物提出】	岩城 翔平
	第15回	「新体力テスト＋」結果フィードバック、球技 体力テスト結果をフィードバックする。 全体のまとめ、リクエスト球技を実施する。	岩城 翔平
科目の目的	心身の健康の保持増進や回復とスポーツとの関連性を鑑み、自重で行う基本的なトレーニングや、スポーツ活動の企画実践を試みる。本講義では特に社会生活で必要不可欠である心の健康を司る人材となるべく、スポーツ活動における他者への気配りやコミュニケーション能力の向上を重要なテーマの一つとする。スポーツ活動を通じて社会人の基盤となる豊かな感性、倫理観、幅広い教養を備え、看護職としての態度を身につける。 [スポーツを通じた協調性の獲得] 例えば運動能力レベルが異なる集団であっても、寛容さがあれば誰しもが積極的にスポーツを楽しめる和を作ることができる。より相手に根差した協調性を意識することで、大学生活だけでなく社会生活においても大切な立ち振る舞い方を醸成する。 [体力向上方法の理解と実践] 自身の体力課題を見極め、班で協力し課題に応じたトレーニングを継続して実施することにより、運動経験がない者でも体力を向上させる達成感を味わうことができるようにする。運動経験がある者においては他者へのアドバイスを通じて、自己の考えを他者へ正確に伝える表現方法を学ぶ。 【看護職としての態度】		

到達目標	【運動、スポーツを通じて心身の健康について考える】 ・他者を観察し、その心情を察し思いやることを心掛ける（心のトレーニング）。 ・スポーツ参加者全員が楽しめる場や空気の作り方を考え、学ぶ（心のトレーニング）。 ・自身の体力的課題に対して計画的にアプローチし、克服することで、運動習慣が身体機能にもたらす効果を実感する（身体のトレーニング）。
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	班活動および制作物の提出（60%）：リアクションペーパーの提出状況および班員とのコミュニケーションの取り方（評価の例：【加点】班で行う球技やトレーニング中に自ら声を掛けられる、仲間の声掛けに反応し会話ができる、積極的に班員と関りを持ち班にポジティブな影響をもたらす、等。【減点】班長や班員の話を聞いていない、班の課題と違うことを1人でしている、我儘な文句や消極的な発言を繰り返し班にネガティブな影響を与える、等。） 第2回体力テスト結果（30%）：課題として設定した項目のスコアが伸びているかどうか。 準備学習の実施状況（10%）：設定した課題に取り組んだかどうか。 球技の実力の多寡で成績評価はしない。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	第3回の授業で実施する体力テストの結果を参考に、改善したい体力項目に適したトレーニングやストレッチなどを自宅で実施する。1週間に45分程度。
教科書・参考書	教科書無し。 ［参考書］ 「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識 第2版」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一 NSCAジャパン ※非常に高価、購入必要無。
オフィス・アワー	授業の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	スポーツウェア・内履き・タオルが必要。それぞれ高校で使用していたもので可。 明らかに運動に適していない服装、外履きでの参加は認めない。 蓋付きの飲み物のみ持ち込み可。 怪我予防のためピアス・ネックレス等装飾品は外して臨む。
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、体験学習、グループ・ディスカッション、グループ・ワーク

講義科目名称： 現代文学　　授業コード： 4N006

英文科目名称： Modern Literature　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
徳本 善彦			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス：「文学」とは何か 日本の近代化と「文学」について歴史的観点から学ぶ。	徳本善彦
	第2回	文学テクストを〈読む〉 文学作品をテクストとして読む方法について、実践例を通して学ぶ。	徳本善彦
	第3回	寺田寅彦「団栗」を読む 「写実」的な作品を通して、小説世界の時間・空間を整理し小説を立体的に読む。	徳本善彦
	第4回	志賀直哉「焚火」を読む テクストをじっくり読むことで、ストーリーに頼らない小説の読み方を学ぶ。	徳本善彦
	第5回	芥川龍之介「トロッコ」を読む 小説の物語的要素を捉え、小説世界の構造を理解する。	徳本善彦
	第6回	群馬県の作家：萩原朔太郎の詩を読む 日本の近代詩に多大な影響を与えた萩原朔太郎の詩を鑑賞する。	徳本善彦
	第7回	川端康成「葬式の名人」を読む 小説に書かれた、言葉の身体／身体の言葉について考える。	徳本善彦
	第8回	野上弥生子「茶料理」を読む ストーリーに抗って読むことで、小説の表現形式の特徴を理解する。	徳本善彦
	第9回	小レポート：矢田津世子「茶粥の記」 矢田津世子「茶粥の記」を事前に読んだ上で、授業内小レポートに取り組む。	徳本善彦
	第10回	解説：矢田津世子「茶粥の記」を読む 小レポートの講評と、課題小説の読解の一例を解説する。	徳本善彦
	第11回	坂口安吾「真珠」を読む 戦争と文学について、歴史的事実が物語として受容される過程を読み解く。	徳本善彦
	第12回	戦後詩を読む 『荒地』や『櫂』といった戦後の現代詩誌を中心に現代詩について学ぶ。	徳本善彦
	第13回	石牟礼道子「死民たちの春」を読む 経済成長と公害、東京と地方など戦後社会の問題を文学を通して考える。	徳本善彦
	第14回	古井由吉「祈りのように」を読む 小説の中でハッキリと語られないものについて、語りの形式に注目して読解する。	徳本善彦
	第15回	村上春樹「アイロンのある風景」を読む とらえようのないものを比喩を通して語ること、災害と文学について考える。	徳本善彦
科目の目的	1. 文学作品を読み、不明な事柄を調べることで当時の時代状況や社会問題などを理解する。 2. テクストの中に問題を読み取り、深く考えることで筋道の通った読解を見出す。 3. 小レポートの作成を通して、自分の考察を論理的に表現する力を身につける。 【対象の理解】【専門性の探求】【地域社会への貢献】【国際的な視野】		
到達目標	1. 文学作品の書かれた当時の時代状況からの視点を体験することで、読む視点の複数性を理解する。 2. テクストの中に問題を見出すことを通して、情報を批判的に評価する読解力を養う。 3. 小レポート・期末レポートの作成に取り組むことで、自分の意見を客観的・論理的に表現する技術を身につける。		
関連科目	芸術・哲学・社会学		
成績評価方法・基準	授業内小レポート（50%）、期末レポート（50%）。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・授業前＝講義で使用するテクストを読み問題を整理する。（1.0時間） ・授業後＝授業内容の復習。（0.5時間）		
教科書・参考書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布します。各自で印刷して授業に持参して下さい）。		
オフィス・アワー	授業の前後（非常勤講師室）。		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし		

講義科目名称： 人間と宗教　　授業コード： 4N007

英文科目名称： Human Beings and Religion　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹村 一男			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	宗教を学ぶにあたって 宗教を学ための必要な基礎的事項について説明する。講義の前半は宗教の類型、宗教の研究分野、さらに、３大宗教について、その概要と現状に言及する。後半は芸術作品や世界遺産の中から宗教に関する画像を中心に紹介する。	竹村 一男
	第2回	宗教本質論　宗教とは何か 過去から現在に至る哲学、神学、心理学などの代表的な思想や、昨今の脳科学は、宗教をどのように解釈してきたかを解説する。更に、最も難解なテーマである「宗教とは何か」について考えてみたい。	竹村 一男
	第3回	キリスト教概説 世界最多の宗教人口をもつキリスト教の教義と歴史、現状について講述する。また、その文化・歴史などを画像を交え解説する。特に新約聖書、福音書の解説については、ジョットの絵画による概要説明を行う。	竹村 一男
	第4回	イスラム教概説 イスラム教の教義と歴史、現状について講述する。その文化・歴史など画像を交え説明する。コーランの記述内容、スンニ派とシーア派の相違点、更に昨今の国際情勢におけるイスラームなどその現状にも言及する。	竹村 一男
	第5回	仏教概説 仏教の教義と歴史、現状について講述し、その文化・歴史や伝播の経緯など画像を交え説明する。インドにおける仏教の成立と展開を中心に、中国仏教、南伝仏教、チベット仏教にも言及する。	竹村 一男
	第6回	日本の仏教 日本の仏教の教義と歴史、現状について講述する。日本への仏教の伝来とその展開、各宗派による仏教思想の比較などを中心に解説し、更に寺院建築や仏像、曼荼羅など仏教文化遺産についても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第7回	日本の民俗宗教 日本の宗教の基層をなす民俗宗教について、祖霊信仰や民俗神道、神社神道などを中心に、その文化と歴史について講述する。日本の民俗宗教には様々な儀礼や祭祀が含まれるが、仏教との神仏習合も多々みられる。それらの特徴的な事例についても、画像を交え紹介する。	竹村 一男
	第8回	世界の民族宗教 特定民族に受け継がれる民族宗教ユダヤ教とヒンドゥー教について、その文化・歴史などを講述する。ユダヤ教はキリスト教・イスラム教の、ヒンドゥー教は仏教の起源となった宗教であるが、現在においても多数の信徒をもつ。その経緯と、なぜ民族の枠内に留まったかについて解説し、旧約聖書の記述については、地球環境史との関係もふまえて、画像を交え解説する。	竹村 一男
	第9回	中国の民族宗教 中国の民族宗教である儒教と道教について、その文化・歴史など画像を交え講述する。特に儒教については礼教（道徳）面が強調されることが多いが、その宗教面についても解説する。さらに、両宗教が日本に与えた影響などにも言及する。	竹村 一男
	第10回	新宗教 1830年代以降に成立した新宗教について、天理教、創価学会、モルモン教会を例に、その概要と歴史、教義について講述する。現在はこれらの新宗教も多くの信徒を持つに至り、家庭の宗教として信仰される例も多い。上記以外の幾つかの宗教団体、海外の新宗教などについても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第11回	宗教と科学　宗教研究の事例 宗教を対象とする研究には、神学などの信仰者の視点によるものと、比較宗教学のように中立的な視点からのものがある。本講座は後者に属するが、ここでは比較宗教学、宗教社会学、宗教心理学などの中立的な社会科学の視点からなされてきた研究学説について解説する。さらに、反社会的教団の特徴や、講師の研究事例なども交えて講述する。	竹村 一男

	第12回	宗教と文化・芸術 宗教文化と芸術について講述する。古来より、宗教は芸術にも様々な影響を及ぼしてきた。その中で、特に美術と音楽、舞踊について、画像や映像を参考に解説する。また、宗教史跡、宗教建造物などの文化遺産にも言及する。	竹村 一男
	第13回	グローバル化と宗教 グローバル化が進む現在における宗教の諸問題について解説する。現状の宗教動向に加え、反社会的教団による事件、IS問題、民族紛争などの事例について講述する。	竹村 一男
	第14回	宗教と医療 宗教と医療に関する歴史や現状の諸問題について講述する。宗教団体と医療組織、特定教団の教義と輸血問題、終末医療などの医療現場における宗教の事例についても紹介する。	竹村 一男
	第15回	神話・文学における宗教、及びまとめ 前半は、内村鑑三の宗教について講師の事例研究も交え講述する。後半は、聖典などに見られる印象的な言説や、文学作品における記述の紹介と、全講義のまとめを行う。	竹村 一男

科目の目的	宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの諸相において人間に関わりをもつ「宗教」とは何かについて考え、さらに様々な宗教を取上げ、その教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会の理解にも繋がる。 なお、本講義は特定の宗教の視点によるものではなく、中立的な観点から広範に宗教を扱う。受講生各自の宗教観は人それぞれであろうが、医療現場における患者（被治療者）の宗教観も様々であるため、医療者には中立的かつ広範な視点での宗教理解が必要となってくる。医療に携わろうとする者はそのことを理解したうえで、私達人間に与えられた生命をまもること、与えられた生命をよりよく生きることが大切かと考える。【看護職としての態度】
到達目標	●　それぞれの宗教を比較し、その歴史や教義、死生観などを分析、説明することが出来る。 ●　宗教にかかわる文化や時事問題などを理解し、適切に説明することが出来る。 ●　将来の医療現場において、患者や関係者の宗教観を理解し、適切かつ発展的な行動がとれる。
関連科目	哲学　心理学　社会学　芸術
成績評価方法・基準	定期試験（100%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1時間程度（計15回15時間）、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に加えて、比較宗教学による文献の読解もお勧めする。最初は簡単な概説書でもよいが、以下に推薦文献をあげる。文献例：『イスラーム文化』井筒俊彦（岩波文庫）、『ヒンドゥー教』森本達雄（中公新書）、『儒教とは何か』加地伸行（中公新書）、『神道とは何か』伊藤　聡（中公新書）、『日本の民俗宗教』宮家　準（講談社学術文庫）、『世界の宗教』岸本英夫編（大明堂 絶版）、『森林の思考・砂漠の思考』鈴木秀夫（NHKブックス）、『現代医学と宗教』日野原重明（岩波書店）など。また、信仰者以外の人にとっては「聖書」や「コーラン」は難渋な書物であろうが、聴講によって基礎知識を得た後に読むと、理解が変わってくる。
教科書・参考書	教科書　使用しない。毎回、講義用のプリントを配付する。 参考書1 『共同訳聖書』（日本聖書協会） 参考書2 『ブッダの言葉』中村　元訳（岩波文庫） 参考書3 『コーラン』井筒俊彦訳（岩波文庫）
オフィス・アワー	講義終了後の教室。または講師出校時の非常勤講師室。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	毎回、講義用のプリントを配付しますが、同じものを事前にActive Academyにアップロードしておきます。
アクティブ・ラーニングの実施	授業形態としての実施はなし。出席票での質問、口頭での質問は、毎回受け付ける。

講義科目名称： 芸術　　授業コード： 4N008

英文科目名称： Art　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
東　晴美			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。	東　晴美
	第2回	ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。	東　晴美
	第3回	劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。	東　晴美
	第4回	観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともにつくりあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。	東　晴美
	第5回	身体：身体の文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。	東　晴美
	第6回	ジェンダー：演じる性と演じられる性　（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。	東　晴美
	第7回	能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。	東　晴美
	第8回	狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。	東　晴美
	第9回	歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。	東　晴美
	第10回	文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。	東　晴美
	第11回	ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。	東　晴美
	第12回	アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。	東　晴美

	第13回	「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。	東　晴美
	第14回	2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。	東　晴美
	第15回	まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曽根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。	東　晴美

科目の目的	この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとって、芸術について学びます。 まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。 次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。 最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。 これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【看護職としての態度】
到達目標	・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。
関連科目	社会学
成績評価方法・基準	授業中の小テスト（2回）各20%、期末教場レポート20%、授業中リアクションペーパー40%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞまいしい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。
教科書・参考書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後１週間はダウンロード可)
オフィス・アワー	木曜日　12:30～13:00
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習（教員が示した芸術の事例をもとに、自分が親しんでる芸術ジャンルの特色を発見し考察する）

講義科目名称： 哲学　　授業コード： 4N009

英文科目名称： Philosophy　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
赤羽　悠			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	イントロダクション 哲学とは何か 宗教と哲学 哲学と社会学・人類学	赤羽 悠
	第2回	古代哲学（1） 「対話」とは何か／「真理」について 【ソクラテス／プラトン／アリストテレス】	赤羽 悠
	第3回	古代哲学（2） 「生きる技術」についての問い 【ストア派／エピクロス】	赤羽 悠
	第4回	中世哲学 意志と恩恵 【アウグスティヌス】	赤羽 悠
	第5回	近世・近代哲学（1） 大陸合理論／「理性」について 【デカルト／スピノザ】	赤羽 悠
	第6回	近世・近代哲学（2） 社会契約論／「国家／社会」とは何か 【ホッブズ／ロック／ルソー】	赤羽 悠
	第7回	近世・近代哲学（3） イギリス経験論の系譜／「私」はどのようにつくられるのか 【ロック／バークリー／ヒューム】	赤羽 悠
	第8回	近世・近代哲学（5） ドイツ観念論の出発点としてのカント／「理性」批判 【カント】	赤羽 悠
	第9回	近世・近代哲学（5） ドイツ観念論の展開 【フィヒテ／ヘーゲル】	赤羽 悠
	第10回	近代哲学の問い直し（1） 「真理」と「道徳」を問う 【ニーチェ】	赤羽 悠
	第11回	近代哲学の問い直し（2） 「意識」と「主観」を問う 【フロイト、マルクス】	赤羽 悠
	第12回	現代哲学（1） 「現象」を考える 【フッサール、メルロ＝ポンティ】	赤羽 悠
	第13回	現代哲学（2） 「実存」をめぐって 【ハイデガー、サルトル】	赤羽 悠
	第14回	現代哲学（3） 「全体主義」の経験から考える 【アーレント】	赤羽 悠
	第15回	講義の総括 現代哲学のその後 改めて、哲学とは何か	赤羽 悠
科目の目的	哲学をするとは、日常からかけ離れた抽象的なことをあれこれ考えることではなく、身近にあるが、しかし容易には答えの出ない問題を、普段よりもう一段掘り下げて考えてみることである。歴		

	史上の偉大な哲学者が行ってきたことも、実はそうしたことにほかならない。この講義では、そのような哲学者たちの思考の営みをみながら、受講者自身が生きていくなかで問題に直面する際、役立つような哲学的思考を身に着けてもらうことを目指す。 講義は「授業計画」に従って進めるが、受講者の理解度等をふまえて若干進度を変更する場合がある。また、現代の問題にも適宜触れながら進めていきたい。 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）における位置づけ：本科目は【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】に該当する。
到達目標	１．歴史上の哲学者がどのような問いを立て、その問いにどのように取り組んできたのかを理解する。 ２．１を通じ、哲学的に問いを立てるということがどういうことかを学ぶ。 ３．以上を通じ、生きていくなかで直面する様々な問題に対処するにあたり必要とされる、哲学的な思考を身に着ける。
関連科目	●　「人間と宗教」、「社会学」、「心理学」、「生命倫理」等の科目と関連を有する。
成績評価方法・基準	●　期末筆記試験（論述）の成績による（100 ％）。 ●　詳細については初回講義時に説明する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	●　予習については特に求めない。講義の場で話を聞き、またそれについてその場で考えることに集中してもらいたい。 ●　他方、授業後に内容を振り返り、扱われたテーマについて自分なりに考えをまとめる復習の作業はおこなってほしい。そのために必要な学習時間については、概ね１時間程度を目安とする。
教科書・参考書	●　教科書は用いない。講義は講義資料（レジュメ）を配布し、それに基づいて行う。 ●　初学者にもわかりやすい哲学史の教科書としては、竹田青嗣・西研編『はじめての哲学史』（有斐閣アルマ）などがあるが、講義をそれに沿って行うわけではない。 ●　哲学とは何かについて考えるうえでは鷲田清一著『哲学の使い方』（岩波新書）などが役立つが、こちらもあくまで参考として挙げておきたい。 ●　その他の参考文献については、講義の中で紹介したい。
オフィス・アワー	●　講義の前後（場所：教室もしくは非常勤講師控室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 生命倫理　　授業コード： 4N010

英文科目名称： Bioethics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一			

授業形態	講義（ディスカッションを含む）	担当者
授業計画	第1回　イントロダクション　総論 授業全体の予定や授業の進め方などの説明、生命倫理の概要	峯村優一
	第2回　生命倫理の基礎（1） 生命倫理の社会的・歴史的変遷、四原則	峯村優一
	第3回　生命倫理の基礎（2） 生命倫理の理論	峯村優一
	第4回　生命倫理の基礎（3） 臨床倫理の四分割表	峯村優一
	第5回　中絶（1） 中絶を守る立場と問題	峯村優一
	第6回　中絶（2） 中絶を守る立場と問題	峯村優一
	第7回　生命倫理の基礎と中絶のまとめ 生命倫理の基礎と中絶に関する重要な問題のまとめ	峯村優一
	第8回　生命倫理の基礎と中絶のまとめと中間テスト 生命倫理の基礎と中絶に関する重要な問題の確認	峯村優一
	第9回　中絶（3） 生命倫理の基礎と中絶に関する重要な問題のまとめ 中絶を批判する立場と問題	峯村優一
	第10回　中絶（4） 中絶を批判する立場と問題	峯村優一
	第11回　インフォームド・コンセント（1） インフォームド・コンセントの基本的な考え方、擁護する立場と問題	峯村優一
	第12回　インフォームド・コンセント（2） インフォームド・コンセントを批判する立場と問題	峯村優一
	第13回　難病（1） 難病療養者が抱える問題	峯村優一
	第14回　難病（2） 難病療養者と生命倫理	峯村優一
	第15回　中絶、インフォームド・コンセント、難病のまとめ 中絶、インフォームド・コンセント、難病に関する重要な問題のまとめ、期末試験相談	峯村優一
科目の目的	生命倫理・医療倫理の概要・諸問題を、講義形式だけではなく、ディスカッションを通して、自分で考える力を身につけることを目的としています。時事問題や学生の関心によって講義内容を変更する場合もあります。【看護職としての態度】	
到達目標	医療者は時に「医療者視点」が絶対的であるという思い込みに陥りがちになります。医療の主役はあくまで患者さんやその家族です。この授業を通して「医療は誰のものか」ということを改めて考えることができるようになること、また生命倫理の各トピックに関する倫理的問題を考察して、医療者として適切な判断ができるようになることを目指します。	
関連科目	哲学、公衆衛生学、生活文化と医療、社会学、生物学、心理学	
成績評価方法・基準	中間テスト（50%）、期末テスト（50%）による総合評価。講義前に教科書、資料を読み、講義中の講師からの質問に対して、講義資料に従って的確に返答する学生を高く評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書を読むようにしてください。また授業に関する資料を配布しますので、資料に目を通してください。1コマあたりの学習時間の目安2時間。	
教科書・参考書	（教科書） 鎌田依里・峯村優一著　2023　『難病療養者のこころ－心理臨床と生命倫理の視点から－』　創元社 （参考書） 霜田求編　2018　『テキストブック生命倫理』　法律文化社	
オフィス・アワー	個別の相談は事前の連絡によって随時対応します。	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅱ-6-B-b～c、Ⅲ-10-B-c	

	≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅲ-4-C-g ≪基礎看護学≫-Ⅰ-1-D-c～d ≪成人看護学≫-Ⅱ-3-B-c ≪母性看護学≫-Ⅱ-3-B-c、Ⅱ-3-B-f、Ⅲ-4-D-b 【助産師】 ≪基礎助産学Ⅰ≫-Ⅰ-1-C-a、Ⅲ-11-A 【保健師】 ≪対象別公衆衛生看護活動論≫-Ⅰ～Ⅱ-1-A-d
履修条件・履修上の注意	授業開始時および授業中の私語禁止、授業中のスマートフォンおよび携帯電話の使用も禁止します。注意しても改善がみられない場合は退室を命じる場合があります。
アクティブ・ラーニングの実施	講義中の講師からの問いかけに答える、またディスカッションに参加するアクティブラーニングを実施。

講義科目名称： 法学(日本国憲法含む)　　授業コード： 4N011

英文科目名称： Law(the Constitution of Japan)　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
道下 洋夫			

授業形態	講義形式にて行なう	担当者
授業計画	第1回　法とは何か なぜ法を学ぶのか、法とは何かについて様々な角度から考える	道下 洋夫
	第2回　法と社会・法の種類 法と社会との関わりあい方、法と医療の関わり合い方について理解する	道下 洋夫
	第3回　日本の法システム 日本の法令にはどのようなものがあるか、どのような性質を持つかについて理解する	道下 洋夫
	第4回　日本の司法制度 法的責任、訴訟事件にはどのようなものがあるかについて理解する	道下 洋夫
	第5回　憲法1 憲法の基本理念及び構造について理解する	道下 洋夫
	第6回　憲法2 基本的人権（平等権、受益権、平和的生存権）について理解する	道下 洋夫
	第7回　憲法3 基本的人権（自由権、社会権、包括的基本権）について理解する	道下 洋夫
	第8回　憲法4 統治機構（三権分立、地方自治）について理解する	道下 洋夫
	第9回　民法1 私法とは何か、債権債務とは何か、契約とは何かについて理解する	道下 洋夫
	第10回　民法2 不法行為など契約外の債権について、及び債権の一般的な規則について理解する	道下 洋夫
	第11回　民法3 物権とは何か、担保とは何かについて理解する	道下 洋夫
	第12回　民法4 行為能力、時効など民法の一般的な規則について理解する	道下 洋夫
	第13回　刑法1 刑法の基本原理について理解する	道下 洋夫
	第14回　刑法2 個々の犯罪、および特別法について理解する	道下 洋夫
	第15回　刑法3 構成要件、違法性、責任とは何かについて理解する	道下 洋夫
科目の目的	日本は、法治国家である。法治国家においては、法令が社会の仕組みを規定しており、その実施こそが社会を動かしているといって過言ではない。したがって、諸君がこれから社会人として羽ばたいていくということは、いかに細かい法令であろうと「知りませんでした」では済まされない世界に飛び込んでいくということでもある。法学を学ぶ意義はここにこそある。【看護職としての態度】	
到達目標	・憲法を中心とした日本の法システムの概要について理解する。 ・憲法、民法、刑法を通じて実際の法規定を概観する。 ・社会人として生きていくのに必要な法知識を習得するだけでなく、2年生以降の専門領域における各種医療関係法規・医療倫理の学習へつなげる。	
関連科目	看護学概論Ⅰ・II、社会福祉・社会保障制度論、地域保健政策論、施策化・政策形成過程演習、生命倫理	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回講義で扱った内容について目を通しておくこと(90分程度)。	
教科書・参考書	教科書：特にないが適宜、資料・法令を配布するので、各自事前に印刷して用意すること。	
オフィス・アワー	質問等があれば、講義中あるいは講義後に受け付ける。	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅱ-3-A-b	
履修条件・履修上の注意	2年生以降の各種医療関係法規や社会保障制度の学習の前提となる。 ただし、習得すべき知識量が極めて多いことに留意すること。	

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 社会学　　授業コード： 4N012

英文科目名称： Sociology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
坂本 祐子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　社会学とは 社会の成り立ち　個人と集団と社会	坂本 祐子
	第2回　個人の生活の理解 多面的な日常生活のとらえ方	坂本 祐子
	第3回　保健・医療・看護とQOL QOL概念の変遷とその時代背景　現代医療におけるQOL概念の意義	坂本 祐子
	第4回　社会的な健康 健康とは　ソーシャル・キャピタルと健康	坂本 祐子
	第5回　家族（１） 家族とは　家族の個人化と多様化	坂本 祐子
	第6回　家族（２） ライフコースの変化と家族	坂本 祐子
	第7回　家族（３） 家族のケア機能　ケアとジェンダー	坂本 祐子
	第8回　家族（４） 児童虐待　ドメスティック・バイオレンス　高齢者虐待	坂本 祐子
	第9回　社会階層 連鎖する貧困　社会的排除	坂本 祐子
	第10回　地域社会（１） 地域社会とは　地域社会の変動とコミュニティ	坂本 祐子
	第11回　地域社会（２） 人々の地域社会との関わり	坂本 祐子
	第12回　地域社会（３） 社会的ネットワークとその意義	坂本 祐子
	第13回　地域社会（４） コミュニティ形成とその諸課題	坂本 祐子
	第14回　集団・組織 フォーマルな組織とインフォーマルな組織	坂本 祐子
	第15回　ふりかえり 社会的存在としての人間　医療と社会情勢の変化	坂本 祐子
科目の目的	現在、日本は人口減少、経済格差や健康格差等多くの課題を抱えており、健康や生活を専門とする医療職は、医療や保健だけでなく、福祉、労働、地域等のあらゆる分野での活躍が期待されている。この科目は、適切な看護技術を提供するだけでなく、社会情勢の変化に注目し、身近な看護に関連する社会の有り様について考えるとともに、人々の生活や家族との関係、地域社会の動向を踏まえた適切な保健医療サービスの提供を可能にする知識の形成を目的とする。【看護職としての態度】【対象の理解】	
到達目標	１．社会情勢の変化をとらえ、その社会で生きる個人の生活を考える際には、様々な切り口（家族・ライフスタイル・健康・地域社会とのつながり等）があることが理解できる。 ２．人間にとって社会とは何か、私たちが生きている現代社会のあり方を社会科学的な視点で考察することができる。 ３．専門援助者として、家族の変化や虐待・ＤＶ等の暴力にどのように対応すべきか考えることができる。	
関連科目	法学（日本国憲法含む）　経済学　社会福祉・社会保障制度論　小児看護学総論　老年看護学総論地域ボランティア活動論 看護学概論Ⅰ・Ⅱ　母性看護学総論　公衆衛生看護学概論　母子と家庭の心理・社会学 在宅看護学概論　災害看護論　社会福祉・社会保障制度論	
成績評価方法・基準	講義時間内に、何度か小レポートを実施(次回講義以降に返却)。定期試験70％・小レポート30％	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyにより資料を配布するので、資料内の不明な用語等を調べてくること。また、前回講義の重要事項を見直しておくこと。日頃から新聞に目を通すことを習慣にし、1週間で4時間半以上を自己学習に必要な時間の目安とする。	
教科書・参考書	使用しない	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅱ-6-B-a～b、Ⅱ-8-A-a～b、Ⅱ-8-B ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅰ-1-B-b～e、Ⅰ-1-C、Ⅰ-2-A ≪老年看護学≫-Ⅰ-4-A-a～c	

	≪小児看護学≫-Ⅲ-6-A ≪母性看護学≫-Ⅰ-1-D-a
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を配布するので（前回講義翌日から当該日まで）、各自講義中に使用できるように準備しておくこと。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 生活文化と医療　　授業コード： 4N013

英文科目名称： Culture and Medicine in Life　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション 本講義の目的と到達目標、授業の進め方（第１回から第１５回までの講義内容の簡単な説明）についてお話をします。	鈴木 英恵
	第2回	患者にとってのお守り 病院内と病院外（訪問看護・在宅看護）を対象に、医療従事者である臨床看護師、在宅看護師が経験あるいは見聞した患者とお守りのエピソードを紹介します。患者にとってのお守りとはどのようなものか、その特徴について考えてみます。	鈴木 英恵
	第3回	死生観について 人は皆、それぞれ死生観を持っています。ここでは死生観とは何か、を考える時間を設けます。授業の後半部でGWのレポート課題「死生観」の説明をします。あわせてレポートの書き方、文章の組み立て等のお話をします。	鈴木 英恵
	第4回	名づけとキラキラネーム 現代社会では、読み方が困難な子どもが増えてきています。これをキラキラネームと呼びます。医療現場や実生活において、読むのが難しいキラキラネームは問題になっているようです。ここでは伝承的な名づけの方法と、現代におけるキラキラネームの命名方法の特徴を考えます。	鈴木 英恵
	第5回	道祖神と民間信仰 路傍に佇む地蔵、道祖神などの石仏は、人びとの信仰対象（主に病気治癒や旅の神等）として古くから造立されてきました。ここでは近世後期に盛んに造られた道祖神を取り上げ、その信仰内容を説明します。あわせて、現代社会における道祖神の役割も考えてみます。	鈴木 英恵
	第6回	医療民俗学とは？！ 医療民俗学が対象とするのは、世間の人びとが日々の生活の中で経験し、知識として実践してきた医療習俗です。ここでは、医療民俗学の創設と医療習俗の対象となるもののお話します。	鈴木 英恵
	第7回	医療民俗学にみる年中行事の役割 日本では、それぞれ季節の節目に病魔や災厄を払う年中行事が存在します。ここでは年中行事の意味を考えながら、病い除ける行事や祭りをみていきます。	鈴木 英恵
	第8回	映像鑑賞　盲目の旅芸人瞽女 かつて、越後や北陸地方の村々をめぐる盲目の女性、瞽女さんがいました。幼いころに目を患うと自立した生活を送るために、幼少時から師匠に付いて三味線と唄の技術を身につけました。ここでは、瞽女さんの生活様式をみていきましょう。	鈴木 英恵
	第9回	いのち観と人生儀礼 授業の前半部では、テキストを中心にいのちの捉え方を『徒然草』、熊野観心十界曼荼羅図から人の一生のあり方を考えます。授業の後半部では、人の「いのち」についてじっくり考える時間を持ちます。テキストの内容をもとに、赤子の出生における誕生儀礼を中心にお話をします。	鈴木 英恵
	第10回	課題レポートの説明 本講義では、「生活文化と医療」をテーマにしたレポート課題があります。ここでは、ていねいにレポートの書き方の説明をします。近い将来、皆さんは医療従事者として患者やその家族と接する機会があると考えます。レポートでは、皆さん自身の生活に目を向けてもらい、医療に関連する事柄をまとめてもらいます。	鈴木 英恵
	第11回	病気をめぐる民俗 テキストを中心にお見舞いの品やカレンダーの暦と病気の関係など、病気をめぐる治癒祈願の方法を理解します。あわせて、看取りと臨終についても取り上げます。	鈴木 英恵
	第12回	一日の時間にみる民俗 テキストを中心に、夜の民俗の意味について考えます。また一日の時間、朝・昼・晩の時間の使い方を皆さん自身にも考えてもらいます。また、高齢女性の暮らしを例に、一日の時間の使い方についてみていきます。	鈴木 英恵

	第13回　ものに宿る霊魂 普段私たちが何気なく使うもの、たとえば食事で使う箸にはその人自身の霊魂が宿るといわれています。テキストの内容を中心に、ものに宿る霊魂観とは何かを考えてみます。 第14回　長寿祝いと老人観 テキストから全国各地の長寿祝いの方法を学びます。高齢化社会を象徴する儀礼の特徴をみていきます。老いと福祉に関する回想法についても理解します。 第15回　まとめ（看取りと先祖供養） 死の儀礼と伝統的な葬送習俗について、テキストを中心に考えます。ここでは供養とは何かを考え、故人を偲ぶ方法と供養をみていきます。	鈴木 英恵 鈴木 英恵 鈴木 英恵
科目の目的	本講義では、現代医療以前の伝統的な医療習俗を取り上げます。具体的にいうと、伝統的な医療習俗とは民間に伝承する病気の捉え方、治癒の方法など、いわゆる民間療法が対象となります。民間療法は、医師や医療従事者より古くから存在し、私たちの生活に根付いてきました。民間療法の一つに伝統的医療体系があります。医療技術は日々進歩し病院では科学的な医療が施されますが、その一方で、人は重い病気や完治の困難な病気を抱えると、お守り、お札（護符）など神仏の力に頼り、それらを心の拠り所にしようとします。このように、よりよい健康状態を求めようとする人びとの心意も、伝統的な医療習俗に属します。地域医療の対象となる人びとが病いをどのように考え、日々どのように過ごしているのかを考えていきます。本講義をとおし、現代を生きる人びとの生活から医療との接点を実感し、患者やその家族の精神的な面を考慮できる保健医療従事者になることを目的とします。 【看護職としての態度】	
到達目標	現代医療に通じる伝統的な医療習俗を学ぶことは、いまの生活の質を向上させる可能性を持っています。今後、医療従事者を目指す皆さんは赤子から高齢者まで、さまざまな世代の患者やその家族と接するときがきます。伝統的な医療習俗や地域医療の対象となる人びとの生活文化を、知識として有していれば、患者らとの円滑なコミュニケーションを取ることが期待できます。本講義では、「死生観」と「生活文化と医療」に関するレポート課題がありますが、履修者の課題に対する取り組みへの姿勢とその内容を鑑み、成績に反映させます。レポート課題を達成した後、履修者が獲得できる能力は①患者の視点に立って物事をみる力を養うこと、②患者やその家族らの心の動きが理解できることの2点と考えます。医療技術のみならず、患者らの気持ちに寄り添えるような保健医療従事者となる能力の獲得を目標とします。	
関連科目	生命倫理、家族社会学	
成績評価方法・基準	死生観に関するレポート課題（４０％）、生活文化と医療に関するレポート課題（４０％）、講義内容について理解できているのかを測るミニテスト（２０％）を実施します。 ２つレポート課題（死生観に課するレポート及び、生活文化医療に関するレポート）の提出は必須です。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	自分の日常生活から、医療や看護、病気などに関連すること（衣食住の面から病気にならないために気を付けていること、病気を治すための治癒祈願、病気にならないように日々心掛けていること、健康維持の方法など）に興味を持ってください。そして日常生活の中から、本講義の名称「生活文化と医療」に関するキーワードを自分で探し出してみてください。講義内で皆さんが考えるキーワードについても、触れていきたいと考えます。人は生きている限り、常に病いと向き合って生きていきます。皆さんは、自分の身体の体調が悪いとき、あるいは病気や怪我をしたとき、どのような行動をして健康な身体を取り戻すでしょうか。自分自身を含み、身近な人たち（父母、祖父母、友人、知人など）は如何にして病いと向き合い、正常な身体を取り戻しているのかを考えてみましょう。私たちの日常生活を注意深く観察することで、医療との接点を発見しそれに結びつく課題の獲得ができます。それら課題（疑問点）の意味をひとつずつていねいに考えることで、「なぜ」という疑問を解決することができます。授業前までに、９０分ほど時間をかけてテキストをじっくり読み、授業内容と合わせて自分なりの考えをまとめてみてください。	
教科書・参考書	教科書：『叢書・いのちの民俗学３　生死 看取りと臨終の民俗 ゆらぐ伝統的生命観』　板橋春夫（2019　社会評論社） 参考書１：『図解案内 日本の民俗』　福田アジオ・内山大介・小林光一郎・鈴木英恵・萩谷良太・吉村風編　（2019　吉川弘文館） 参考書２：『医療民俗学論』根岸謙之助　（1991　雄山閣） 必要に応じて、講義に関する資料を配布します。	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	講義では、履修者の能動的な学修への参加を取り入れたアクティブ・ラーニングを行います。そのため自主的な授業参加をもとめ、think, Pair, Shareを重視します。講義内で生活文化と医療に関連する質問を投げかけますので、それに対する自分の意見を考え（Think）を持ってください。そのあとに、隣・前後の履修者と２～３名（Pair）とその内容について話し合ってください。そして、数名の履修者に質問に対する自分の考えを発表してもらい、全体で共有（Share）します。	

講義科目名称： 地域ボランティア活動論　　授業コード： 4N014

英文科目名称： Volunteer Activities in a Community　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
一柳 大輔			

授業形態	講義6回、実習(ボランティア体験活動)2回	担当者
授業計画	第1回　ガイダンス、ボランティアの現状、ボランティアの歴史について 本講義の目的、授業の流れ等ガイダンスの説明。日本におけるボランティアの現状、ボランティアの定義、日本・欧米におけるボランティアの歴史ついて説明する。 また「民生委員・児童委員」「NPO」といった多様なボランティアの歴史を説明する。	一柳
	第2回　ボランティアに関する情報収集、ボランティアセンターの役割について ボランティア活動をスタートするにあたり、必要となる情報収集の方法について説明する。ボランティアセンターの組織や活動内容について説明し、各市区町村に設置されているボランティアセンターの活用方法を理解する。また、申請までのロールプレイングを行い、ボランティア参加までの流れを理解する。	一柳
	第3回　寄付と還元について 共同募金(赤い羽根共同募金)を例に寄付文化とその還元について説明する。寄付がどのようなかたちで使われているか、実際の事業を紹介し理解を深める。	一柳
	第4回　性的マイノリティとボランティア活動について 性的マイノリティに関連する団体の事業を紹介する。また、居場所事業・相談支援事業・啓発活動に関する紹介を通してボランティアとしてどう関われるかを考察する。また、「アライ(支援者)」として性的マイノリティの方との交流を支援的側面に特化して説明する。	一柳
	第5回　生活課題を抱えた方への支援とボランティア活動について 高齢者や障害者で孤独や生活課題を抱えている方などを対象とした居場所事業やコーディネート実践の紹介を通してボランティアとしてどう関われるかを考察する。	一柳
	第6回　ボランティア体験活動~障害者スポーツ体験～ 障害者スポーツ体験を実施する。障害者を支援する側される側、双方の立場を体験しながらボランティアとしての関わり方を体験する。※体育棟で土曜日に実施。第7回と兼ねる。	一柳
	第7回　ボランティア体験活動~障害者スポーツ体験～ 障害者スポーツ体験を実施する。障害者を支援する側される側、双方の立場を体験しながらボランティアとしての関わり方を体験する。※体育棟で土曜日に実施。第6回と兼ねる。	一柳
	第8回　ボランティア体験の実践発表、ボランティアに関する企業の取り組みの紹介 講義をとおした学びとボランティア体験に関する発表を行う。様々な背景を持つ学生同士で知見を共有、考察する。また、民間企業の社会貢献活動の取り組みを紹介し、卒後の専門職キャリアを歩むうえでのボランティア活動の捉え方を考察する。	一柳
科目の目的	1.ボランティア活動の多様なあり方を理解する 2.ボランティアに関連するステークホルダーを知り、他者を尊重し、自身のかかわり方を考察する 3.専門職として地域社会に主体的かつ創造的に貢献できる人材の育成 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1.ボランティア活動の基本概念、歴史、現在の多様なニーズを理解し、ボランティアの意義を説明できる状態 2.実践、体験を通して、地域社会のニーズやボランティア活動について説明できる状態 3.ボランティア・市民活動の実践を振り返り、専門職としての職業観の確立の基礎作りに寄与できている状態	
関連科目	なし	
成績評価方法・基準	ボランティア体験レポート(50%)・授業内レポート(50%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	個人、専門職としてどのようにボランティアと関わるかを自身なりに整理し、言語化できるようにしておくこと。テーマに沿って自身の気になるトピックスを学習おくこと。準備学習に必要な時間の目安：1コマあたり2時間	
教科書・参考書	使用しない	

オフィス・アワー	授業の前後（教室もしくは非常勤講師室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、教室内での演習、ディベート

講義科目名称： 経済学　　授業コード： 4N015

英文科目名称： Economics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。	飯島 正義
	第2回　経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの歩みを概略的に説明します。	飯島 正義
	第3回　市場メカニズムと政府の役割 市場メカニズムとは何か、市場の失敗とその是正について説明します。	飯島 正義
	第4回　財政政策と金融政策 政府の行う財政政策、日本銀行が行う金融政策について説明します。	飯島 正義
	第5回　国内総生産（GDP） 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。	飯島 正義
	第6回　経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。	飯島 正義
	第7回　貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支表」で確認します。	飯島 正義
	第8回　為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。	飯島 正義
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	１．経済学の基礎知識を身につけることができます。 ２．経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における復習プリント４０％（３～４回、授業資料参照可）、授業内試験６０％で総合的に評価します。 なお、復習プリントのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業資料で前回の授業内容を復習するとともに、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して2時間復習・予習にあてて下さい。	
教科書・参考書	教科書は使用しません。授業ではWebに添付する授業資料を使います。また、参考書については必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー	授業の前後の時間に講師室で対応します。	
国家試験出題基準	該当しません。	
履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。なお、資料の添付期間は前回授業翌日から2週間とします。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。	

講義科目名称： 環境学　　授業コード： 4N016

英文科目名称： Environmental Studies　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西薗 大実			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　環境とは 環境問題の範囲と背景、SDGs	西薗 大実
	第2回　地球の環境の構造 地球の自然の成り立ち	西薗 大実
	第3回　生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは	西薗 大実
	第4回　環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ	西薗 大実
	第5回　典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉱毒、四大公害病	西薗 大実
	第6回　有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として	西薗 大実
	第7回　水質汚濁（Ⅰ） 水質汚濁の原因、生活排水、BOD	西薗 大実
	第8回　水質汚濁（Ⅱ） 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり	西薗 大実
	第9回　気候変動（Ⅰ） 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加	西薗 大実
	第10回　気候変動（Ⅱ） 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測	西薗 大実
	第11回　気候変動（Ⅲ） 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定	西薗 大実
	第12回　エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー	西薗 大実
	第13回　廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物と３R	西薗 大実
	第14回　低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり	西薗 大実
	第15回　持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西薗 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。 【看護職としての態度】【対象の理解】	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習（自筆ノートの整備）を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は１コマ当たり４時間。	
教科書・参考書	使用しない（プリント配布）	
オフィス・アワー	授業の前後・非常勤講師室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	教室内でのグループ・ディスカッション	

講義科目名称： 生物学　　授業コード： 4N017

英文科目名称： Biology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田淳子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　ヒトへの進化　生命を支える物質（１） ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質	嶋田 淳子
	第2回　生命を支える物質（２） 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物（糖質） ・脂質 ・核酸 ・無機質（無機塩類）	嶋田 淳子
	第3回～4回　生命の単位 ①ウイルス、原核細胞（細菌類を含む）、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能　・細胞質基質の役割　・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能　・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能　・リソソーム ・ペルオキシソーム　・ミトコンドリア　・色素体　・細胞骨格の種類とその役割	嶋田 淳子
	第5回　ＤＮＡ ①ＤＮＡ複製のしくみ ②ＤＮＡの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ	嶋田 淳子
	第6～7回　受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖、減数分裂 ②受精 ③発生と分化のしくみ　卵割と胞胚形成 ④胚葉形成（中期胞胚変（遷）移と母性胚性変（遷）移） ⑤器官形成 ⑥形態形成とアポトーシス	嶋田 淳子
	第8回　ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③ＡＢＯ血液型の遺伝 ④家系図の書き方 ⑤遺伝病の原因―――遺伝子変異	嶋田 淳子
科目の目的	高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【看護職としての態度】	
到達目標	ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる ③細胞の構造、 細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する ④体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。	
関連科目	化学、解剖学Ｉ、生理学Ｉ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績（80%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（20%）により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を１時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。	
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」　佐々木史江、堀口　毅、岸　邦和、西川純雄　（医歯薬出版株式会社）	

	参考書：１．「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一　監訳（南工堂） ２．アメリカ版　大学生物学の教科書１巻～３巻」　D.サダヴァ他著　ブルー-バックス（講談社） ３．「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」　和田　勝　（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学分野の研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、教科書、講義資料等で予習後、履修することが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。

講義科目名称： 数学　　授業コード： 4N018

英文科目名称： Mathematics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	数と式 多項式の四則演算を復習する。日常で数や式を操作するセンスを伸ばすことを促す。	井上 浩一
	第2回	方程式と不等式 １次不等式、２次方程式の復習をする。日常や医療の場でもそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第3回	２次関数 関数とグラフの概念を復習する。 関数の最大・最小の求め方を整理する。 ２次関数のグラフと２次方程式・２次不等式の関係。 生活の中で数量的なセンスを発揮することを促す。	井上 浩一
	第4回	図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量に関して復習する。 生活の中でそのセンスを磨くことを考える。	井上 浩一
	第5回	個数の処理 集合とその要素の個数、場合の数、順列、組み合わせ・二項定理の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第6回	確率 事象と確率、確率の性質、反復試行の確率、期待値の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	井上 浩一
	第7回	論理と命題 命題と条件、必要条件、十分条件、逆、裏、対偶の復習。生活や医療の場で論理的にものごとをとらえるセンスを磨くことを促す。	井上 浩一
	第8回	基礎統計学 資料の整理を復習し，データの特徴的な値を求める。	井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と軽量、場合の数と確率、論理と命題、基礎統計学について学ぶ。【看護職としての態度】		
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的にものごとを評価するセンスを磨く。		
関連科目	化学		
成績評価方法・基準	筆記試験(90%) + 小テスト(10%) なお，社会情勢に応じて，筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度)		
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし。 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること		
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない		

講義科目名称： 化学　　授業コード： 4N019

英文科目名称： Chemistry　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて，化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える．	日置 英彰
	第2回	物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造，原子軌道，分子軌道について解説する．	日置 英彰
	第3回	元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか，元素の分類と周期表の読み方について解説する．	日置 英彰
	第4回	イオン イオンとイオン結合の原理，生体内でのイオンの役割について解説する．	日置 英彰
	第5回	共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である．有機分子の結合様式，特有な形，一般的な性質について解説する．	日置 英彰
	第6回	水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体，液体，固体）について解説する．	日置 英彰
	第7回	物質の変化における速度論と平衡論 物質の変化は，速度論と平衡論の両面から考察する必要がある．これらについて概説する．	日置 英彰
	第8回	放射線と放射能 放射性崩壊と半減期，医療における放射性同位体の利用について解説する．	日置 英彰
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば，巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる．本科目では，物質の科学であると言われる化学について，物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び，専門課程の理解ための基礎的知識を身につけることを目的とする．【看護職としての態度】		
到達目標	専門課程で学習する内容を理解するために，化学分野の基礎的知識を習得する．		
関連科目	生化学		
成績評価方法・基準	試験（８０％），毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（２０％）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが，毎回の講義の理解度を確認するために，各講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください．準備学習時間の目安：１時間		
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本　有本淳一・西沢いづみ著　化学同人 参考書：特に指定なし		
オフィス・アワー	講義前後の時間		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	特にありません．		
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど，能動的な学習を行ってください．各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください．		

講義科目名称： 英語リーディング　　授業コード： 4N020

英文科目名称： General English Reading　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　Introduction、Self Introduction 授業の説明、自己紹介　（課題）英語で自己紹介をしてみる。	徳永慎也
	第2回　Lesson 1　Communication communicationの持つ力についての英文読解。課題のフィードバック。	徳永慎也
	第3回　Lesson1　Communication communicationの持つ力についての英文読解。Grammar for ommunicationのLet's Try (Lesson 1)	徳永慎也
	第4回　Lesson 3　Health 病気を引き起こす微生物発見の歴史についての英文読解。	徳永慎也
	第5回　Lesson 3　Health 病気を引き起こす微生物発見の歴史についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 3)	徳永慎也
	第6回　Lesson 4　Environment 絶滅種、絶滅危惧種についての英文読解。	徳永慎也
	第7回　Lesson 4　Environment 絶滅種、絶滅危惧種についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 4) （課題）私の好きな事、もの	徳永慎也
	第８回　Lesson 5　Fashion 日本の着物の歴史についての英文読解。課題のフィードバック	徳永慎也
	第9回　Lesson 5　Fashion 日本の着物の歴史についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's　Try (Lesson 5)	徳永慎也
	第10回　Lesson　10　Steve Jobs Steve Jobsの生涯に関する英文読解。Jobsのメッセージを読み取る。	徳永慎也
	第11回　Lesson　10　Steve Jobs Steve Jobsの生涯に関する英文読解。Grammar for CommunicationのLet's　Try (Lesson 10)	徳永慎也
	第12回　Lesson　11　Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する英文読解。	徳永慎也
	第13回　Lesson　11　Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する英文読解。Grammar for Communication のLet's Try (Lesson 11) （課題）スマートフォンの利点・欠点	徳永慎也
	第14回　Lesson　14　Culture カルチャーショックに関する英文読解。　課題のフィードバック	徳永慎也
	第15回　Lesson　15　An International World 留学を通して得られたものについての会話練習、英文読解。	徳永慎也
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通して、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【看護職としての態度】【国際的な視野】	
到達目標	・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声を聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。	
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験（60%）課題(30%) extensive reading(10%)	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。 復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。 extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。
教科書・参考書	教科書：Journeys: Communication for the Future　阿野幸一ほか4名　(朝日出版社)
オフィス・アワー	講義日の昼休み（4号館8階研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。辞書を授業に持ってくること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 医療英語リーディング　　授業コード： 4N021

英文科目名称： Medical English Reading　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	Introduction―Pretest　Test Your Reading Skill: Team Medicine 授業の説明、各自のreading abilityのチェック、単語力のチェック。	徳永慎也
	第2回	Unit ２ Coping with Cancer: Five Stages of Grief topicの英文読解、内容の把握。がんと共に生きるための5つのステージ1とは何か。接頭辞と接尾辞 1	徳永慎也
	第3回	Unit ２ Coping with Cancer: Five Stages of Grief topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 2 単テスト返却	徳永慎也
	第4回	Unit ３ Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。医療と宗教の関わり方と解決策を考える。接頭辞と接尾辞 3 単語テスト返却	徳永慎也
	第5回	Unit ３ Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 4 単語テスト返却	徳永慎也
	第6回	Unit 6 What Comes First When Helping Others topicの英文読解、内容の把握。医療従事者自身の身体的、精神的ケアを考える。接頭辞と接尾辞 5 単語テスト返却	徳永慎也
	第7回	Unit 6 What Comes First When Helping Others topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 6 単語テスト返却	徳永慎也
	第8回	Unit 8 What Is ″Upstream″ Thinking? topicの英文読解、内容の把握。upstream thinkingとは何かを理解する。接頭辞と接尾辞 7 単語テスト返却	徳永慎也
	第9回	Unit 8 What Is ″Upstream″ Thinking? topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 8 単語テスト返却	徳永慎也
	第10回	Unit 9 Actions Speak Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。非言語コミュニケーションとは何かを理解する。接頭辞と接尾辞 9 単語テスト返却	徳永慎也
	第11回	Unit 9 Actions Speak Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 10 単語テスト返却	徳永慎也
	第12回	Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。医療ミスについて理解する。接頭辞と接尾辞 11 単語テスト返却	徳永慎也
	第13回	Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 12 単語テスト返却	徳永慎也
	第14回	Unit 14 Japan's Healthcare System Is the Envy of the World topicの英文読解、内容の把握。日本の国民皆保険制度を考える。接頭辞と接尾辞 13 単語テスト返却	徳永慎也
	第15回	Unit 14 Japan's Healthcare System Is the Envy of the World Reading Skillのチェック topicの英文読解、内容の把握。各自のreading skillの再チェック。単語力の再チェック。単語テスト返却	徳永慎也
科目の目的	専門分野の英語に取り組むためのリーディング力、リスニング力、表現力の養成と強化。 医療系の基本的英語語彙力と英語表現力の強化。【看護職としての態度】【国際的な視野】		

到達目標	・医療全般に関するトピックを読み、構文を正しくとらえ、内容を理解することができる。 ・トピックの内容をまとめ、関連する事柄について、自分の意見・考えを表現できる。 ・テキストの音声を聞いて単語や文章を正しく聴き取ることができる。 ・医療の基本的英単語、英語表現を覚え、声に出して読んで正しく書くことができる。
関連科目	英語リーディング　医療英語会話　英語会話　英語アカデミックリーディング・ライティング
成績評価方法・基準	定期試験（90%）　医療英単語テスト(10%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文、英単語の音声を聴く。英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。 復習：その日に学習したことを整理し、英語構文を理解する。英単語、英語表現は覚え、正しく発音できるように音声教材をよく聴き、また、正しく書けるまで練習する。課題を行う。 予習復習合わせて約1時間。
教科書・参考書	教科書：Medical World Walkabout　大野直子＆ダシルヴァ石田牧子　(成美堂)
オフィス・アワー	講義日の昼休み（4号館8階研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。辞書を授業に持ってくること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 英語会話　　授業コード： 4N022

英文科目名称： General English Conversation　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	Course introduction/Icebreaking Explanation of the syllabus and grading. Introduction of phrases that will commonly be used in the class.	David Andrews
	第2回	Unit 1: Which do you prefer, dogs or cats? Talking about yourself, your hobbies, and your interests.	David Andrews
	第3回	小テストU1 および Unit 2: Where would you like to visit? Talking about countries and places that interest you.	David Andrews
	第4回	小テストU2 および Unit 3: Let's talk about money Expressing money amounts, dealing with currency exchange, and using an ATM.	David Andrews
	第5回	小テストU3 および Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 1) および第1回目のプレゼンテーション準備 Making reservations and checking in to a hotel および各Unitより会話の作成。	David Andrews
	第6回	第1回目のプレゼンテーションおよび Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 2) 第1回目のプレゼンテーションおよび Making reservations and checking in to a hotel (continued)	David Andrews
	第7回	小テストU4 および Unit 5: Let's do this! Talking about resort activities and making plans.	David Andrews
	第8回	小テストU5 および Unit 6: How do I get to the Koi Pond? Asking and giving directions.	David Andrews
	第9回	小テストU6 および Unit 7: Where are you headed? Asking for a taxi and making small talk.	David Andrews
	第10回	小テストU7 および Unit 8: Let's take a tour! (part 1) および第2回目のプレゼンテーション準備 Talking about various island tours and activities および各Unitより会話の作成。	David Andrews
	第11回	第2回目のプレゼンテーションおよび Unit 8: Let's take a tour! (part 2) 第２回目のプレゼンテーションおよび Talking about various island tours and activities (continued)	David Andrews
	第12回	小テストU8 および Unit 9: How much is this T-shirt? Going shopping and buying things.	David Andrews
	第13回	小テストU9 および Unit 10: Let's go out to eat! Ordering food at a restaurant.	David Andrews
	第14回	小テストU10 および Unit 11: Lost and Found Describing an item you have lost.	David Andrews
	第15回	Unit 12: How was your vacation? および定期試験（プレゼンテーション）の準備 Talking about your experiences および各Unitより会話の作成。	David Andrews
科目の目的	本授業では、英語でコミュニケーションをとる際に役立つ用語や表現、異文化に対する寛容さを身に付け、様々な状況や場面で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。［キーワード：【看護職としての態度】【国際的な視野】］		
到達目標	・自分のことや身の回りのことについて英語で伝えることができる。 ・様々な場面において実用的なコミュニケーションスキル(要求、指示など)を習得する。 ・英語圏の文化や風習を理解する。		
関連科目	医療英語会話、英語リーディング、医療英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング		
成績評価方法・基準	小テスト（30%）、中間プレゼンテーション（2回；1回目＝15%、2回目＝20%）、定期試験（プレゼンテーション）（35%） 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。学習時間は1.5時間程度。また、中間プレゼンテーションの準備時間は合わせて4～6時間程度。		
教科書・参考書	教科書：使用せず 適宜、教材用資料を配布		

オフィス・アワー	授業日の昼休み（1号館 ANNEX 6階619研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	予習は必ずすること。授業に辞書を持ってくる。
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称： 医療英語会話　　授業コード： 4N023

英文科目名称： Medical English Conversation　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	Introduction/Icebreaking イントロダクション、本授業について（シラバスや成績評価方法等）。 初対面で使う表現および授業中よく使われる表現の紹介、練習。	David Andrews
	第2回	Unit 1: Meeting patients	David Andrews
	第3回	Body Partsの小テスト（１） + Unit 2: Taking a medical history	David Andrews
	第4回	Unit 2の小テスト + Unit 3: Assessing symptoms	David Andrews
	第5回	Unit 3の小テスト + Unit 4: Taking vital signs および第1回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第6回	第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Taking vital signs	David Andrews
	第7回	Unit 4の小テスト + Unit 5: Taking a specimen	David Andrews
	第8回	Unit 5の小テスト + Unit 6: Conducting a medical examination	David Andrews
	第9回	Body Partsの小テスト（２） + Unit 7: Assessing pain	David Andrews
	第10回	Unit 7の小テスト + Unit 8: Advising about medication および第2回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第11回	第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Advising about medication	David Andrews
	第12回	Unit 8の小テスト + Unit 9: Improving Patients’ mobility	David Andrews
	第13回	Unit 9の小テスト + Unit 10: Maintaining a good diet	David Andrews
	第14回	Body Partsの小テスト（３） + Unit 11: Caring for inpatients	David Andrews
	第15回	Unit 12: Coping with emergencies および定期試験（プレゼンテーション）の準備	David Andrews
科目の目的	現在、医療は、間違いなくグローバルな分野であり、「国際語」である英語を通じて様々なアイデアが世界中に共有されている。本授業では、医療分野において必要な医療用語や表現を知識として身に付け、実際の場で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。［キーワード：【看護職としての態度】【国際的な視野】］		
到達目標	医療業界において様々なシチュエーションに対応できるようになる。また、医療業界でよく使われている専門用語や表現等を聞き取り、言えるようになる。		
関連科目	英語会話、医療英語リーディング、英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング		
成績評価方法・基準	小テスト（30%）、中間プレゼンテーション（2回；1回目＝15%、2回目＝20%）、定期試験（プレゼンテーション）（35%） 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。予習：テキストに目を通して、オーディオを聞き、練習問題をする。学習時間は合わせて1.5時間程度。また、中間プレゼンテーションの準備時間は合わせて4～6時間程度。		
教科書・参考書	教科書：Caring For People		
オフィス・アワー	授業日の昼休み（1号館 ANNEX 6階619研究室）		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	予習は必ずすること。授業に辞書を持ってくる。		
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション		

講義科目名称： 英語アカデミックリーディング・ライティング 授業コード： 4N024

英文科目名称： Academic Reading and Writing in English 対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 中国語　　授業コード： 4N025

英文科目名称： Chinese　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回　中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回　子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回　発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回　第１課の学習 第１課［私は日本人です］ 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第6回　第１課の復習と第２課の学習 第２課[これは中国語の教科書です] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第7回　第２課の復習と第３課の学習 第３課[マクドナルドに行きましょう] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第8回　発音の総合復習と第１課から第３課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回　第３課の復習と第４課の学習 第４課[明日の天気はあまりよくない] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第10回　第４課の復習と第５課の学習 第５課[私は今年18歳です] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第11回　第５課の復習と第６課の学習 第６課[食堂は図書館のむかいにあります] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第12回　第６課の復習と第７課の学習 第７課[私は11時に寝ます] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第13回　第７課の復習と第８課の学習 第８課[私は中日辞典を１冊買いに行きたい] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第14回　第８課の復習と第９課の学習 第９課[私は本屋でアルバイトをしています] 文法　単語　本文　置換練習 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第15回　第１課から第９課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【看護職としての態度】【国際的な視野】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。 提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1時限ごとに30分ぐらい必要である。 発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書・参考書	教科書：グッと入門中国語 改訂版（金星堂） 参考書：なし
オフィス・アワー	講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： コリア語　　授業コード： 4N026

英文科目名称： Korean　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木　順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　ハングルの読み方　基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木　順
	第2回　ハングルの読み方　基本子音 基本子音４個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木　順
	第3回　ハングルの読み方　基本子音 基本子音４個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木　順
	第4回　ハングルの読み方　激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶を紹介する。	青木　順
	第5回　ハングルの読み方　濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木　順
	第6回　ハングルの読み方　合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木　順
	第7回　ハングルの読み方　パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、１歳の誕生日を紹介する。	青木　順
	第8回　「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木　順
	第9回　「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木　順
	第10回　「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木　順
	第11回　「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木　順
	第12回　「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木　順
	第13回　「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木　順
	第14回　「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木　順
	第15回　「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木　順
科目の目的	グローバルな視点を養い、限定的な場面でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。	
到達目標	・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。	
関連科目	特になし。	
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40%）・期末テスト（60%）	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、毎日10分でもよいので、積極的に取り組むこと。
教科書・参考書	講師作成教材使用予定(コピー)
オフィス・アワー	コリア語の授業のある日12:30〜12:50非常勤教員室
国家試験出題基準	特になし。
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。
アクティブ・ラーニングの実施	二人一組で、与えられた課題に取り組む方法をとる。

講義科目名称： ドイツ語　　授業コード： 4N027

英文科目名称： Gernman　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
菅谷　優			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	動詞の現在人称変化１	菅谷優
	第2回	名詞と冠詞の格変化	菅谷優
	第3回	名詞の複数形・人称代名詞	菅谷優
	第4回	動詞の現在人称変化２・命令法	菅谷優
	第5回	定冠詞類・不定冠詞類	菅谷優
	第6回	前置詞	菅谷優
	第7回	話法の助動詞・未来形・非人称動詞	菅谷優
	第8回	分離動詞と非分離動詞・接続詞	菅谷優
	第9回	動詞の三基本形・過去人称変化	菅谷優
	第10回	現在完了・再帰表現	菅谷優
	第11回	形容詞の格変化	菅谷優
	第12回	形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞	菅谷優
	第13回	関係代名詞・指示代名詞	菅谷優
	第14回	受動態	菅谷優
	第15回	接続法	菅谷優
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。【看護職としての態度】【国際的な視野】		
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。		
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理		
成績評価方法・基準	期末試験100％		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間		
教科書・参考書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01272-9を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。 参考書として朝日出版社から出ている単語帳：ドイツ語基礎単語帳をお勧めいたします。		
オフィス・アワー	授業終了後、教室前、あるいは講師室にて		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし		

講義科目名称： ポルトガル語　　授業コード： 4N028

英文科目名称： Portuguese　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.	Hilda Harumi Handa
	第2回	Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese	Hilda Harumi Handa
	第3回	Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se	Hilda Harumi Handa
	第4回	Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet	Hilda Harumi Handa
	第5回	Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.	Hilda Harumi Handa
	第6回	Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.	Hilda Harumi Handa
	第7回	Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.	Hilda Harumi Handa
	第8回	Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.	Hilda Harumi Handa
	第9回	Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.	Hilda Harumi Handa
	第10回	Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.	Hilda Harumi Handa
	第11回	Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.	Hilda Harumi Handa
	第12回	Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.	Hilda Harumi Handa
	第13回	Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.	Hilda Harumi Handa
	第14回	Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.	Hilda Harumi Handa

	第15回　Exam Let’s see how much you learned from the previous classes.	Hilda Harumi Handa
科目の目的	ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会の多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。 また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。 ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。 本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【看護職としての態度】【国際的な視野】	
到達目標	本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。 (1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識（食文化、交通など）を身につけることも目標とします。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it’s a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.	
教科書・参考書	Teacher will provide handouts. Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.	
オフィス・アワー	Students can communicate through email that will be provided on the first class.	
国家試験出題基準	特になし	
履修条件・履修上の注意	5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。 大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。	
アクティブ・ラーニングの実施	discussion , conversation and pair work	

講義科目名称： 情報処理　　授業コード： 4N029

英文科目名称： Information Processing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
西谷　泉			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回　本講義の概要、1章＆2章 本講義の概要とOfficeの基本ついて学ぶ テキスト　(目次)　本書と連携サイトの活用法	西谷　泉
	第2回　3章　Word　文書作成 Wordを使った具体的な文書作成ついて学ぶ テキスト　(第1章)　コンピューターの仕組み	西谷　泉
	第3回　3章　Word　画像や図形を活用した文書作成 Wordを使って画像や図形を活用した文書作成について学ぶ	西谷　泉
	第4回　4章　Excel　表計算のデータ入力 Excelを使って表計算のデータ入力の基本について学ぶ	西谷　泉
	第5回　4章　Excel　関数を使った表計算 Excelを使って重要な関数を活用した表計算を具体例を通して学ぶ	西谷　泉
	第6回　４章　Excel　グラフ作成 Excelを使って表の内容をグラフに表現することを学ぶ	西谷　泉
	第7回　４章　Excel　検索関数の利用 Excelを使って条件を満たすデータを検索することを学ぶI	西谷　泉
	第8回　４章　Excelの便利な機能 Excelの便利な機能を使った分かりやすい表作成を学ぶ	西谷　泉
	第9回　４章　Excel　実習問題 これまで学んだ内容についての実習問題に取り組む テキスト　(第7章)　レポート作成（Word）　▼レポート作成サンプルファイル	西谷　泉
	第10回　万年カレンダーの作成 Excelに関して学んだことを使って、万年カレンダーを作成する	西谷　泉
	第11回　５章　PowerPoint プレゼンテーションの基本について学ぶ PowerPointの使い方とスライド作成の基本について学ぶ テキスト　(第9章)　グラフ作成（Excel）	西谷　泉
	第12回　５章　PowerPoint　アニメーションなどの活用 PowerPointのアニメーションを使った分かりやすいスライド作成について学ぶ テキスト　(第9章　グラフ作成（Excel）　▼集計表、グラフ作成サンプルファイル	西谷　泉
	第13回　5章　PowerPoint　スライドショーと資料作成 PowerPointのスライドショーとプレゼン資料について学ぶ テキスト　(第10章)　プレゼンテーション作成（PowerPoint）	西谷　泉
	第14回　６章　Office　フォトレタッチ機能 Officeソフトを使った画像編集について学ぶ テキスト　(第10章)　プレゼンテーション作成（PowerPoint）▼プレゼンテーション作成サンプルファイル	西谷　泉
	第15回　試験 これまでの学習の理解度を確認する	西谷　泉
科目の目的	膨大な情報が溢れる現代社会に生きている私たちは、適切に情報を収集・処理し、それらを有効に活用する能力を身に付けることが求められている。情報を適切に処理するためにはコンピュータとソフトウェアを活用することが重要である。本授業では、情報処理において世界的に活用されているソフトウェアのMicrosoft Ofiiceを使った情報処理、情報伝達などについて、豊富な具体例を通して実習的に学習する。それによって情報処理の能力に向上を目指す。【看護職としての態度】	
到達目標	パソコンのソフトウェアであるOffice内の、Word,Excel,PowerPointを有効に活用できるようになることと、それによって適切な情報の処理、分析、さらにそれらを他者に伝達する能力を身に付けることを目標とする。	
関連科目	情報リテラシー	
成績評価方法・基準	課題(40%)、テスト(40%)、リアクションペーパー(20%)　合わせて100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な	この授業では、テキストを利用して、授業（60分）、自己学習（30分)を演習を通して実施します。関連する項目を事後学習（４0分）で理解を深め、課題にも取り組むことを想定している。	

学習時間の目安	
教科書・参考書	教科書：「30時間でマスター　Office2019」実教出版
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	MS-Office（MS-Word,MS-Excel,MS-PowerPoint)ウェブブラウザをインストールしたPC（Windows10対応）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	実施無し

講義科目名称： 情報リテラシー　　授業コード： 4N030

英文科目名称： Information Literacy　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西谷　　泉			

授業形態	講義と実習		担当者
授業計画	第1回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第2回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第3回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第4回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第5回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第6回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第7回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第8回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第9回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第10回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第11回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第12回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第13回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第14回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第15回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
科目の目的	高度情報化社会である現在社会において、様々な情報が溢れている。そのような情報を収集・整理・分析し、それを適切に表現・伝達する能力の重要性が増している。本授業では、受講生の主体的な取り組みを重視し、Active Learningを生かした活動を通して、そのような能力の育成を目指		

	す。合わせて、情報社会における守るべき情報倫理やルール、セキュリティなどについても学習する。これらの学習活動は、様々な課題に取り組む将来医療従事者として活動する上で、役立つものであると考える。【看護職としての態度】【国際的な視野】
到達目標	適切な情報収集と表現・伝達を通して、情報活用能力の重要性を理解する。 個別目標： 1.さまざまな情報メディアを通して情報を活用・伝達する能力を身につける。 2.マルチメディアによる情報表現・伝達の手法を理解し、基本的ルールやモラルを身に付ける。 3.情報表現における倫理やルールを理解し、情報セキュリティを実践できる。
関連科目	情報処理
成績評価方法・基準	演習課題（授業毎のプレゼンテーションと課題提出70%、リアクションペーパー30%）100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	この授業では、インターネットを使って、様々な社会的課題について情報収集し、それを整理・分析し、さらに表現・伝達する過程を演習の形で学習する。授業の学習効果を高めるためには、常々現代社会や医療分野における様々な状況や課題等について、関心をもつことが大切である。 関連する項目を1時間程度の事前学習で理解し、併せて関連サイトを自己学習することが望まれます。
教科書・参考書	テキストは使用しません。
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	MS-Office（MS-Word,MS-Excel,MS-PowerPoint)ウェブブラウザをインストールしたPC（WindowsPC、Mac等）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	プレゼンテーションを実施

講義科目名称： 大学の学び入門　　授業コード： 4N031

英文科目名称： Introduction to College Learning　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
星野 修平	星野修平		竹居田幸仁	峯村優一

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	大学の学び入門とは ・科目の目的・目標・進め方 ・高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い ・アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは	星野修平
	第2回	学ぶスキル（1） ・ノートの取る ・講義に参加する	星野修平
	第3回	学ぶスキル（2） ・本を読む ・文献を探索する ・図書館を活用する	星野修平
	第4回	学ぶスキル（3） ・オンラインコミュニケーション ・メールの活用、SNSの活用と課題 ・クラウドサービスの利用	星野修平
	第5回	学ぶスキル（4） ・大学の理念、教育の理念 ・群馬パース大学の教育の理念を聞き、大学の学びを考える 　ゲストスピーカー：栗田昌裕学長	星野修平
	第6回	学ぶスキル（5） ・保健・医療・福祉の理念 ・医療専門職を目指す入学動機を検証し、学習、生活両面の自分自身の目標を見つける 　ゲストスピーカー：國元文生群馬パース病院長	星野修平
	第7回	書くスキル（1） レポートの書き方１ ・レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは	峯村優一
	第8回	書くスキル（2） レポートの書き方２ ・論文作法	峯村優一
	第9回	書くスキル（3） レポートの書き方３ ・講義レポートの形式	峯村優一
	第10回	リサーチスキル（1） ・リサーチスキルの意味 ・インターネットの利用とデータ収集	星野修平
	第11回	リサーチスキル（2） ・データを集めて集計する ・データから基本統計量を計算する	星野修平
	第12回	生きるスキル（1） ・相手の話を聴く ・ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する	竹居田幸仁
	第13回	生きるスキル（2） ・自分の気持ちや考えを伝える ・グループワークを通し，自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする	竹居田幸仁
	第14回	生きるスキル（3） ・協力して作業する ・これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し，周囲と協力して課題を達成する	竹居田幸仁

	第15回　　生きるスキル（4） ・自身の人生とライフスタイルを考える ・他者の意見を聞き、自ら考える ゲストスピーカー：樋口建介理事長	星野修平
科目の目的	大学での学習形態や学問に対する姿勢、大人としての生活態度を認識、理解し、高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行することができるように、基本的なスキル、姿勢を学ぶ。 1.与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習のためのスキルの習得、姿勢の理解 2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活のためのスキルと姿勢の理解。 【専門性の探究】	
到達目標	1. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル、情報処理に関するスキル、ルール、マナー）を理解し、授業やレポートで実践できる。 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。（スチューデント・スキル、コミュニケーションスキル）	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	星野担当課題（50%、課題に対するフィードバックはAAにて掲示を行う） 峯村担当分課題（25%、課題はコメントと共に後日返却する） 竹居田担当意見文・感想文（25%、意見文・感想文の内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回授業の重要事項を見直しておくこと。約45分間。	
教科書・参考書	教科書：18歳からの「大学の学び」基礎講座、向後千春　著　北大路書房 参考書：講義等で随時紹介いたします。	
オフィス・アワー	星野：授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 峯村：授業の前後、昼休み、4号館8階研究室 竹居田:昼休み、研究室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academy上で配布しますので、各自プリントアウトして授業に持ってきてください。配布期間は授業の前後1週間。	
アクティブ・ラーニングの実施	・課題提出に際し、発見学習を取り入れて実施。 ・ロールプレイ、グループワークを取り入れて実施。	

講義科目名称： 解剖学Ⅰ　　授業コード： 4N032

英文科目名称： Anatomy Ⅰ　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　序論１ 解剖学とは何か　器官とその系統　上皮組織　支持組織	浅見知市郎
	第2回　序論２ 筋組織　神経組織　人体の外形と方向用語	浅見知市郎
	第3回　骨格系１ 骨格とは何か　骨の形　骨の構造　骨の発生と成長　骨の連結・関節	浅見知市郎
	第4回　骨格系２ 頭部の骨　脳頭蓋　顔面頭蓋　鼻腔・副鼻腔	浅見知市郎
	第5回　骨格系３ 脊柱　胸郭　上肢帯の骨　上腕の骨	浅見知市郎
	第6回　骨格系4 前腕の骨　手の骨　下肢帯の骨　骨盤　大腿の骨　下腿の骨　足の骨	浅見知市郎
	第7回　筋系１ 筋の構造と機能　頭頚部の筋	浅見知市郎
	第8回　筋系２ 胸腹部の筋　上肢帯の筋　上腕の筋　前腕の筋　手の筋	浅見知市郎
	第9回　筋系3 下肢帯の筋　大腿の筋　下腿の筋　足の筋	浅見知市郎
	第10回　神経系１ 神経系の構成　中枢神経系（脊髄　延髄　橋　小脳）	浅見知市郎
	第11回　神経系2 中枢神経系（中脳　間脳　大脳）	浅見知市郎
	第12回　神経系３ 脳の血管　脳室　脳脊髄膜　脳脊髄液	浅見知市郎
	第13回　神経系４ 末梢神経（脳神経）	浅見知市郎
	第14回　神経系5 末梢神経（脊髄神経）	浅見知市郎
	第15回　神経系6 自律神経（交感神経　副交感神経）伝導路（反射路　求心性伝導路　遠心性伝導路）	浅見知市郎
科目の目的	看護職としての基本知識となる運動器・神経系の肉眼解剖学的構造を習得する。【対象の理解】	
到達目標	骨格・筋・神経系の基本的な構造を説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅱ　生理学Ⅰ　生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	試験100％	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで配布する講義資料を理解しながら通読すると概ね1時間を要する。	
教科書・参考書	教科書：「入門人体解剖学」藤田恒夫（南江堂） 参考書：特に無し	
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する（asami@paz.ac.jp）。	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-b～c ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-1-D、Ⅰ～Ⅲ-3-B-a～i、Ⅰ～Ⅲ-3-C、Ⅰ～Ⅲ-4-A～C	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 臨床解剖学　　授業コード： 4N034

英文科目名称： Clinical Anatomy　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生理学Ⅰ　　授業コード： 4N035

英文科目名称： Physiology Ⅰ　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口　貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　ガイダンス　生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって　細胞・組織・器官	洞口　貴弘
	第2・3回　神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達	洞口　貴弘
	第4・5回　筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮	洞口　貴弘
	第6-8回　神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節	洞口　貴弘
	第9-12回　感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム	洞口　貴弘
	第13-15回　睡眠・記憶・情動 脳の高次機能	洞口　貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【対象の理解】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) 課題の平均点×0.2＋期末テストの点数×0.8　で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学　第8版」貴邑冨久子、根木英雄（南江堂） 参考書：「標準生理学」（医学書院）　「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社)　「トートラ人体の構造と機能」（丸善）　他	
オフィス・アワー	講義実施日の18：00～19：00	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-a～d、≪必修≫-Ⅲ-11-A-w ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-1-A、Ⅰ～Ⅲ-1-C、Ⅰ～Ⅲ-1-E、Ⅰ～Ⅲ-2-A、Ⅰ～Ⅲ-2-B-a、Ⅰ～Ⅲ-3-A、Ⅰ～Ⅲ-3-B-j、Ⅰ～Ⅲ-3-C-c～d、Ⅰ～Ⅲ-4-C-b、Ⅰ～Ⅲ-5-A、Ⅰ～Ⅲ-5-B-b～f、Ⅰ～Ⅲ-5-C-b～c、Ⅰ～Ⅲ-5-E～F	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	

講義科目名称： 生理学Ⅱ　　授業コード： 4N036

英文科目名称： Physiology II　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口　貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1・2回　内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能	洞口　貴弘
	第3-5回　循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節	洞口　貴弘
	第6・7回　呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節	洞口　貴弘
	第8・9回　尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み	洞口　貴弘
	第10・11回　消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節	洞口　貴弘
	第12・13回　血液の生理学 血液の組成とその機能	洞口　貴弘
	第14・15回　体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	洞口　貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【対象の理解】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) 課題の平均点×0.2＋期末テストの点数×0.8　で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学　第8版」貴邑冨久子、根木英雄（南江堂） 参考書：「標準生理学」（医学書院）　「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社)　「トートラ人体の構造と機能」（丸善）　他	
オフィス・アワー	講義実施日の18：00～19：00	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-a、Ⅲ-10-A-e～f、Ⅲ-10-A-h～i、Ⅲ-10-A-k～m ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-2-B-b、Ⅰ～Ⅲ-5-G-a、Ⅰ～Ⅲ-6-A、Ⅰ～Ⅲ-7-A～C、Ⅰ～Ⅲ-8-A～B、Ⅰ～Ⅲ-10-A～D、Ⅰ～Ⅲ-11-A、Ⅰ～Ⅲ-11-B-a～f、Ⅰ～Ⅲ-11-B-h～i、Ⅰ～Ⅲ-12-B-d、Ⅰ～Ⅲ-13-A～C、Ⅰ～Ⅲ-14-A～B、Ⅰ～Ⅲ-15-A～B、Ⅰ～Ⅲ-15-C-a～I ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅳ-8-C-b	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	

講義科目名称： 臨床生理学　　授業コード： 4N037

英文科目名称： Clinical Physiology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
洞口　貴弘			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生化学　　授業コード： 4N038

英文科目名称： Biochemistry　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　生化学を学ぶための基礎 生化学で基礎となる生体構成成分，単位，臨床化学への応用	木村 鮎子
	第2回　糖質 糖質の基礎（構造，異性体），糖質の分類（二糖類，多糖類，複合糖質）	木村 鮎子
	第3回　脂質 脂質の基礎，脂質の分類（単純脂質，複合脂質，誘導脂質，その他の脂質）	木村 鮎子
	第4回　タンパク質とアミノ酸 アミノ酸（構造と種類，特徴），ペプチド結合，タンパク質（分類，構造，性状）	木村 鮎子
	第5回　酵素 酵素の分類と性質，酵素反応速度論，酵素活性の調節	木村 鮎子
	第6回　核酸 核酸の基礎（構造等），核酸の種類，遺伝子	木村 鮎子
	第7回　ビタミン ビタミンの分類（脂溶性ビタミン，水溶性ビタミン），ビタミン欠乏症	木村 鮎子
	第8回　ホルモン ホルモンの分類とその機能，各種ホルモンによる生体調節，ホルモンと疾患との関係	木村 鮎子
	第9回　ミネラル ミネラルの生理的意義，多量ミネラル（Na，K，Cl等），微量ミネラル（Fe，Zn等）	木村 鮎子
	第10回　糖質代謝（1） 糖代謝の概要，糖の消化と吸収，解糖系，TCA回路	木村 鮎子
	第11回　糖質代謝（2） 糖新生，グリコーゲン合成と分解，ペントースリン酸回路，糖代謝異常と疾患	木村 鮎子
	第12回　脂質代謝 脂肪酸の生合成と酸化，ケトン体，各脂肪酸の代謝，コレステロールの合成・輸送・蓄積，代謝異常	木村 鮎子
	第13回　タンパク質の分解とアミノ酸代謝 タンパク質の分解とアミノ酸プール，アミノ酸代謝（エネルギー源，尿素生成），代謝異常	木村 鮎子
	第14回　核酸代謝 核酸の生合成と分解	木村 鮎子
	第15回　生体エネルギー、中間代謝とまとめ 高エネルギーリン酸化合物，呼吸鎖と酸化的リン酸化，3大栄養素の代謝の相互関係とまとめ	木村 鮎子
科目の目的	生体物質の構造，機能とその代謝を学び，病態に対する生化学の基礎知識を習得する.【対象の理解】	
到達目標	1.糖質とその代謝，脂質とその代謝，タンパク質とその分解，アミノ酸代謝，核酸とその代謝，生体エネルギーについて，生合成や代謝の過程が理解できること. 2.生体内でのビタミン，ホルモン，ミネラルの役割が理解できること.	
関連科目	化学,生物学,生理学,薬理学	
成績評価方法・基準	筆記試験（70%），ミニテスト（30%）により評価する.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容が理解できるよう，事前に教科書を30分程読んでおく.	
教科書・参考書	教科書：薗田 勝 編；栄養科学イラストレイテッド生化学 改定第3版（羊土社） 参考書：加藤　秀夫・中坊　幸弘；栄養科学シリーズNEXT生化学（講談社サイエンティフィク） 中元　伊知郎；自分で作る生化学ワークノート(MCメディカ出版) 宮澤　恵二；ナーシング・グラフィカ　人体の構造と機能②　臨床生化学（MCメディカ出版）	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受ける. 個別の相談は，事前連絡(ay-kimura@paz.ac.jp)によって随時対応する.	

国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-j、Ⅲ-10-A-m、Ⅲ-10-A-p ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-1-B、Ⅰ～Ⅲ-12-B-a～c.Ⅰ～Ⅲ-12-B-e、Ⅰ～Ⅲ-15-A～B
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	なし

講義科目名称： 病理学　　授業コード： 4N039

英文科目名称： General Pathology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡山 香里			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	病理学序論・組織細胞障害と修復機構1 病理学とは、変性	岡山香里
	第2回	組織細胞障害と修復機構2 アポトーシス、壊死	岡山香里
	第3回	組織細胞障害と修復機構3 再生、化生、瘢痕治癒	岡山香里
	第4回	物質代謝異常1 糖質代謝異常	岡山香里
	第5回	物質代謝異常2 脂質代謝異常	岡山香里
	第6回	物質代謝異常3 核酸代謝異常、生体内色素代謝異常、無機物代謝異常	岡山香里
	第7回	循環障害１ 循環血液量の異常	岡山香里
	第8回	循環障害2 閉塞性の循環障害	岡山香里
	第9回	循環障害3 傍側循環、全身性の循環障害	岡山香里
	第10回	炎症1 炎症とは、炎症の分類、炎症の経過	岡山香里
	第11回	炎症2 炎症の各型、自己免疫性疾患	岡山香里
	第12回	先天異常 遺伝子・染色体異常と発生発達異常	岡山香里
	第13回	腫瘍1 定義、分類、良性腫瘍と悪性腫瘍	岡山香里
	第14回	腫瘍2 腫瘍の発生、発育、分化度	岡山香里
	第15回	腫瘍3 腫瘍の発生要因、腫瘍の種類	岡山香里
科目の目的	病理学とは疾病の原因、発生メカニズムなど、疾病の本態を解明する学問である。病理学総論として代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について疾病で生じる変化、経過、疾病の予後を捉え、理解ができるようにする。【対象の理解】		
到達目標	1.疾病の原因、経過、治療法、予後を説明できる。 2.疾病の検査事項を説明できる。 3.疾病の病理所見を説明できる。		
関連科目	解剖学Ⅰ，解剖学Ⅱ		
成績評価方法・基準	定期試験100%により成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。		
教科書・参考書	教科書：講師が配布する資料（授業ごとに配布する） 参考書：なるほどなっとく！病理学　病態形成の基本的な仕組み　小林正伸著　南山堂		
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡(okayama@paz.ac.jp)によって随時対応する。		
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-p、Ⅲ-11-B-b ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-1-B-a、Ⅰ～Ⅲ-1-C ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅱ-3-A、Ⅱ-3-B-b～c、Ⅱ-3-B-e、Ⅱ-3-B-h～i		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	なし		

講義科目名称： 薬理学　　授業コード： 4N040

英文科目名称： Pharmacology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　薬理学とは 薬理学の基本知識．薬物治療に影響を与える因子．	栗田昌裕
	第2回　薬物動態 投与経路と薬の吸収．分布，代謝，排泄．	栗田昌裕
	第3回　麻酔薬と中枢興奮薬 全身麻酔薬．局所麻酔薬．中枢興奮薬．	栗田昌裕
	第4回　解熱鎮痛薬・抗炎症薬と麻薬 解熱鎮痛薬・抗炎症薬．麻薬性鎮痛薬・麻薬拮抗性鎮痛薬．	栗田昌裕
	第5回　向精神薬と抗痙攣薬 向精神薬．抗痙攣薬（抗てんかん薬）．	栗田昌裕
	筋弛緩薬と抗パーキンソン薬 筋弛緩薬の作用と応用．パーキンソン症候群の理解と抗パーキンソン薬の作用．	栗田昌裕
	第6回　自律神経薬 自律神経の基礎知識． コリン作動薬とコリン作動性効果遮断薬． アドレナリン作動薬とアドレナリン遮断薬．	栗田昌裕
	第7回　オータコイド オータコイドの種類とその作用．プロスタグランディンの臨床応用．	栗田昌裕
	第8回　強心薬 強心薬（ジギタリス）の投与法．ジギタリスの副作用とその対策．	栗田昌裕
	抗狭心症薬と抗不整脈薬 狭心症治療薬の作用と投与法．不整脈の分類と治療．抗不整脈薬の種類．	栗田昌裕
	第9回　利尿薬と降圧薬 利尿薬．利尿薬の臨床的応用．降圧薬．抗動脈硬化薬．	栗田昌裕
	第10回　消化器病薬と駆虫薬 消化性潰瘍治療薬．健胃・消化薬．消化管運動促進薬． 制吐薬．下痢と止痢薬．潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬．駆虫薬．	栗田昌裕
	第11回　呼吸器病薬 呼吸器病薬．抗結核薬．	栗田昌裕
	第12回　内分泌薬 下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン・糖尿病治療薬． 副腎皮質ホルモン・男性ホルモン・生殖系内分泌薬．	栗田昌裕
	第13回　血液病薬と抗癌薬 貧血の薬．止血薬．抗血栓療法薬． 抗癌薬の開発と化学療法．抗癌薬の副作用と組み合わせ．	栗田昌裕
	第14回　化学療法薬と免疫療法薬 化学療法薬．抗ウイルス剤．免疫について．免疫療法．	栗田昌裕
	第15回　消毒薬 滅菌・消毒法．消毒薬の濃度と殺菌速度．	栗田昌裕
科目の目的	ディプロマ・ポリシーとの関連では、「社会人としての教養と人の健康にかかわる幅広い知識に裏打ちされた、看護実践に必要な基本的知識」を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬（服薬、注射、輸液、外用など）の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。１）薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。２）薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。３）薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。４）薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。【対象の理解】	
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、看護の実践に必要とされるレベルに到達することを目標とする。	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	試験（100%）。	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の間に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておこう。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約１時間。
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野　薬理学　疾病の成り立ちと回復の促進３」（医学書院）。
オフィス・アワー	火曜日の昼休み。
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-12-A～B ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅲ-4-B、Ⅲ-4-C-b、Ⅲ-4-D-a ≪成人看護学≫-Ⅶ-16-C-b
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。
アクティブ・ラーニングの実施	施行せず。

講義科目名称： 臨床薬理学　　授業コード： 4N041

英文科目名称： Clinical Pharmacology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 栄養学(含食品学)　　授業コード： 4N042

英文科目名称： Nutrition（inc. Food Science）　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
後藤 香織			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　栄養学の目的　栄養と健康 食と私たち　食育を忘れないで 食育の必要性	後藤 香織
	第2回　人類の進化と食事 自分たちの今の状況を把握せよ	後藤 香織
	第3回　献立とはどういうもの 献立とはなにか　どうして重要なのか	後藤 香織
	第4回　主食と糖質 糖質についての詳細	後藤 香織
	第5回　タンパク質 たんぱく質についての詳細	後藤 香織
	第6回　脂質について 脂質についての詳細	後藤 香織
	第7回　ビタミンについて ビタミンの種類と詳細	後藤 香織
	第8回　ミネラルについて ミネラルについての詳細	後藤 香織
	第9回　美味しさの秘密 美味しいとはどういうこと	後藤 香織
	第10回　計算をしてみよう～エネルギー必要量の計算 自分の使ったエネルギーの計算をします	後藤 香織
	第11回　計算をしてみよう～　その２ 食べるもののエネルギーを計算します	後藤 香織
	第12回　食物繊維、サプリは必要か、色 今までの講義での補足	後藤 香織
	第13回　時間栄養学 摂取する時間で変わる代謝	後藤 香織
	第14回　スポーツ栄養学と病気と栄養 スポーツと献立　嚥下障害　病気の時はどうしたらいいのか	後藤 香織
	第15回　まとめ 1回から14回までの内容の確認と復習	後藤 香織
科目の目的	捕食という行動は全ての中心であることを深く理解し、人が食べるという行為をどれだけ重要に考えなくてはならないかを知り、人体が必要とする栄養素を学ぶ。さらに自身の摂取エネルギーと消費エネルギーから必要な栄養量、栄養素、運動、休養を求め、よりよい健康状態を保つことを身に漬ける方法を学ぶ。国の施策である「食育」が大学生には危機的な状況であることを知り改善する為に、栄養・休養・運動の三要素を含めて解説する。本学のディプロマポリシーに沿い、保健医療専門職としての栄養学の基礎的知識と、社会人としての食に関する教養を身につけ、食に関する多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解し、保健医療分野と栄養学との関係を見出し、科学的洞察による的確な判断ができ、先進・高度化する栄養分野の基本的知識と技術を提供することや、栄養補給に関わるコミュニケーション能力を身につけ、生涯にわたって栄養に関する知識を身に付けて、自身が健康に過ごすことを身に付け、それを社会に貢献させる。【対象の理解】	
到達目標	基礎医学（解剖学、生理学、生化学）に関連した栄養学の基礎を学ぶ。また日々の食品摂取の判断ができるようにする。 栄養素と消化、吸収、代謝に関わる知識の習得、一日の消費カロリーの計算、一日の摂取エネルギーの計算、運動時の代謝、和食の伝統文化、美味しく感じる為の脳科学的方法を身につけます。 ・栄養学の基礎的知識と教養を身につけている。 ・栄養に関わる多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。 ・栄養分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる。 ・栄養学分野の基本的技術を提供することができる。 ・ＮＳＴを実践するための、コミュニケーション能力を身につけている。 ・生涯にわたって栄養分野を探求し、その発展に貢献する意欲を持っている。 ・人と社会に深い関心を持って、地域の栄養保健医療に寄与できる。 ・人権を尊重し、高い倫理観を持って社会に貢献する姿勢を身につけている。	
関連科目	①解剖学Ⅰ・Ⅱ　②生化学　③生理学Ⅰ・Ⅱ　④病理学	
成績評価方法・基準	定期試験85％（定期試験を85点満点とする）　ミニテスト15％	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校の生物学および、解剖学、生理学とを見直しておく。 成分表の後半のページを読んでおく。20分予習する。
教科書・参考書	教科書：オールガイド食品成分表2023（実教出版） 参考書：新体系看護学　人体の構造と機能2　栄養生化学（メヂカルフレンド社） 看護栄養学（医歯薬出版） リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第2版 栢下淳・若林秀隆　編著　（医歯薬出版）
オフィス・アワー	授業の前後
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修問題≫-Ⅰ-2-C-b ≪人体の構造と機能≫-ⅠⅡ-12-A-ab ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅲ-9-A-abcdefg ≪成人看護学≫-Ⅲ-11-A-c
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	適宜グループディスカッションを加えます

講義科目名称： 病態栄養学　　授業コード： 4N043

英文科目名称： Clinical Nutrition　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 香織			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	臨床栄養学とは １）食生活の変遷について戦前から平成の栄養学の考え方の移り変わりについて説明する ２）栄養学の基礎の復習 ３）臨床調理の基本について簡単に紹介する	後藤 香織
	第2回	栄養の評価法 １）臨床栄養学が医学に応用され、適正な栄養管理がなされているかを判断するには栄養評価が必要である。生化学的、生理学的、人体計測などの評価法について講義する。 ２）栄養学に関する研究について	後藤 香織
	第3回	疾病と栄養（１） 肥満とやせ、摂食障害について 肥満および肥満の合併症、治療法について解説する。一方、やせをしめす症状も増えてきている。これらの摂食障害について学ぶ。	後藤 香織
	第4回	疾病と栄養（２） 糖尿病と栄養学 近年増加している糖尿病の病態とその診断、食事療法、薬物療法について講義する。	後藤 香織
	第5回	疾病と栄養（３） 糖尿病食事療法のための食品交換表の使い方 食品成分表や食育の教材も合わせて紹介する	後藤 香織
	第6回	疾病と栄養（４） 動脈硬化と高脂血症 食品中の脂質の種類とその消化、代謝過程を復習する。動脈硬化症は脳卒中、心筋梗塞などの成人病の原因因子として重要な症状である。その因子として高脂血症があり、その症状、食事療法について講義する。	後藤 香織
	第7回	疾病と栄養（５） 高血圧、循環器疾患 高血圧症は、成人病のなかで２０％を占める循環器疾患である。心疾患および高血圧症の成因、治療、病態、食事療法について講義する。	後藤 香織
	第8回	疾病と栄養（６） 骨粗しょう症、ミネラル摂取異常 老人疾患に多い大腿骨頸部骨折は、骨粗しょう症が原因となりやすく、高齢者のＱＯＬの観点からも重要な疾患である。骨粗しょう症の発症のメカニズム、食事療法、薬物療法について説明する。	後藤 香織
	第9回	疾病と栄養（７） 消化器疾患その１ 消化器では、栄養素の消化、吸収がおこなわれる重要な臓器である。この消化吸収のメカニズムを整理しなおし、消化器のそれぞれの病態と食事療法の基本を説明する。	後藤 香織
	第10回	疾病と栄養（８） 消化器疾患その２ 肝臓、胆嚢、膵臓における病態とその治療に関わる栄養法について説明する。	後藤 香織
	第11回	疾病と栄養（９） 腎疾患と電解質 腎臓は有害な代謝物を排出し、有用なものは再吸収する臓器であり、体液成分、電解質、ＰＨの調節もおこなっている。腎臓の機能と疾病との関係、食事療法について説明する。	後藤 香織
	第12回	疾病と栄養(10) がんと栄養 がんは食生活との関連があるのだろうか。発がんのメカニズムに食事はどのように関与しているのか。さらに、終末期のがん治療と栄養についても説明する。	後藤 香織

	第13回	疾病と栄養(11) 血液疾患、アレルギーと栄養 貧血は小児、成人、老人を問わず罹患率が高い疾患である。また、アレルギーは近年増加が顕著である。生活環境の変化と新しい抗原因子の増大、ストレスなどによる免疫適応機構の破綻が原因といわれる。それらの栄養学的対策について説明する。 ２）嚥下障害について	後藤 香織
	第14回	疾病と栄養(12) 小児、高齢者の栄養 成長過程にある小児に対してはその特殊性を理解した適切な栄養法が必要である。また加齢に伴い生理機能は低下し、栄養素の代謝機能も低下してくる。これらを理解することは栄養指導に必要なこととなる。 ２）栄養法の実際 経口栄養、経腸栄養、経静脈栄養法がある。最近の栄養補給方法の進歩はめざましい。これらの栄養法に最近の知見を加えて説明をする。また、検査前栄養法についても説明する。	後藤 香織
	第15回	まとめ 1回から15回までの栄養法を振り返り、注意点を確認する。	後藤 香織
科目の目的	病態栄養学は栄養学の一分野で、特に疾病と栄養の関わりについて学ぶものである。栄養学が、健康な状態での栄養学であるのに対し、病態栄養学は、各種疾患に伴う内部環境の変化、これを媒介する血液循環、肝臓や腎臓における老廃物の処理、排泄等を理解し、疾患に対してどのような栄養学的な対策が必要か、またさらに健康維持し増進させるためには、どのような栄養学的な配慮が必要であるかまでに及ぶ。栄養学が基礎医学の上に成り立っているのに対し、病態栄養学は、栄養学の臨床医学への応用であり、代表的疾患、病態を例に挙げて（糖尿病、高脂血症、肥満、循環器疾患、など）説明する。献立の立て方、調理の方法、食事指導、生活指導法についても触れる。本学のディプロマポリシーに沿って、生涯にわたって栄養に関する知識を身に付けて、自身が健康に過ごす術を身に付け、それを社会に貢献することが目的です。【対象の理解】【看護の実践】		
到達目標	基礎医学（解剖学、生理学）に基づいて栄養学の基礎を復習する。 代表的疾患、病態についての症状について理解し、それにあった栄養学的対策を習得する。 ・保健医療専門職としての病態栄養学の知識と教養を身につけている。 ・栄養学における多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。 ・栄養学分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる。 ・先進・高度化する栄養学分野の基本的技術を提供することができる。 ・ＮＳＴを実践するための能力を身につける。 ・生涯にわたって栄養学の分野を探求し、その発展に貢献する意欲を持てる。 ・人と社会に深い関心を持って、地域の栄養推進に寄与できる。 ・人権を尊重し、高い倫理観を持って社会に貢献する姿勢を身につける。		
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、栄養学、公衆衛生学		
成績評価方法・基準	定期試験100％		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	基本的な栄養学、生理学、解剖学を見直すことが予習になる。 ぜひとも授業前日には30分程度でよいので見直してほしい。		
教科書・参考書	教科書　糖尿病食事療法のための食品交換表 日本糖尿病学会 参考書 スタンダード栄養・食物シリーズ　「臨床栄養学各論」（東京化学同人）		
オフィス・アワー	授業後　授業前に質問してください		
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-2-A-a、Ⅲ-10-A-j、Ⅲ-11-B-a ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-11-B-g、Ⅰ～Ⅲ-12-A ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅰ-2-A-b、Ⅲ-4-C-f、Ⅳ-8-B、Ⅳ-8-C-a ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅲ-8-B-c ≪成人看護学≫-Ⅶ-12-C-i～j		
履修条件・履修上の注意	特になし。		
アクティブ・ラーニングの実施	栄養学的手法を展開する模擬プレゼンを数回実施します		

講義科目名称： 臨床病態学Ⅰ　　授業コード： 4N044

英文科目名称： Clinical Pathophysilogy Ⅰ　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義または演習　テキストは、スライド供覧を併用する。	担当者
授業計画	第1回　呼吸器疾患１ 肺の解剖学　呼吸機能検査　呼吸器疾患の病態生理　上気道の疾患：風邪症候群　インフルエンザ	田村遵一
	第2回　呼吸器疾患２ 下気道の疾患　市中肺炎　医療施設感染肺炎　誤嚥性肺炎　慢性呼吸不全　間質性肺炎　肺がん	田村遵一
	第3回　循環器疾患１ 心臓の解剖学　心不全　虚血性心疾患	田村遵一
	第4回　循環器疾患２ 心電図　不整脈　心房細動　致死性不整脈　　大動脈解離　肺塞栓	田村遵一
	第5回　消化器疾患１ 消化器の解剖学　食道の疾患　胃・十二指腸の疾患　小腸・大腸の疾患	田村遵一
	第6回　消化器疾患２ 肝臓の疾患　膵臓の疾患	田村遵一
	第7回　神経疾患１ 意識障害の分類　頭蓋内圧亢進　脳血管障害　髄膜炎	田村遵一
	第８回　神経疾患2 パーキンソン病　パーキンソン症候群　認知症　介護度　頭痛	田村遵一
	第９回　内分泌疾患 内分泌臓器とは　下垂体ホルモンと異常　甲状腺ホルモンと異常　副腎ホルモンと異常	田村遵一
	第10回　糖尿病・代謝疾患 １型糖尿病　２型糖尿病　糖尿病による合併症　糖尿病治療と指導、高脂血症、痛風	田村遵一
	第11回　血液疾患１ 血球の種類と働き　　血液凝固作用　血液疾患；貧血の鑑別	田村遵一
	第12回　血液疾患２　血液型　輸血 造血器腫瘍：白血病／悪性リンパ腫　　血液型と輸血	田村遵一
	第13回　腎疾患 糸球体腎炎　ネフローゼ症候群	田村遵一
	第14回　免疫疾患 自己免疫疾患、HIV感染症	田村遵一
	第15回　遺伝疾患 鎌状赤血球症、慢性骨髄性白血病	た1
科目の目的	成人の罹患する（罹る：かかる）代表的な疾患（疾病、病気）について、その自覚症状、身体所見、臨床検査所見、診断、病態、成因、治療方法などの概要を学び、すでに履修した関連科目（後記）の知識をもとに、疾患、病気に関わる臨床的基礎を修得する。【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	消化器疾患（消化管：食道・胃・小腸・大腸、肝臓、胆のう、膵臓）、呼吸器疾患（肺炎、気管支喘息、気胸、肺気腫、肺がん）、循環器疾患（心臓・大血管・末梢動脈・静脈疾患）、血液・造血器疾患（貧血、白血病）　などの概要について理解し、説明が出来る（患者さん、患者家族への説明を想定している）。	
関連科目	履修習得した関連科目、基礎科目、専門科目、看護学専門科目。　生化学　薬理学　解剖学I II　生理学I II　病理学	
成績評価方法・基準	筆記試験　80%　出席状況と中間レポート等を20%として総合的に評価	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義時間の1/3の時間	
教科書・参考書	教科書：使用しない 系統看護学講座　成人看護学２（呼吸器）　３（循環器）　４（血液・造血器）　５（消化器）を適宜参考とする。 参考書１．はじめの一歩の　病態・疾患学　編/林　洋　羊土社 2018年：基本的な事項を学ぶのに良い　安価2700円 ２．看護のための　臨床病態学　改訂4版　編集 浅野嘉延、吉山直樹　南山堂2020年：一冊で網羅されている”ナースの視点”の記述が良い　8800円	

オフィス・アワー	講義前後、講義日の昼休み。
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-11-B-b、Ⅲ-11-B-f ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅳ-5-A、Ⅳ-7-A～E、Ⅳ-9-A ≪成人看護学≫-Ⅶ-10-A～D、Ⅶ-12-A～D、Ⅶ-13-A～D、Ⅶ-16-A-c、Ⅶ-16-B-c、Ⅶ-16-C-c、Ⅶ-16-D-c ≪老年看護学≫-Ⅱ-7-A-b、Ⅱ-7-B-b、Ⅱ-7-C-b、Ⅱ-7-D-b
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	特になし

講義科目名称： 臨床病態学Ⅱ　　授業コード： 4N045

英文科目名称： Clinical Pathophysilogy II　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　呼吸器疾患（応用編） 呼吸機能検査、血液ガス分析、画像診断	田村遵一
	第2回　呼吸器疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習	田村遵一
	第3回　循環器疾患（応用編） 心電図、不整脈、心エコー	田村遵一
	第4回　循環器疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習	田村遵一
	第5回　消化器疾患（応用編） 胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査、超音波検査、CT画像	田村遵一
	第6回　消化器疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習	田村遵一
	第7回　神経疾患（応用編） CT画像、MRI,脳細胞病理所見	田村遵一
	第8回　神経疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習	田村遵一
	第9回　内分泌・代謝疾患（応用編） 内分泌のネットワーク、ホルモンの変動	田村遵一
	第10回　内分泌・代謝疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習	田村遵一
	第11回　血液疾患（応用編） 血液像、染色体分析、遺伝子解析、凝固検査	田村遵一
	第12回　血液疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習	田村遵一
	第13回　免疫疾患・遺伝疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習	田村遵一
	第14回　臨床病態学総まとめ１ 看護師国家試験（特に複合問題）の演習 細菌感染：菌血症/敗血症　尿路感染	田村遵一
	第15回　臨床病態学総まとめ２ 小論文作成	田村遵一
科目の目的	主に臨床病態学Ｉで取り上げて解説した疾患について、その検査法や治療法などさらに進んだ内容を概説し、看護師国家試験等の関連問題を演習として解答、知識の定着とさらなる学習意欲の涵養をはかる。【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	内分泌代謝疾患（糖尿病、甲状腺疾患：バセドウ病、クッシング病、副腎疾患）、脳神経疾患（脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、神経変性疾患）、腎泌尿器疾患（腎不全、尿路感染症、膀胱炎、急性腎炎、慢性腎炎、腎細胞がん、膀胱癌）、アレルギー・膠原病：自己免疫疾患、感染性疾患、アナフィラキシーショック、薬剤性肝障害、関節リウマチ、SLE、不明熱、結核、コレラ、マラリア、運動器疾患、皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、女性生殖器疾患、婦人科の炎症性疾患、性感染症（STI）の概要について理解し、説明が出来る（患者さん、患者家族への説明を想定している）。	
関連科目	すでに履修習得した、基礎科目、専門科目、看護学専門科目。　生化学　薬理学　解剖学I II　生理学I II　病理学	
成績評価方法・基準	筆記試験　80%　出席状況や中間レポートを20%として総合的に評価する。 到達度は試験により判定する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習として30分、さらに30分の復習が望ましい。	
教科書・参考書	教科書：使用しない 系統看護学講座　成人看護学６（内分泌代謝）　７（脳神経疾患）　８（腎泌尿器）　９（女性生殖器）　１０（運動器）　１１（アレルギー・膠原病・感染症）　１２（皮膚疾患）　１３（眼疾患）　１４（耳鼻咽喉疾患）　医学書院　を適宜参考にします。 参考書１．はじめの一歩の　病態・疾患学　編/林　洋　羊土社 2018年：基本的な事項を学ぶのに良い　安価2700円 ２．看護のための　臨床病態学　改訂4版　編集 浅野嘉延、吉山直樹　南山堂2020年：一冊で網羅されている”ナースの視点”の記述が良い　8800円	
オフィス・アワー	講義前後、講義日の昼休み。	

国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-11-B-b、Ⅲ-11-B-f ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅳ-6-A～D、Ⅳ-12-A～C、Ⅳ-13-A、Ⅳ-14-A ≪成人看護学≫-Ⅶ-11-A～D、Ⅶ-16-A-a、Ⅶ-16-B-a～b、Ⅶ-17-A～D、Ⅶ-18-A～D、Ⅶ-19-A～D ≪老年看護学≫-Ⅱ-7-A-c～e、Ⅱ-7-B-c～e、Ⅱ-7-C-c～e、Ⅱ-7-D-c～e 【助産師】 ≪基礎助産学Ⅰ≫-Ⅲ-8-A-a～e、Ⅲ-8-B-a～e、Ⅲ-8-C-a～e、Ⅲ-8-D-a～e、Ⅲ-9-A-a～j、Ⅲ-9-B-a～j、Ⅲ-9-C-a～j、Ⅲ-9-D-a～j
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	特になし

講義科目名称： 臨床病態学Ⅲ　　授業コード： 4N046

英文科目名称： Clinical Pathophysilogy III　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　腎／尿路／体液系１ 腎臓の解剖と機能　前立腺の解剖　膀胱の解剖と機能	田村遵一
	第2回　腎／尿路／体液系２ 腎／尿路系の疾患	田村遵一
	第3回　老年医学 老年医学とは　　老年期に多い疾患とその対応	田村遵一
	第4回　運動器 筋肉の種類と機能　関節可動域　　骨折：脊椎圧迫骨折　大腿骨頸部骨折　前腕骨折　上腕骨折	田村遵一
	第5回　リウマチ・膠原病 膠原病とは　　関節リウマチ　SLE　皮膚筋炎　強皮症　成人スティル病　混合結合組織病	田村遵一
	第6回　アレルギー アレルギーの分類　　アナフィラキシーとその対応　アトピーセー皮膚炎	田村遵一
	第7回　耳鼻咽喉科関連 耳の構造と機能　耳の疾患　鼻の疾患　咽頭と喉頭　頚部疾患	田村遵一
	第8回　皮膚科領域 蕁麻疹　接触性皮膚炎　　真菌症（水虫）　帯状疱疹　溶連菌性皮膚炎（飛び火） 丹毒／蜂窩織炎 円形脱毛症	田村遵一
	第9回　眼科関連 眼の解剖学　眼球運動　近視　老眼　白内障　緑内障　糖尿病性網膜症	田村遵一
	第10回　産婦人科関連１ 月経前症候群（PMS）　不正出血　子宮内膜症　　性行為感染症（STD）　　骨盤内感染症（PID）	田村遵一
	第11回　産婦人科関連２ 子宮筋腫　卵巣嚢腫　　子宮がん　卵巣癌	田村遵一
	第12回　感染症１ ウイルス感染：EB,　尿路感染ウイルス　インフルエンザ　新型コロナウイルス	田村遵一
	第13回　感染症２ 細菌感染：菌血症/敗血症、真菌、寄生虫感染症	田村遵一
	第14回　総合演習 看護師国家試験等の関連問題について演習として解答、内容を検討する。 　看護師国家試験等の医療系専門職の国家試験に演習として取り組むことにより、将来期待される知識レベルを実感し、次の学習に備える心構えを形成する。	田村遵一
	第15回　臨床病態学Ⅲのまとめ：小論文作成 臨床病態学Ⅲで学んだ内容について課題を提示する。時間内に自分の学んだ知識をもとに考えをまとめる。	田村遵一
科目の目的	成人の罹患する代表的な疾患について、自覚症状、身体所見、臨床検査所見、診断、病態、成因、治療方法などの概要を学び、すでに履修した関連科目（後記）の知識をもとに、疾患、病気に関わる臨床的基礎を修得する。【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	、腎泌尿器疾患（腎不全、尿路感染症、膀胱炎、急性腎炎、慢性腎炎、腎細胞がん、膀胱癌）、アレルギー・膠原病：自己免疫疾患、感染性疾患、アナフィラキシーショック、薬剤性肝障害、関節リウマチ、SLE、不明熱、結核、コレラ、マラリア、運動器疾患、皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、女性生殖器疾患、婦人科の炎症性疾患、性感染症（STI）の概要について理解し、説明が出来る（患者さん、患者家族への説明を想定している）。	
関連科目	すでに履修習得した、基礎科目、専門科目、看護学専門科目。　生化学　薬理学　解剖学I II　生理学I II　病理学	
成績評価方法・基準	筆記試験　80%　、出席状況や中間レポートの評価を２０％として総合的に評価する。 到達度は試験により判定する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習として30分、さらに30分の復習が望ましい。	

教科書・参考書	教科書：使用しない 系統看護学講座　成人看護学６（内分泌代謝）　７（脳神経疾患）　８（腎泌尿器）　９（女性生殖器）　１０（運動器）　１１（アレルギー・膠原病・感染症）　１２（皮膚疾患）　１３（眼疾患）　１４（耳鼻咽喉疾患）　医学書院　を適宜参考にします。 参考書１．はじめの一歩の　病態・疾患学　編/林　洋　羊土社 2018年：基本的な事項を学ぶのに良い　安価2700円 　２．看護のための　臨床病態学　改訂4版　編集 浅野嘉延、吉山直樹　南山堂2020年：一冊で網羅されている ”ナースの視点”の記述が良い　8800円
オフィス・アワー	講義前後、講義日の昼休み。
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-11-B-b、Ⅲ-11-B-f ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅳ-8-A、Ⅳ-11-A～B、Ⅳ-15-A、Ⅳ-16-A、Ⅵ-16-D-b ≪成人看護学≫-Ⅶ-14-A～D、Ⅶ-15-A～D、Ⅶ-16-A-b、Ⅶ-16-A-d、Ⅶ-16-C-a、Ⅶ-16-D-a～b、Ⅶ-20-A～D、Ⅶ-21-A～D ≪老年看護学≫-Ⅱ-7-A-g、Ⅱ-7-B-g、Ⅱ-7-C-g、Ⅱ-7-D-g
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	特になし

講義科目名称： 臨床病態学Ⅳ　　授業コード： 4N047

英文科目名称： Clinical Pathophysilogy Ⅳ　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
秋元かつみ	秋元かつみ		矢﨑聡	根岸広明
	横田佳昌			

授業形態	講義（15コマ）		担当者
授業計画	第1回	性と生殖器の構造・機能・発生、生殖周期とホルモン ・女性生殖器、男性生殖器、 ・生殖器の発生と異常、生殖器系の異常(遺伝子・精子・卵子)女性生殖器の機能 ・月経周期、調節機序、卵巣・子宮内膜の周期的変化 ・生殖周期に関わるホルモン 受胎のメカニズム 人の発生と遺伝的要因、性周期とホルモン	根岸
	第2回	女性のライフサイクル各期の疾患、生殖器の感染症 ・思春期の疾患(月経異常 性器奇形 子宮頸がんの予防等) ・成熟期疾患(子宮内膜症 生殖器の疾患 感染症等) ・更年期疾患(月経異常 更年期障害 更年期うつ病等) ・老年期疾患(萎縮性膀胱 排尿障害 骨盤臓器脱等)	根岸
	第3回	生殖補助医療、出生前診断 ・不妊治療の実際 ・出生前診断	横田
	第4回	妊娠期の健康問題（１） ・ハイリスク妊娠 ・妊娠期の感染症 ・妊娠持続期間の異常（流産、早産） ・異所性妊娠 など	矢﨑
	第5回	妊娠期の健康問題（２） ・妊娠疾患（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、血液型不適合妊娠）など ・多胎妊娠	矢﨑
	第6回	分娩期の健康問題、異常分娩 ・分娩の生理と経過 ・産道の異常 ・娩出力の異常（微弱陣痛、過強陣痛） ・胎児の異常による分娩障害（胎位の異常、回旋の異常） ・胎児の付属物の異常（前置胎盤、常位胎盤早期剥離） ・胎児機能不全 ・分娩時の損傷（頸管裂傷、会陰裂傷） ・分娩時異常出血（弛緩出血、参加ショック、DIC） ・産科処置と産科手術（帝王切開術、吸引・鉗子分娩、無痛分娩）	矢﨑
	第7回	新生児期の健康問題 ・新生児仮死 ・分娩外傷 ・高ビリルビン血症 ・新生児・乳児・ビタミンK欠乏性出血症	矢﨑
	第8回	小児科学概論・診断と治療と課題の概要、新生児特有の生理から学童期までの解剖生理学的変化の概要	秋元
	第9回	新生児・低出生体重児に起る疾患について ・先天異常・先天代謝異常、染色体異常、新生児タンデンマススクーリニング	秋元
	第10回	小児神経・筋・骨疾患概要（二分脊椎、水頭症など）小児特有な呼吸器疾患	秋元
	第11回	小児感染症（細菌・ウイルス感染症）	秋元
	第12回	消化器疾患（主に先天性の奇形：鎖肛・幽門狭窄症・ヒルシュスプリング病）	秋元
	第13回	循環器疾患（先天性心疾患、心筋疾患、不整脈など）	秋元
	第14回	血液・腫瘍性疾患（白血病、突発性血小板減少紫斑病、神経芽腫など）	秋元
	第15回	重症心身障害児（脳性麻痺の合併症、代表的な疾患）	秋元
科目の目的	生殖周期とホルモン、女性のライフサイクル各期の疾患、生殖器の感染症、生殖補助医療の実際、出生前診断について学び、性と生殖及びウイメンズヘルスに関する基礎を理解する。 妊娠・分娩期、早期新生児期における健康問題の特徴について学び、産科医療の臨床的基礎を理解		

	する。 新生児の外部環境適応からその後の発達における生理学的変化及び代表的な小児期特有の疾患について、身体所見、臨床検査、病態、診断、治療方法などの概要を学び、小児医療の臨床的基礎を理解する。【対象の理解】【看護の実践】
到達目標	1.生殖周期とホルモン、女性のライフサイクル各期の疾患、生殖器の感染症について理解できる。 2.妊娠期の健康問題の特徴とその治療法、分娩の生理と生殖補助医療の実際、出生前診断について理解できる。 3.経過、異常分娩、新生児の健康問題の特徴を理解できる。 4.現代における小児科学の在り方と課題について概要を説明できる 5.新生児から学童期までの解剖生理学的特徴の概要を説明できる。 6.小児期特有の代表的疾患の病体生理・症状から臨床検査・診断までの経緯及び治療方法を理解できる。 7.重症心身障害児の特性と代表的な疾患について説明できる。
関連科目	専門基礎科目群：解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生化学、薬理学、病理学、免疫・感染症学 専門科目群：母性看護学総論、母性看護学方法論、小児看護学総論、小児看護学方法論
成績評価方法・基準	定期試験（100%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前日までに資料と教科書に目を通し、疑問点を整理して授業に臨むこと。1コマ1時間の準備時間で要点をつかむ訓練をする。
教科書・参考書	【教科書】 秋元担当回：系統看護学講座　小児臨床看護各論　小児看護学②　第14版　医学書院 根岸担当回：系統看護学講座　母性看護学概論　母性看護学①　医学書院 横田・矢﨑担当回：系統看護学講座　母性看護学各論　母性看護学②　医学書院 【参考書】 病気が見えるvol.15小児科　メディックメディア　2022/10/4発行 看護のための臨床病態学　改訂４版　浅野嘉延、吉山直樹 看護のための臨床病態学　改訂４版　浅野嘉延、吉山直樹
オフィス・アワー	授業開始前10分と終了後の10分を講義室で待機
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-o、Ⅲ-11-B-e ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-16-A-a～f、Ⅰ～Ⅲ-17-A ≪小児看護学≫-Ⅰ-3-F-a、Ⅱ-5-A-e～f、Ⅳ-7-A～C、Ⅳ-7-D-a ≪母性看護学≫-Ⅱ-3-B-a～c、Ⅱ-3-C、Ⅲ-4-A、Ⅲ-4-D、Ⅲ-5-A、Ⅲ-6-A、Ⅲ-6-D、Ⅲ-7-A、Ⅲ-7-D 【助産師】 ≪基礎助産学Ⅰ≫-Ⅱ-4-A～C、Ⅱ-5-A～B、Ⅲ-10-A～B、Ⅲ-11-B ≪基礎助産学Ⅱ≫-Ⅰ-3-B、Ⅰ-4-A～B
履修条件・履修上の注意	Active academyに授業前に授業の資料を配布（講義前数日から1週間ほど）各自で印刷もしくはPDFで持参のこと。
アクティブ・ラーニングの実施	実施予定なし（ただし時間の余裕がある場合は症例について討議する時間を設ける）

講義科目名称： 免疫・感染症学　　授業コード： 4N048

英文科目名称： Immunology and Infectious Diseases　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 克典			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　免疫学総論 免疫の概念、自己と非自己を認識するしくみ	高橋 克典
	第2回　生体防御システム概論Ⅰ～自然免疫と獲得免疫～ 自然免疫と獲得免疫の違いおよびそのメカニズム	高橋 克典
	第3回　生体防御システム概論II～細胞性免疫と液性免疫～ 免疫細胞による細胞性免疫と液性免疫による生体防御機構の特徴や違い	高橋 克典
	第4回　感染症学総論～感染経路と感染対策～ 感染症の定義、感染経路、院内感染対策法	高橋 克典
	第5回　細菌感染症概論 細菌の分類や特徴、抗菌薬の種類、薬剤耐性メカニズム	高橋 克典
	第6回　細菌感染症各論Ⅰ 食中毒の原因菌	高橋 克典
	第7回　細菌感染症各論Ⅱ 院内感染および性感染の原因菌	高橋 克典
	第8回　細菌感染症各論Ⅲ リケッチア・クラミジア・抗酸菌感染症	高橋 克典
	第9回　真菌・寄生虫感染症 カンジダ症・マラリア・赤痢アメーバー	高橋 克典
	第10回　ウイルス感染症概論 ウイルスの分類や特徴、抗ウイルス薬、風邪症候群	高橋 克典
	第11回　ウイルス感染症各論 食中毒の原因菌、肝炎ウイルス、ウイルス性出血熱、ＨＩＶ	高橋 克典
	第12回　免疫異常Ⅰ 免疫不全症の分類と特徴、	高橋 克典
	第13回　免疫異常Ⅱ アレルギーの分類・特徴と発生メカニズム	高橋 克典
	第14回　免疫異常III 免疫寛容と自己免疫疾患	高橋 克典
	第15回　輸血と免疫 血液型と不適合輸血、輸血検査、輸血感染	高橋 克典
科目の目的	生体防御機構を中心とした免疫システムの基礎知識を習得し、免疫異常症の理解を深める。細菌・ウイルスを中心とした病原体による感染症の種類、感染経路、感染予防法など臨床現場で必要となる感染知識を身に付ける。【対象の理解】	
到達目標	１．細胞性免疫と液性免疫を説明できる。２．自己免疫疾患と自己抗体の関係を説明できる。３．アレルギーの種類と特徴を説明できる。４．感染症の特徴と感染対策法を説明できる。５．主な細菌感染症について説明できる。６．主なウイルス感染症について説明できる。７．輸血のリスクについて説明できる。	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習を行い、各自知識整理を行うこと。準備学習に必要な学習時間の目安は概ね1時間程度。	
教科書・参考書	教科書：「病気がみえる⑥　免疫・膠原病・感染症」（メディックメディア） 参考書：「わかる 身につく　病原体・感染・免疫」（南山堂）	
オフィス・アワー	講義終了後（10時30分～12時10分）教室もしくは研究室にて質問を受け付ける。 e-mail（k-takahashi@paz.ac.jp）でも随時質問を受け付ける。	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-g、Ⅲ-11-B-c ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-9-A-c、Ⅰ～Ⅲ-9-B ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅰ-2-B-b、Ⅱ-3-B-d、Ⅱ-3-C、Ⅲ-4-C-d、Ⅲ-4-D-c、Ⅳ-10-A ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅲ-7-A-c～d、Ⅲ-7-B-a～c、Ⅲ-7-B-e～f ≪成人看護学≫-Ⅶ-16-C-d、Ⅶ-16-D-d	
履修条件・履修上の注意	特になし	

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 臨床検査学　　授業コード： 4N049

英文科目名称： Clinical Laboratory Medicine　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
三浦 佑介	古田島 伸雄		藤本 友香	

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	臨床検査とその役割、臨床検査の流れと看護師の役割（1） 診断及び治療における臨床検査の重要性を述べる。臨床検査がどのようにして行われるか、医療チームの役割や看護師の役割について解説する。	三浦 佑介
	第2回	臨床検査の流れと看護師の役割（2） 臨床検査がどのようにして行われるか、医療チームの役割や看護師の役割について解説する。	三浦 佑介
	第3回	一般検査 尿検査、便検査、体液貯留液（胸水、腹水など）検査、脳脊髄液検査、関節液検査について解説する。	三浦 佑介
	第4回	血液検査（1） 血沈（赤沈）、血球算定、血液像について解説する。	三浦 佑介
	第5回	血液検査（2） 出血・凝固検査、溶血性貧血の検査、骨髄穿刺検査について解説する。	三浦 佑介
	第6回	化学検査（1） 血清タンパク、酵素、糖代謝検査、脂質代謝検査について解説する。	古田島 伸雄
	第7回	化学検査（2） 窒素化合物検査、腎機能検査、電解質の検査、血液ガス分析について解説する。	古田島 伸雄
	第8回	内分泌学的検査 下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン、副腎ホルモンの等の検査について解説する。	古田島 伸雄
	第9回	病理学的検査 細胞診、病理組織検査について解説する。	三浦 佑介
	第10回	免疫血清検査（1） 炎症マーカー、液性免疫、細胞性免疫およびアレルギーの検査について解説する。	藤本 友香
	第11回	免疫血清検査（2） 免疫グロブリン検査、腫瘍マーカー検査、輸血に関する検査について解説する。	藤本 友香
	第12回	微生物検査・寄生虫検査 主な微生物および寄生虫の特徴と病気との関連について解説する。	藤本 友香
	第13回	生体検査（1） 心電図検査について解説する。	三浦 佑介
	第14回	生体検査（2） 呼吸機能検査、神経機能検査、脳波検査について解説する。	三浦 佑介
	第15回	生体検査（3） 画像検査、内視鏡検査について解説する。	三浦 佑介
科目の目的	病気の正確な診断や治療方針の決定には、臨床検査は欠かせないものとなっている。本科目を学ぶことで、看護師として必要な臨床検査の基礎知識を学び、科学的根拠に基づいた看護ができることを目指す。【対象の理解】、【看護の実践】		
到達目標	1）国家試験の出題基準を参考に、各種疾病の診断・治療を行うための臨床検査の概略を把握する。 2）各種検査の基準値、臨床的意義を理解する。 3）看護ケアの実践に役立てることができる。		
関連科目	解剖学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱを含む各臨床科目		
成績評価方法・基準	定期試験（100%）により成績を評価する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておくこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。		
教科書・参考書	教科書：「系統看護学講座　別巻　臨床検査」奈良信雄編　医学書院 参考書１：「看護のための臨床検査」浅野嘉延著　南山堂 参考書２：「臨床検査法提要　改訂第33版」金井正光監修　奥村伸生、他編　金原出版		
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別相談は事前の連絡によって随時対応する。 三浦（miura@paz.ac.jp） 古田島（kotajima@paz.ac.jp） 藤本（fujimoto@paz.ac.jp）		

国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-11-C ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅲ-4-A-b～d ≪成人看護学≫-Ⅶ-10-B-a～b、Ⅶ-10-B-g、Ⅶ-11-B-a～b、Ⅶ-14-B-a、Ⅶ-15-B-a、Ⅶ-17-B-a、Ⅶ-20-B-a
履修条件・履修上の注意	Active Academy Advanceにより資料を事前配付する。配付期間は前回授業翌日から一週間とし、PCにダウンロードして授業に持参すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 発達心理学　　授業コード： 4N050

英文科目名称： Developmental Psychology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
竹居田 幸仁			

授業形態	講義を中心とし，随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	発達心理学とは 発達心理学とは，年齢によって人の一生を大まかに分け，それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当ててこれらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の一分野である。本講義では，発達心理学の歴史と概念や，次回以降の講義で中心的に扱うエリクソンの発達段階と発達課題について学ぶ。 key words：発達心理学，エリクソン，ライフサイクル，発達段階，発達課題	竹居田 幸仁
	第2回	乳児期の発達と危機管理 本講義では，人生の始まりの時期である乳児期に見られる対人面と情動面での個人差と，それがどうして生じるかについて学ぶ。 key words：気質，養子研究法，双生児研究法，愛着理論，「基本的信頼感の獲得」対「基本的不信」	竹居田 幸仁
	第3回	幼児初期の発達と危機管理 1歳半から3歳半～4歳までの時期を幼児初期という。本講義では，幼児初期の身体的・認知的発達と自我の発達について学ぶ。 key words：始歩，始語，前操作期，分離-個体化の過程，「自立性・自律性」対「恥・疑惑」	竹居田 幸仁
	第4回	幼児期の発達と危機管理 幼児期とは，いわゆる就学前期をさす。本講義では，この時期の子どもの認知面の発達の特徴について学ぶ。 key word：模倣，自己中心性，アニミズム，「主導性・積極性」対「恥・疑惑」	竹居田 幸仁
	第5回	学童期の発達と危機管理 小学校入学後から第二次性徴が見られる思春期までの間を児童期，もしくは学童期とよぶが，ここでは便宜上小学生の時期を学童期とよぶ。学童期の心理的な発達については，乳幼児期や青年期ほど関心を持たれることはなく，心理学において研究されなかった時期も長かった。本講義では児童期の思考や認知発達の特徴について学び，理解を深める. key words：潜伏期，具体的操作期，「勤勉性」対「劣等感」	竹居田 幸仁
	第6回	思春期の発達と危機管理 思春期について，前思春期として小学校高学年から含める場合もあるが，本講義では中学生の年齢を示すこととし，思春期の認知的発達や対人関係について学び，理解を深める。 key words：仮説演繹的思考，形式的操作期，第二の個体化の時期，チャム	竹居田 幸仁
	第7回	青年期の発達と危機管理 ニューマンらは，青年期（高校生）における心理社会的危機を「集団同一性」対「疎外」であると提唱した。つまり，エリクソンが青年期の発達課題とした自我同一性の確立を達成する前提として，青年期（高校生）においては集団同一性を発見させることが重要であるとしている。本講義では，青年期（高校生）の身体的・心理的特性について学び，理解を深める。 key words：演繹的思考，性的同一化，「集団同一性」対「疎外」	竹居田 幸仁
	第8回	青年後期の発達と危機管理 青年後期とは，社会で自立するための専門教育を受け，その成果を活かして就職・結婚するに至るまでの，心理社会的な自立に向けての仕上げを試みる時期である。本講義では，青年後期の発達課題とこころの危機について学び，理解を深める。 key words：「アイデンティティの確立」対「役割の拡散」，「自分探し」と「見習い」の時期，モラトリアム	竹居田 幸仁
	第9回	青年後期に特異なこころの病理 青年後期に好発するこころの病理像には，アイデンティティの混乱が潜伏している。換言すれば，大人としてのアイデンティティが獲得されると，こころの病理は結果的に軽快する。本講義では青年後期に特異なこころの病理を3つ取り上げ，それぞれの特徴と対応について理解する。 key words：不安症／不安症候群，摂食障害，スチューデントアパシー	竹居田 幸仁

	第10回	神経発達症／神経発達障害（１） 平成19年に全国で特別支援教育が開始され，ここ数年で発達障害に対する理解が急速に広まりつつある。本講義では3つの代表的な発達障害の中からAD/HD・SLDの2つと，発達障害とは区別される知的能力障害（知的発達症／知的発達障害）の特徴と支援について学び，理解を深める。 key words：発達障害，AD/HD，SLD，知的能力障害（知的発達症／知的発達障害），特別支援教育	竹居田 幸仁
	第11回	神経発達症／神経発達障害（２） 前回に続き，発達障害について学習する。本講義では3つの代表的な発達障害の最後の1つである自閉スペクトラム症の歴史と特徴について学び，太田ステージ理論に基づく支援について理解を深める。 key words：自閉スペクトラム症，太田ステージ理論，特別支援教育	竹居田 幸仁
	第12回	若い大人の発達課題と危機管理 若いおとなというのは，いささか耳慣れないことばであるが，具体的には学業や職業訓練を終えた22～3歳から30歳代のはじめくらいまでと考えられ，エリクソンはこの時期を成人初期とよんだ。本講義では成人初期の発達課題や性差における社会的役割について学び，理解を深める。 key words：「親密性」対「孤立」，共依存	竹居田 幸仁
	第13回	壮年期の発達課題と危機管理 壮年期とは，概ね40歳代後半から50歳代を指す。壮年期は身体面・心理面の衰えが意識され始める時期である。その一方で人生経験の蓄積によって培われた判断力や理解力，社会的能力は高まり，それを発揮する機会も多くなる。本講義ではこの時期の心理的変化の特徴，家族との関わり，仕事との関わりの変化について学び，理解を深める。 key words：「生殖性」対「停滞」，更年期	竹居田 幸仁
	第14回	高齢期の発達課題と危機管理 高齢者は，これまでに取り組んできた人生の主要な課題に関して，結果を評価することができる地点にいる。本講義では，人生の最終段階である老年期の特徴や発達課題について学び，理解を深める。 key words：「統合」対「絶望」，死の受容，ライフレビュー	竹居田 幸仁
	第15回	生命の循環 これまでの講義を振り返るとともに，人間の発達を個人中心に考えるのではなく，子どもと父母，父母と祖父母，子どもと祖父母のそれぞれが相互に影響を与え合って，世代同士がつながり合いながら個人としても成長していくプロセスである「生命の循環（ライフサイクル）」について学び，理解を深める。 key words：生命の循環（ライフサイクル），ペアレンティング，世代間連鎖	竹居田 幸仁

科目の目的	年齢によって人の一生を大まかに分け，それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当ててこれらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野を発達心理学とよぶ。本講義では人間の成長発達を理解する基礎として，各発達段階における知的，心理的，社会的発達，人格の発達を理解することを目的とする。 ディプロマポリシー：【知識・理解】
到達目標	１．エリクソンが区分した8つの発達段階の特徴と，それぞれの段階における発達課題を理解し，看護に活用することができる。 ２．各発達段階の知覚，感情と情動の発達，認知の発達，パーソナリティと自我形成，行動の発達的変化について理解し，説明することができる。 ３．発達障害に対する知識と支援方法について習得し，発達障害（傾向）を持つ患者への看護に活用することができる。
関連科目	【教養・共通基盤科目群】心理学，教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，社会学，生活文化と医療，大学の学び入門，大学の学び－専門への誘い－，多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ，臨床心理学，公衆衛生学，保健統計，カウンセリング 【専門科目群】全科目
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・50%）に，毎回の受講後に作成する小レポートの評価（50%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について，１時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は，概ね講義の１週間前までにActive Academyにて配布するので，各自ダウンロードしておくこと。
教科書・参考書	【教科書】 岡堂哲雄編（2003）「ナースのための心理学３　パーソナリティ発達論」　金子書房
オフィス・アワー	講義後の教室において，もしくは事前にe-mailで予約のうえ，随時対応します。
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅱ-7-D-b、Ⅱ-7-E-b～d ≪成人看護学≫-Ⅰ-1-A-b ≪老年看護学≫-Ⅰ-1-A-c ≪小児看護学≫-Ⅰ-2-A-d、Ⅰ-2-B-d、Ⅰ-3-I-b、Ⅱ-4-A-c、Ⅳ-8-A-e、Ⅳ-8-B-a、Ⅳ-8-B-c
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。

アクティブ・ラーニングの実施	毎回，10分程度の体験学習を行う予定である。

講義科目名称： 臨床心理学　　授業コード： 4N051

英文科目名称： Clinical Psychology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
竹居田 幸仁			

授業形態	講義（14コマ），演習（1コマ）．講義中，随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。	担当者
授業計画	第1回　臨床心理学とは何か 臨床心理学とは，心の不健康な人々を健康へと導くために，心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な一分野である。本講義では，臨床心理学の歴史や構造について学ぶ。	竹居田 幸仁
	第2回　無意識の心理学（１）精神分析 精神分析とは，オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり，理論であり，精神疾患や不適応の治療法である。本講義では，心理療法としての精神分析を中心に，その基本概念について学習する。 key words：意識，前意識，無意識，エス（イド），自我，超自我，エディプス・コンプレックス	竹居田 幸仁
	第3回　無意識の心理学（２）分析心理学 分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり，一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが，その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では，フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。 key words：個人的無意識，普遍的無意識，元型，症状の持つ意味，夢分析	竹居田 幸仁
	第4回　クライエント中心療法 カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき，人間の成長力，主体性を重視し，心理療法を「クライエント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり，その理論の変遷について理解する。 key words：クライエント中心療法，パーソン・センタード，静かなる革命，受容，共感，自己一致，建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件	竹居田 幸仁
	第5回　臨床心理アセスメント（１） 臨床心理アセスメントは，対象となる事例の心理的側面に関する情報（データ）を収集し，その情報を統合し，事例の心理的問題についての総合的な査定を行う作業である。臨床心理アセスメントが精神医学的診断と同一のものとして混同されることがあるが，本質的には臨床心理アセスメントは精神医学的診断とは異なる特徴を持っている。本講義では，臨床心理アセスメントの技法について学び，精神医学的診断との違いについて理解を深める。 key words：面接法，観察法，検査法	竹居田 幸仁
	第6回　こころの問題を理解する（１）「不安症／不安障害（神経症）」 不安症／不安障害（神経症）は主に心理的原因によって生じる心身の機能障害の総称であり，精神病とは異なる。本講義では不安症の種類や支援の方法について学び，理解を深める。 key words：分離不安症，選択制緘黙，限局性恐怖症，社交不安症，パニック症，広場恐怖症，全般不安症	竹居田 幸仁
	第7回　こころの問題を理解する（２）「身体症状症と解離性同一症／解離性同一性障害」 神経症（ノイローゼ）の一類型として扱われていた「ヒステリー」は，DSM-Ⅲ以降，ヒステリー概念が排除されたために，「転換ヒステリー」が「身体表現性障害」に，「解離性ヒステリー」は「解離性障害」として改められた。更に，DSM-5では「身体表現性障害」は「身体症状症」に，「解離性障害」は「解離症」に改められた。本講義では両者の下位分類や支援の方法について学び，理解を深める． key words：身体症状症，転換性障害，病気不安症，解離性健忘，解離性同一症，離人感・現実感消失症	竹居田 幸仁
	第8回　こころの問題を理解する（３）「摂食障害」 摂食障害は，極端な食事制限や大量の食糧摂取と排出行為など，摂食の問題が含まれる精神疾患であり，1980年代にDSMに登場して以降，先進国を中心に増加している。その背景として，やせを礼賛し体重増加を恐れる文化の影響や母子関係のつまずき等が考えられる。本講義では摂食障害の種類と支援の方法について学び，理解を深める。 key words：神経性やせ症／神経性無職欲症，神経性過食症／神経性大食症	竹居田 幸仁

	第9回	こころの問題を理解する（４）「性障害・性別違和」 性に関する問題は周辺的なテーマであると考えられがちで，教科書や講義で取り上げられることはあまりない。そのため，訓練を受けた専門家でも，性の問題に関する知識を十分に持っていない場合がしばしばある。しかし，その一方で性とは，人間のアイデンティティの根幹にあってQOLに重大な影響を及ぼす事柄であり，臨床心理学でも大事なテーマになる。本講義ではDSM-5に収載されている3つの障害について理解を深め，その支援の方法について検討を行う。 key words：性機能不全，パラフィリア（性嗜好異常），性別違和	竹居田 幸仁
	第10回	こころの問題を理解する（５）「パーソナリティ障害」 パーソナリティ障害とは，思考・感情・行動などのパターンが平均から著しく逸脱し，社会生活や職業生活に支障をきたしている状態を指し，正常な状態とは言えないが病気であるとも言えない状態である。本講義ではパーソナリティ障害の分類と支援の方法について学び，理解を深める。 key words：猜疑性／妄想性パーソナリティ障害，シゾイド／スキゾイドパーソナリティ障害，統合失調型パーソナリティ障害，境界性パーソナリティ障害，演技性パーソナリティ障害，自己愛性パーソナリティ障害，反社会性パーソナリティ障害，回避性パーソナリティ障害，依存性パーソナリティ障害，強迫性パーソナリティ障害	竹居田 幸仁
	第11回	こころの問題を理解する（６）「うつ病・双極性障害」 人は誰でも気分の浮き沈みを経験するが，うつ病や双極性障害においては，その浮き沈みの程度や期間が著しく，睡眠障害などの身体症状も現れる。本講義ではうつ病・双極性障害の違いとその支援方法について学び，理解を深める。 key words：双極Ⅰ型障害，双極Ⅱ型障害，うつ病／大うつ病性障害	竹居田 幸仁
	第12回	こころの問題を理解する（７）「統合失調症」 統合失調症は，幻覚や妄想という症状が特徴的な精神疾患である。それに伴って，人々と交流しながら家庭や社会で生活を営む機能が障害を受け（生活の障害），「感覚・思考・行動が病気のために歪んでいる」ことを自分で振り返って考えることが難しくなりやすい（病識の障害）という特徴を併せもっている。本講義では統合失調症の類型と支援の方法について学び，理解を深める。 key words：緊張型，解体（破瓜）型，妄想型	竹居田 幸仁
	第13回	臨床心理アセスメント（２）質問紙法 質問紙法は，印刷された質問文，またはウェブサイト上の質問文に対して，いくつかの選択肢からあてはまるものを回答する臨床心理アセスメントのための道具である。本講義では，POMS2日本語版を体験し，自分のおかれた条件の下で変化する一時的な気分・感情を測定する。 key words：質問紙法，POMS2	竹居田 幸仁
	第14回	臨床心理アセスメント（３）描画法演習 様々な対象を指定して画用紙に絵を描かせる心理検査を「描画法」と総称している。画用紙という環境にいかに自己表現するかによって，被検査者のパーソナリティの構造や動き具合を測定しようとする検査である。本講義では風景構成法を体験し，その理論や臨床への適応について学ぶ。 key words：描画法，風景構成法	竹居田 幸仁
	第15回	総括 これまでの講義を通して学んだ知識や身に着けた技法について振り返り，自らの専門にどのように活かしていくかを検討する。	竹居田 幸仁

科目の目的	臨床心理学とは，心の不健康な人々を健康へと導くために，心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な一分野である。本講義では，臨床心理学の基礎について理解し，保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する。 ディプロマポリシー：【思考・判断】
到達目標	１．臨床心理学が扱う心の問題と心の正常な機能および問題を軽減して正常化を図る方法としての心理療法の正しい知識を身につけることを通して，人間への深い理解を形成することができる。 ２．人間への深みのある理解を通して，自己理解，他者理解，人間社会の理解を自分の言葉で表現できるようになる。 ３．保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得し，対人支援に活用することができる。 ４．看護場面・治療場面における患者の心理と患者とのコミュニケーションの方法について理解を深め，患者と良好な関係を築けるようになる。
関連科目	【教養・共通基盤科目群】心理学，教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，社会学，生活文化と医療，大学の学び入門，大学の学び－専門への誘い－，多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ，発達心理学，公衆衛生学，保健統計，カウンセリング 【専門科目群】全科目
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・50%）に，毎回の受講後に作成する小レポートの評価（50%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について，１時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は，概ね講義の１週間前までにActive Academyにて配布するので，各自ダウンロードし，講義の際はプリントアウトして手元に用意しておくこと。
教科書・参考書	【教科書】 下山晴彦編著（2009）「よくわかる臨床心理学」　ミネルヴァ書房

	【参考書】 山祐嗣・山口素子・小林知博編著（2009）「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」　北大路書房 ※　選択科目「心理学」の教科書
オフィス・アワー	講義後の教室において，もしくは事前にe-mailで予約のうえ，随時対応します。
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅳ-13-A ≪精神看護学≫-Ⅳ-4-B-c
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習（90分のものを1回，10分程度のものを14回）を行う予定である。

講義科目名称： 緩和医療学　　授業コード： 4N052

英文科目名称： Palliative Medicine　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
斎藤 龍生			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 公衆衛生学　　授業コード： 4N053

英文科目名称： Public Health　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
一戸 真子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　公衆衛生の理解　公衆衛生学の特徴 健康の概念の変遷、予防の概念、ヘルスプロモーション、プライマリヘルスケア	一戸 真子
	第2回　人口と公衆衛生 世界人口の動向、日本の少子高齢化の進行、WHO	一戸 真子
	第3回　健康指標と保健統計 人口静態・人口動態、年齢調整死亡率、平均寿命、健康寿命	一戸 真子
	第4回　疫学1 疫学の概念、記述疫学、分析疫学、臨床疫学、EBM	一戸 真子
	第5回　疫学2 系統誤差、バイアスとその除去、相対危険度、寄与危険度、因果関係論、スクリーニングの意義	一戸 真子
	第6回　感染症総論 感染症発生の3要因と予防の原則、新興・再興感染症、1類感染症、予防接種	一戸 真子
	第7回　感染症各論 結核、エイズ、エボラ出血熱、インフルエンザ、新型コロナウイルス	一戸 真子
	第8回　母子保健　成人保健 乳児死亡率・妊産婦死亡率 がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病等生活習慣病	一戸 真子
	第9回　老人保健福祉　学校保健 健康増進法、後期高齢者医療制度、介護保険法、医療介護総合確保推進法、学校保健安全法	一戸 真子
	第10回　精神保健 精神保健のあゆみ、精神障害の種類、入院治療の形式、精神保健福祉対策、アルコール・薬物依存、自殺予防	一戸 真子
	第11回　生活環境、環境と健康、環境基準、地球環境問題 公害と防止対策、公害健康被害補償の原則、地球温暖化対策、循環型社会	一戸 真子
	第12回　栄養と食品衛生 食中毒発生状況の変遷、食中毒の種類と予防法、HACCP、健康日本21	一戸 真子
	第13回　産業保健 労働環境、職業病の種類と予防法、労働安全衛生	一戸 真子
	第14回　衛生行政と社会保障 保健所と区市町村保健センター、社会保障概要	一戸 真子
	第15回　医療行政概要 医療法改正の動向、医療計画、地域医療連携の推進、救急医療体制の整備、医療人材・医療資源の国際比較	一戸 真子
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。タテ系である各種疾患対策、環境対策とヨコ系である統計、疫学、健康教育、試験検査などが織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。 【対象の理解】	
到達目標	1.生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。 2.公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。 3.公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。	
関連科目	生命倫理、環境学、疫学、保健統計、社会学、情報処理、免疫・感染症学	
成績評価方法・基準	試験70%、提出物30%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	「国民衛生の動向」は特に公衆衛生の現実社会を写している最も重要なテキストである。 講義前に該当する事項に眼を通しておくことが望ましい。 準備学習に必要な学習時間の目安　1コマあたり1時間	
教科書・参考書	【教科書】 「公衆衛生」神馬征峰他（医学書院） 「国民衛生の動向 2022/2023版」（一般財団法人 厚生労働統計協会） 【参考書】 特になし	

オフィス・アワー	講義の前後（場所：非常勤講師室）
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-1-A-a、Ⅰ-1-B、Ⅰ-2-B、Ⅰ-2-C-a～b、Ⅰ-3-A-c ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅰ-1-A-b ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅰ-2-B-a、Ⅱ-4-B-c、Ⅱ-5-G-a、Ⅲ-6-A～C、Ⅲ-6-D-a～g、Ⅲ-7-A-a～b、Ⅲ-7-A-d、Ⅲ-7-B-a～c、Ⅲ-7-B-f、Ⅲ-8-A、Ⅲ-8-B-a～b、Ⅲ-9-A-c、Ⅲ-9-C-a、Ⅲ-9-D-a、Ⅲ-10-B-a～b、Ⅲ-11-C-a、Ⅲ-11-C-d ≪老年看護学≫-Ⅰ-4-C-b ≪精神看護学≫-Ⅰ-1-C-c、Ⅴ-6-C-a～b
履修条件・履修上の注意	新型コロナウイルスの蔓延により、公衆衛生の重要性がより高まっているので、しっかり学んで欲しい。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 疫学　　授業コード： 4N054

英文科目名称： Epidemiology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
宮崎 有紀子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　疫学の概念・歴史 疫学の目的、対象、方法、歴史的考察、医学的根拠への寄与	宮崎有紀子
	第2回　記述疫学と仮説設定	宮崎有紀子
	第3回　横断研究・生態学的研究	宮崎有紀子
	第4回　疾病頻度の測定：割合・率・比	宮崎有紀子
	第5回　コホート研究	宮崎有紀子
	第6回　症例対照研究 系統誤差、バイアスの種類と除去	宮崎有紀子
	第7回　疫学的手法を用いた問題解決	宮崎有紀子
	第8回　介入研究	宮崎有紀子
	第9回　疫学研究における倫理	宮崎有紀子
	第10回　疫学的因果関係の推定 交絡、バイアス、因果関係の条件	宮崎有紀子
	第11回　スクリーニング① 偽陽性と偽陰性、敏感度・特異度、的中度	宮崎有紀子
	第12回　スクリーニング② スクリーニング検査におけるバイアス	宮崎有紀子
	第13回　疾病登録 全国がん登録、感染症の疾病登録	宮崎有紀子
	第14回　年齢調整の方法	宮崎有紀子
	第15回　社会と疫学	宮崎有紀子
科目の目的	人間の健康に関する諸現象を集団の立場からとらえ、健康に関する問題の解決をはかる学問である。集団の健康問題に関する基礎的方法であり、公衆衛生にとって必須の技法でもある。【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	1.疫学研究方法の基本及び疫学指標が理解できる。 2.感染症をはじめ、集団におけるさまざまな健康現象について疫学的手法を応用する力を養う。	
関連科目	生命倫理、情報処理、公衆衛生学、社会学、免疫・感染症学、環境学	
成績評価方法・基準	試験80%、提出物20%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義前に、配布資料と該当する教科書の事項に目を通しておくことが望ましい。 準備学習に必要な時間の目安　1コマあたり1時間	
教科書・参考書	【教科書】 「はじめて学ぶやさしい疫学」日本疫学会監修（南江堂） 【参考書】 「国民衛生の動向」（一般財団法人 厚生労働統計協会）	
オフィス・アワー	講義の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準	【保健師】 ≪疫学≫-Ⅰ～Ⅱ-1-A～D、Ⅰ～Ⅱ-2-A～B、Ⅰ～Ⅱ-3-A～B、Ⅰ～Ⅱ-4-A～F、Ⅰ～Ⅱ-5-A～C、Ⅰ～Ⅱ-6-A、Ⅰ～Ⅱ-7-A-a～b、Ⅰ～Ⅱ-7-B-a～b、Ⅰ～Ⅱ-7-C-a～b、Ⅰ～Ⅱ-7-D-a～b、Ⅰ～Ⅱ-7-E-a～b、Ⅰ～Ⅱ-7-F-a～b、Ⅰ～Ⅱ-8-A-a～c、Ⅰ～Ⅱ-8-B-a～c、Ⅰ～Ⅱ-8-C-a～c、Ⅰ～Ⅱ-8-D-a～c、Ⅰ～Ⅱ-8-E-a～c、Ⅰ～Ⅱ-8-F-a～c、Ⅰ～Ⅱ-8-G-a～c、Ⅰ～Ⅱ-8-H-a～c、Ⅰ～Ⅱ-8-I-a～c、Ⅰ～Ⅱ-8-J-a～c、Ⅰ～Ⅱ-8-K-a～c、Ⅰ～Ⅱ-9-A～C	
履修条件・履修上の注意	保健師国家試験受験資格取得のための要件科目	

アクティブ・ラーニングの実施	教室内でのグループワーク

講義科目名称： 保健統計　　授業コード： 4N055

英文科目名称： Statistics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
宮崎有紀子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 社会福祉・社会保障制度論　　授業コード： 4N056

英文科目名称： Social Welfare and Social Insurance System　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　社会保障制度と社会福祉 社会保障制度、社会福祉の概念、行財政の仕組み	矢島 正栄
	第2回　社会福祉の歴史 我が国における社会保障制度、社会福祉の歴史的変遷	矢島 正栄
	第3回　現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 戦後の我が国の社会保障制度の展開と課題	矢島 正栄
	第4回　医療保障１ ・社会保障制度と医療保険制度 ・医療保障制度の沿革・構造と体系 ・健康保険と国民健康保険	一場美根子
	第5回　医療保障2 ・後期高齢者医療制度 ・保険診療の仕組み ・公費負担医療制度 ・国民医療費	一場美根子
	第6回　高齢者福祉1 高齢者福祉の課題	矢島 正栄
	第7回　高齢者福祉2 高齢者福祉に関する法令、制度 高齢者福祉施策のしくみ	矢島 正栄
	第8回　介護保障１ ・介護保険制度創設の背景と介護保障の歴史 ・介護保険制度のしくみ	一場美根子
	第9回　介護保障２ ・介護保険制度のしくみ ・介護保険サービス利用の手続きと保険給付	一場美根子
	第10回　介護保障３ ・介護保険制度のサービスの種類・内容と主なサービス料金・介護報酬 ・介護保険制度と地域支援事業	一場美根子
	第11回　障害者福祉１ 知的・身体・精神障害者、発達障害者、難病療養者の福祉に関する課題	矢島 正栄
	第12回　障害者福祉2 知的・身体・精神障害者、発達障害者、難病療養者の福祉に関する法令・制度、支援施策のしくみ	矢島 正栄
	第13回　所得保障 ・年金保険制度の歴史と仕組み ・労働保険制度（雇用保険・労働者災害補償保険） ・社会手当	一場美根子
	第14回　公的扶助 低所得者対策と生活保護制度の仕組み	一場美根子
	第15回　児童・家庭福祉 児童・家庭福祉に関する法令・制度、児童・家庭福祉施策	矢島 正栄
科目の目的	看護師・保健師・助産師の業務と関連の深い社会福祉、社会保障の法令、制度を理解し、変化する社会情勢の中で人々の健康と生活を支援するため社会資源の公平な利用と配分を促進する方法を学ぶ。【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】	
到達目標	1. 社会保障制度、社会福祉の理念と歴史的変遷を説明できる。 2. 医療保障、所得保障、介護保障、公的扶助、障害者福祉に関する主な法令、諸制度の概要を説明できる。 3. 社会資源の公平な利用と配分を促進する看護職の役割を考えることができる。	
関連科目	法学、地域社会学、経済学、地域保健行政、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動展開論、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ	
成績評価方法・基	試験（100%）	

準	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義に臨む前にテキスト、配付資料を精読しておいてください。1コマにつき120分程度の準備学習を求めます。
教科書・参考書	教科書 1. 「系統看護学講座　専門基礎　社会福祉　健康支援と社会保障制度③」23版（医学書院） 2. 「国民衛生の動向2021/2022」（厚生労働統計協会） 参考書 1.「医療六法」（中央法規） 2.「福祉省六法」（中央法規） 3.「国民の福祉と介護の動向」（厚生労働統計協会）
オフィス・アワー	矢島正栄：月～金曜日17:00～18:00 一場美根子：講義の前後
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-3-A～B ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅰ-1-A、Ⅰ-1-B-a～c、Ⅰ-1-C、Ⅰ-2-A-a～b、Ⅱ-3-A～B、Ⅱ-4-A、Ⅱ-4-B-a、Ⅱ-4-B-c～e、Ⅱ-4-C～E、Ⅱ-5-A～G、Ⅲ-9-C-a～b ≪老年看護学≫-Ⅰ-3-D、Ⅰ-4-B-b～c、Ⅰ-4-C ≪小児看護学≫-Ⅳ-8-B-a ≪母性看護学≫-Ⅰ-1-B-b ≪精神看護学≫-Ⅳ-4-H-d～n、Ⅴ-6-C-a ≪在宅看護論／地域・在宅看護論≫-Ⅲ-9-A 【保健師】 ≪対象別公衆衛生看護活動論≫-Ⅰ～Ⅱ-2-A-c、Ⅰ～Ⅱ-2-B、Ⅰ～Ⅱ-3-A、Ⅰ～Ⅱ-3-C、Ⅰ～Ⅱ-5-A～B ≪保健医療福祉行政論≫-Ⅰ-4-A～D
履修条件・履修上の注意	講義資料は原則として講義日の2日前から1週間の間Active Academyにより配布します。印刷して持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	なし

講義科目名称： 地域保健行政　　授業コード： 4N057

英文科目名称： Community Health Administration　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
小林 亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： リハビリテーション概論　　授業コード： 4N058

英文科目名称： Introduction to Rehabilitation Science　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
村田 和香	村田 和香		佐藤　満	白坂 康俊

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　リハビリテーションとは（講義オリエンテーション含） リハビリテーションの定義、理念、歴史、ICF	村田和香
	第2回　作業療法概論	村田和香
	第3回　作業療法の実際	村田和香
	第4回　理学療法概論、理学療法の実際	佐藤　満
	第5回　医学的リハビリテーションとリハビリテーションチームにおける看護への役割期待	佐藤　満
	第6回　言語聴覚療法概論、言語聴覚療法の実際	白坂康俊
	第7回　コミュニケーション障害のリハビリテーションとリハビリテーションチームにおける看護への役割期待	白坂康俊
	第8回　地域リハビリテーションとリハビリテーションチームにおける看護への役割期待	村田和香
科目の目的	リハビリテーションを幅広い視野から理解する。障害を持つ人の現状と保健医療福祉における課題を理解する。リハビリテーションにおける看護の役割を説明することができる。	
到達目標	①リハビリテーションの定義について、説明できる。 ②国際生活機能分類（ICF)について、具体的例を示し説明できる。 ③リハビリテーションで果たす看護の役割を説明できる。	
関連科目	看護学概論Ⅰ・Ⅱ、多職種理解と連携	
成績評価方法・基準	試験100％（レポートを課す場合もある）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1. 障害や福祉に関する用語を調べ、学習する。 2. できれば障害福祉施設でのボランティア活動をする。 1コマあたりの準備及び復習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：使用しない（資料はActiveAcademyに登録するので、各自準備すること） 参考書1：「入門リハビリテーション概論」中村隆一（医歯薬出版）	
オフィス・アワー	担当教員の研究室にて授業日の17時まで	
国家試験出題基準	特になし	
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習を中心に展開する	

講義科目名称： カウンセリング　　授業コード： 4N059

英文科目名称： Counseling　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
竹居田 幸仁			

授業形態	授業のはじめの30分程度講義を行い，残りの時間は講義で取り上げた内容について演習（個別・グループ）を行う。		担当者
授業計画	第1回	自分を知る 対人援助職において，相手の価値観を知り，その人について理解を深めることは，被援助者との間に望ましい人間関係を築いていく上で実りの多いことである。しかし，相手の価値観を知る前に，まずは自分の価値観を意識化しておく必要がある。本講義では，SCT（文章完成法）を行い，「自分とは何か」という問いに対する答えを考える。 key words：自己理解，SCT	竹居田 幸仁
	第2回	心理療法（１）　「心の天気」 私たちは，いろいろなことを感じて，それを誰かに聞いてもらいたかったり，表現したかったりする。しかし，なかなか上手く言えなかったり，聞いてもらえなかったりするので，表現することをあきらめてしまうことがよくある。そうすると，しまいには，自分が何を感じているのか自分でもわからなくなってしまい，落ち着きがなくなったり，わけもなく不安になったりする。 本講義では，「こころの天気」というワークを通じ，こころを天気に例えてみることで，今の自分の感じをわかりやすく表現し，今の自分のこころはどのような状態なのかきちんと把握する体験をする。 key words：こころの天気，からだの感じ調べ	竹居田 幸仁
	第3回	心理療法（２）　「自立訓練法」 私たちのこころと体は密接な関係があり，不安やストレスが原因で体に症状が出ることもある。逆に，体の緊張を解きほぐすことでこころが穏やかになり，リラックスできるとも考えられる。本講義では「不安階層表」を作成することにより自分が不安になる場面を想起し，一時的に不安状態になったところで自己催眠法である「自律訓練法」を実施し，不安を緩和する体験をする。 key words：不安階層表，自立訓練法，基本公式，第一公式，第二公式	竹居田 幸仁
	第4回	心理療法（３）　「LAC法」（１） 大学入学後，本業である学業に対して無気力となり，サークル活動やアルバイト，余暇活動などに没頭するということは，誰でも経験し得ることである。そのような時は，自分の人生・生活全体を詳しく丁寧に分析して振り返り，自発的に自分の人生（生活）の目的（やりたいこと・やるべきこと）を設定して，意欲的に目的の達成に取り組んでいくことが必要である。本講義では，そのような取り組みを支援する方法である生活分析的カウンセリング(life analytic counseling)について，事例を通して実施方法や臨床への活用方法について学ぶ。 key words：生活分析的カウンセリング，スチューデント・アパシー	竹居田 幸仁
	第5回	心理療法（４）　「LAC法」（２） 前回の講義で学んだLAC法を体験する。 key words：生活分析的カウンセリング，必要性，可能性，平均	竹居田 幸仁
	第6回	心理療法（５）　「ストレスマネージメント」 対人援助職が他者に対して支援を行う際，まずは自らの心身の健康を保つことが求められる。同じ体験をしても，ストレスを強く感じる人と，それほど感じない人がいるが，その一因としてストレスへの対処法の得手・不得手が挙げられる。本講義では，質問紙への回答を通して，ストレスを引き起こす原因である「ストレッサー」が自分の身の回りにどれくらいあるかを把握し，ストレスマネージメントのワークを通してストレッサーによって「ストレス反応」が生じさせられることを防ぐための対処法を体験する。 key words：ストレッサー，ストレス反応，ストレスコーピング	竹居田 幸仁
	第7回	心理療法（６）　「解決志向ブリーフセラピー」 カウンセリングや心理療法において，クライエントの問題が解消するまでにかかる時間はクライエントによってまちまちであり，中には何年もの時間を要するケースもある。ブリーフセラピーとは，クライエントとカウンセラーができるだけ協力して，効率的な問題解決を目指す心理療法である。本講義ではそのエッセンスを活用した「解決志向ブリーフセラピー」を体験し，日常生活で抱えている問題の解決の糸口を見つけ出すことを目指す。 key words：ブリーフセラピー，スケーリングクエスチョン，コーピングクエスチョン，エクセプチョンクエスチョン，ミラクルクエスチョン	竹居田 幸仁

	第8回	心理療法（7）　「タッピングタッチ」 タッピングタッチとは，指先の腹のところを使って，左右交互に，軽く弾ませるようにタッチすることを基本としたホリスティック（統合的）でシンプルなケアの手法である。本講義ではペアワークを通してタッピングタッチを体験し，その手法を習得する。 key words：タッピングタッチ，トラウマケア	竹居田 幸仁
	第9回	心理療法（8）　「フォーカシング」（1） フォーカシングとは，やさしい，許容的な態度で自分のからだに注意を向け，「フェルト・センス」と呼ばれる微妙な水準の認識に気づくようになるプロセスのことである。 本講義から3回に渡って，フォーカシングの基本的技法を練習する。本講義では，フェルト・センスを感じるための練習を行う。 key words：フォーカシング，フェルト・センス，からだの感じ調べ	竹居田 幸仁
	第10回	心理療法（9）　「フォーカシング」（2） 前回に続いて，フォーカシングの技法を練習する。 本講義では，からだの内側で感じている感じにぴったりの言葉やイメージ，あるいは音やジェスチャーである「取っ手」を手に入れる練習や，その感じと一緒にいる練習を行う。 key words：フォーカシング，「取っ手」	竹居田 幸仁
	第11回	心理療法（１０）　「フォーカシング」（3） フォーカシングの練習の最終講義。 私たちは，何か心配なことや気がかりなことがあると，それが頭から離れず，本来やるべきことに手が付けられないということがある。本講義では，自分の内面にある気がかりや問題を挙げていき，思い浮かんだものから適当な心理的距離をとる方法である「クリアリング・ア・スペース（clearing a space：CAS）の練習を行う。 key words：フォーカシング，クリアリング・ア・スペース	竹居田 幸仁
	第12回	心理療法（１１）　「行動療法」 行動療法では，クライエント(または保護者等)とカウンセラーが共同して行動面での治療目標を立て，さまざまな技法を用いて不適切な反応を修正する。たとえば，楽しい雰囲気の中で，スモールステップで，徐々に恐怖対象に近づき，慣れるようにさせたり，賞賛やごほうび等を用いて，新しく適切な反応（感情や行動）を習得させる。本講義では，スモールステップの目標設定の練習を行う。 key words：行動療法，スモールステップ，強化，強化子	竹居田 幸仁
	第13回	心理療法（１２）　「認知行動療法」 「無くて七癖」ということわざがあるように，誰にでも“クセ”というものがあるが，実は，ものの考え方にも“クセ”がある。認知行動療法とは，自分の考え方のクセ（自動思考）に気が付き，その誤りや偏りを適切な方向に修正していくという心理療法である。本講義では，自らの自動思考に気が付き，適切な考え方を探る練習を行う。 key words：認知行動療法，自動思考	竹居田 幸仁
	第14回	臨床心理アセスメント（1）　質問紙法 質問紙法は，印刷された質問文，またはウェブサイト上の質問文に対して，いくつかの選択肢からあてはまるものを回答する臨床心理アセスメントのための道具である。本講義では，POMS2日本語版を体験し，自分のおかれた条件の下で変化する一時的な気分・感情を測定する。 key words：質問紙法，POMS2	竹居田 幸仁
	第15回	臨床心理アセスメント（2）描画法 様々な対象を指定して画用紙に絵を描かせる心理検査を「描画法」と総称している。画用紙という環境にいかに自己表現するかによって，被検査者のパーソナリティの構造や動き具合を測定しようとする検査である。本講義では風景構成法を体験し，その理論や臨床への適応について学ぶ。 key words：描画法，空間象徴，風景構成法	竹居田 幸仁

科目の目的	私たちは，様々な悩みや問題を抱えながら生きている。カウンセリングでは，人がこうした悩みや問題に自分らしく向き合っていくプロセスに寄り添い，その方のこころを聴かせていただく。 本講義では，「カウンセリングとは何か」を深く理解できるよう，カウンセリングの実践における理論と技法を学ぶ。また，さまざまな疾病・障害を持っている患者やその家族の心理について理解し，保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する。 ディプロマポリシー：【知識・理解】
到達目標	１．傾聴について理解を深め，受容的・共感的な傾聴ができるようになる。。 ２．自分自身のこころに向き合っていけるようになる。 ３．精神科系統の疾患・障害をもつ患者やその家族の心理について理解し，保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得し，対人支援に活用できるようになる。 ４．病気になる，障害を負うということ考えることで，看護師・保健師・助産師・養護教諭として必要な援助的態度をとれるようになる。
関連科目	【教養・共通基盤科目群】心理学，教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，社会学，生活文化と医療，大学の学び入門，大学の学びー専門への誘いー，多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ，発達心理学，臨床心理学（履修しておくことが望ましい），公衆衛生学，保健統計 【専門科目群】全科目

成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・50%）に毎回の受講後に作成する小レポートの評価（50%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について，１時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は，概ね講義の１週間前までにActive Academyにて配布するので，各自ダウンロードし，講義の際はプリントアウトして手元に用意しておくこと。
教科書・参考書	【教科書】 なし（必要に応じて資料を配布） 【参考書】 山祐嗣・山口素子・小林知博編著（2009）「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」　北大路書房 ※　選択科目「心理学」の教科書 下山晴彦編著（2009）「よくわかる臨床心理学」　ミネルヴァ書房 ※　必修科目「臨床心理学」の教科書
オフィス・アワー	講義後の教室において，もしくは事前にe-mailで予約のうえ，随時対応します。
国家試験出題基準	なし
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	毎回，60分程度の体験学習を行う予定である。

講義科目名称： 基礎看護技術演習　　授業コード： 4N062

英文科目名称： Practise in Basicaly Nursing Skils　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
長嶺めぐみ	萩原一美		堀込由紀	千葉今日子
	森田綾子		佐藤美保	

授業形態	講義6回、演習9回		担当者
授業計画	第1回	講義ガイダンス、看護技術・看護援助と看護援助を必要とする対象（講義） 看護技術と看護援助・看護行為の概念と成り立ちを学び、看護援助を必要とする対象を理解する。	長嶺めぐみ
	第2回	看護援助に共通する看護技術：観察と安全【目的・意義・方法・視点】（講義） 看護援助に共通する看護技術としての観察の意義・目的・方法を理解する。 看護援助を提供する際の医療安全の意義と確保を理解する 医療職として必要な感染予防の知識を理解する。	長嶺めぐみ
	第3・4回	看護援助に共通する看護技術の実際：安全と安楽【感染予防】(演習) 医療職として必要な標準予防策（スタンダードプリコーション）を習得する。（事前・事後課題有）	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保
	第5回	看護援助に共通する看護技術：安全と安楽【ボデイメカニクス・姿勢・体位・体位変換】（講義） 看護に必要な人間工学の知識を活用した、ボデイメカニクス・作業域などを理解する。	長嶺めぐみ
	第6.7回	看護援助に共通する看護技術の実際：安全と安楽【ボデイメカニクス・姿勢・体位】（演習） ボデイメカニクスを活用した安楽な体位と体位変換の援助技術を習得する。 安楽な体位と、体位を変換する方法を学ぶ。 看護援助に必要な安楽性を考慮したポジショニング、姿勢と体位の目的・援助方法を技術を習得する。（事前・事後課題有）	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保
	第8回	快適な療養環境を整える看護援助：【物理的・文化的・人的環境】（講義） 看護の対象と取り巻く環境の意味を理解し、健康的な生活環境を整える方法を理解する。	長嶺めぐみ
	第9回	快適な療養環境を整える看護援助：【物理的・文化的・人的環境】（演習） 身近な環境(学内)の測定を行い、療養環境を整えることの意味を理解する(事前・事後課題有)	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保
	第10回	快適な療養環境を整える看護援助：【物理的・文化的・人的環境】（講義） 快適な病床環境を整える方法を理解する。	長嶺めぐみ
	第11・12回	快適な療養環境を整える看護援助の実際を学ぶ。：ベッドメーキング（演習） ボディメカニクスを活用した清潔で美しいベッドメーキングの技術をする。（事前・事後課題有）	長嶺めぐみ、萩原一美　堀込由紀、千葉今日子、森田綾子
	第13・14回	快適な療養環境を整える看護援助の実際を学ぶ。：臥床患者のベッドメイキング(演習) ボディメカニクスを活用し、臥床患者のベッドメーキングの技術を習得する。（事前・事後課題有）	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子　森田綾子、佐藤美保
	第15回	看護の対象の看護援助の必要性の視点を学ぶ。(講義) 看護技術を適切に実践するための要素を考察する。	長嶺めぐみ
科目の目的	看護援助の言葉の概念を理解し、対象者と看護師の援助的人間関係の基本を学ぶ。さらに対象者に適した看護援助を提供するための基本的看護技術の原理と根拠を学ぶ。 【看護の実践】		

到達目標	1.看護技術・看護援助・看護行為の概念と看護援助を必要とする対象の特徴を説明できる。 2.看護援助に共通する看護技術の原理とその根拠を説明できる。 3.看護援助に必要となる観察の重要性を説明できる。 4.対象との援助的人間関係構築のプロセスを理論と関連付けて考えられる。 5.看護援助に共通する安全の基本的な技術（感染予防・ボディメカニクス）を習得できる。 6.安楽で快適な療養環境を整える援助技術（姿勢と体位・ベッドメーキング・病床整備）を習得できる。
関連科目	関連する教養科目－心理学、教育心理学、社会学、生活文化と医療、環境学、 関連する専門基礎科目－解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、発達心理学、栄養学、 関連する専門科目－看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、治療援助学演習、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、コミュニケーション論 その他各看護学
成績評価方法・基準	筆記試験（70%）講義後のミニッツペーパー・演習事前課題（14%）・演習事後課題（16%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿った教科書該当ページを熟読して講義に臨むこと。 演習内容に沿った教科書該当ページを熟読して演習に臨むこと。 【学習に必要な自己時間の目安】 1コマ当たり30分の準備学習と30分の復習が必要。
教科書・参考書	教科書１：系統看護学講座　基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ　医学書院 教科書２：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　医学書院
オフィス・アワー	【長嶺】授業の前後（長嶺研究室） 【萩原】授業の前後（萩原研究室） 【堀込】授業の前後（堀込研究室） 【千葉】授業の前後（千葉研究室） 【森田】授業の前後（森田研究室） 【佐藤美】授業の前後（佐藤美研究室）
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-2-A-f～h、Ⅰ-2-B、Ⅲ-11-B-c、Ⅳ-14-C-a、Ⅳ-14-C-c、Ⅳ-15-A、Ⅳ-15-B-a、Ⅳ-15-B-c～e、Ⅳ-15-C-a～d ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅱ-3-C-a ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅲ-8-C ≪基礎看護学≫-Ⅱ-3-D-b、Ⅱ-3-F-a～c、Ⅱ-3-F-e、Ⅱ-3-G-a、Ⅱ-3-H、Ⅱ-4-A
履修条件・履修上の注意	授業内で配布される「演習の手引き」を熟読して、演習に臨むこと。 演習の際は、ユニフォーム・ナースシューズを着用する。 事後学習の内容が不足の場合は、再提出を求めることがある。
アクティブ・ラーニングの実施	演習の前後では学習課題が出される。事前学習課題では、演習に向けて必要な知識を、事後学習課題では、演習で得た知識・経験の統合を積極的に行うことを期待する。また演習中は、自ら課題を見つけ積極的に取り組むことことを期待する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	長嶺 めぐみ（看護師）、萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、千葉 今日子（看護師）、森田 綾子（看護師）、佐藤 美保(看護師)
授業の概要	看護の対象へ提供するための具体的な看護活動に共通する技術を学ぶ。看護活動の始まりである看護の対象を「よく観る」ための観察の重要性を学ぶ。その上で1年次後期・2年次で学ぶ援助方法、さらには対象のライフステージに合わせた臨床での援助方法の基盤となる共通の看護技術を習得する。

講義科目名称： 日常生活援助学演習Ⅰ（活動・食事・排泄）　　授業コード： 4N064

英文科目名称： Practice in Daily Life CareⅠ　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
千葉今日子	萩原一美		堀込由紀	長嶺めぐみ
	森田綾子		佐藤美保	

授業形態	講義　16時間(8コマ)　　演習　14時間（7コマ）		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス　1.人間の基本的ニーズを満たすための看護援助：講義 1）日常生活行動と基本的ニーズ 2）日常生活行動とその意義 3）日常生活援助と日常生活援助技術 4）日常生活援助における看護の役割	千葉今日子
	第2回	2.活動と休息に関する看護援助：講義 1）活動と休息の意義 2）活動と休息に影響する要因 3）活動と休息の援助の必要性を判断するための視点 4）活動と休息を促す看護援助	千葉今日子
	第3.4回	3.活動に関する看護援助の実際：演習　（提出課題有） 1）床上での移動 2）車いす、ストレッチャーへの移乗 3）車いす、ストレッチャーでの移送	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 森田綾子 佐藤美保
	第5回	4.安楽の確保に関する看護援助：講義・演習 1）安楽の意義 2）安楽に影響する要因 3）安楽の確保に関する看護援助 罨法・安楽な体位　ほか	千葉今日子
	第6回	5.安楽確保のための援助の実際：演習(提出課題有) 1）安楽な体位：体位保持・体位変換	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 森田綾子 佐藤美保
	第7回	6.食事と栄養に関する看護援助①：講義 1）食事と栄養の意義 2）食事に関するメカニズム 3）栄養と食事摂取のアセスメント 4）栄養と食事摂取に影響する要因	千葉今日子
	第8回	6.食事と栄養に関する看護援助②：講義 5）食事援助の必要性 6）食事援助の方法と留意点 7）食事援助時の看護 8）口腔ケア	千葉今日子
	第9.10回	7.食事に関する看護援助の実際：演習（提出課題有） 1）食事援助 2）口腔ケア	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 森田綾子 佐藤美保
	第11回	8.排泄に関する看護援助①：講義 1）排泄の意義 2）排泄に関するメカニズム 3）排泄状態（尿・便）のアセスメント 4）排泄（尿・便）に影響する要因	千葉今日子
	第12回	8.排泄に関する看護援助②：講義 5）排泄援助の必要性 6）排泄援助の方法と留意点 7）排泄援助時の看護 8）陰部洗浄	千葉今日子

	第13.14回　9.自然排泄を促す看護援助の実際：演習（提出課題有） 1）排泄の援助 ・便器・尿器による床上排泄の援助 ・ポータブルトイレでの排泄の援助 ・尿失禁・便失禁のある患者のおむつを用いた援助 2）陰部洗浄 第15回　10.患者の基本的ニーズを満たすための看護援助：講義 1）日常生活援助の必要性を判断するための視点 2）日常生活援助方法の選択と留意点 3）日常生活援助（活動・休息・食事・排泄）における看護の専門性 4）日常生活援助技術の習得のプロセス	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 森田綾子 佐藤美保 千葉今日子
科目の目的	対象者のニーズに応じた日常生活援助（食生活と栄養、排泄、活動と休息）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では、看護の対象の日常生活行動の活動・休息、休息と睡眠、食生活と栄養、排泄に関する援助の目的と方法を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、対象の心情の理解や看護者の役割を、体験をとおして学ぶ。【看護の実践】	
到達目標	1. 日常生活上の生理的ニーズ(食生活と栄養、排泄、活動と休息)を満たすための意義と方法を説明できる。 2. 日常生活上の生理的ニーズ(食生活と栄養、排泄、活動と休息)を満たすための援助を実施できる。 3. 日常生活上の生理的ニーズ(食生活と栄養、排泄、活動と休息)を満たすための援助を受ける対象の気持ちに気づくことができる。	
関連科目	教養科目　　：心理学、社会学 専門基礎科目：解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、薬理学、病理学、生化学 専門科目　　：看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、基礎看護技術論演習、コミュニケーション論	
成績評価方法・基準	筆記試験(70%)、提出課題(30%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	【準備学習】 ・予習：授業内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、理解できない内容を明確にする。 演習の予習課題を授業時に提示する。演習内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、課題に取り組む。 ・復習：予習課題の解説を演習時に行う。解説を参考にし、提出課題を完成させる。 【学習に必要な時間の目安】 ・予習・復習を合わせ、1コマあたり60分程度	
教科書・参考書	教科書1：系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ　　医学書院 教科書2：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　第3版　医学書院	
オフィス・アワー	【千葉】授業の前後（千葉研究室） 【萩原】授業の前後（萩原一美研究室） 【堀込】授業の前後（堀込研究室） 【長嶺】授業の前後（長嶺研究室） 【森田】授業の前後（森田研究室） 【佐藤】授業の前後（佐藤研究室）	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-2-A-a～d、Ⅲ-10-A-a、Ⅲ-10-A-1、Ⅲ-11-A-b、Ⅲ-11-A-e、Ⅲ-11-A-q～r、Ⅲ-11-A-t、Ⅲ-11-A-w、Ⅳ-14-A、Ⅳ-14-B-a、Ⅳ-14-C-b、Ⅳ-14-C-e、Ⅳ-14-D-f ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-2-A、Ⅰ～Ⅲ-2-B-b、Ⅰ～Ⅲ-3-B-j、Ⅰ～Ⅲ-11-A-a～b、Ⅰ～Ⅲ-11-A-d～e、Ⅰ～Ⅲ-11-A-a～d、Ⅰ～Ⅲ-12-A、Ⅰ～Ⅲ-13-C、Ⅰ～Ⅲ-14-A～B、Ⅰ～Ⅲ-15-B ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅲ-4-C-f ≪基礎看護学≫-Ⅱ-3-G-c、Ⅱ-4-B-a～e、Ⅱ-4-C～E、Ⅱ-5-A-g	
履修条件・履修上の注意	演習時は、実習用ユニフォーム(ナースウェア、ナースシューズ、名札)を着用して臨むこと。 予習課題と提出課題に取り組み、期日までに提出すること。	
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	千葉 今日子（看護師）、萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、長嶺 めぐみ（看護師）、森田 綾子（看護師）、佐藤 美保（看護師）、伊藤 順子（看護師）	
授業の概要	「基礎看護技術論」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活援助（食生活と栄養、排泄、活動と休息）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では、看護の対象の日常生活行動の活動・休息、安楽と休息、食生活と栄養、排泄に関する援助の目的と方法を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験をとおして学ぶ。	

講義科目名称： ヘルスアセスメント　　授業コード： 4N066

英文科目名称： Health Assessment　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
森田 綾子			

授業形態	講義（８回）	担当者
授業計画	第１回　ヘルスアセスメントの目的と意義について ・ガイダンス ・ヘルスアセスメントはなにか ・ヘルスアセスメントの目的とその意義について学習する。 ・健康歴を聴取するために必要な問診の技術について学習する	森田　綾子
	第２回　フィジカルアセスメント①　バイタルサイン（脈拍・血圧） ・血圧計（アネロイド血圧計）、聴診器の取り扱いについて学習する。 ・バイタルサインのうち、脈拍・血圧の測定方法とアセスメントについて学習する。	森田　綾子
	第３回　フィジカルアセスメント②　バイタルサイン（呼吸・体温） ・バイタルサインのうち、呼吸・体温の測定方法とアセスメントについて学習する。	森田　綾子
	第４回　フィジカルアセスメント④　系統別（呼吸器・循環器） ・呼吸器系、循環器系のフィジカルアセスメントの目的と実際について学習する。	森田　綾子
	第５回　フィジカルアセスメント⑤　系統別（消化器・筋骨格系） ・消化器系、筋骨格系のフィジカルアセスメントの目的と実際について学習する。	森田　綾子
	第６回　フィジカルアセスメント⑥　系統別（神経系・感覚器系） ・神経系、感覚器系のフィジカルアセスメントの目的と実際について学習する。	森田　綾子
	第７回　フィジカルアセスメント⑦　系統別（外皮系） ・外皮系のフィジカルアセスメントの目的とその実際について学習する。	森田　綾子
	第８回　心理・社会的側面のアセスメント ・心理・社会的側面のアセスメントの目的とその実際について学習する。	森田　綾子
科目の目的	対象者の健康状態を把握するための基礎知識を理解する。【対象の理解】	
到達目標	１．ヘルスアセスメントの目的と意義を理解する ２．ヘルスアセスメントの方法とその根拠を理解する ３．１．２に基づき、看護におけるヘルスアセスメントの必要性を説明する	
関連科目	関連する教養科目：心理学、生命倫理、環境学 関連する専門基礎科目：解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、栄養学、病態栄養学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、臨床心理学 関連する専門科目：看護学概論Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション論、基礎看護学技術演習、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、看護過程論入門、看護過程展開論演習、治療援助学演習、その他各看護学総論	
成績評価方法・基準	筆記試験（80%）確認テスト（10%）提出物(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿った教科書該当ページを熟読して講義に臨むこと。 計画的に提出課題に取り組むこと。 【準備学習に必要な学習時間の目安】 １コマあたり１時間の予習と復習が必要。	
教科書・参考書	教科書１：「系統看護学講座　専門　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学２」茂野香おる他編（医学書院） 教科書２：「基礎・臨床看護技術　第３版」任和子他編　（医学書院）	
オフィス・アワー	【森田綾子】講義の前後の時間（研究室）	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-b～e、Ⅲ-10-A-h～j、Ⅲ-11-A-f、Ⅲ-11-A-h、Ⅲ-11-A-j～m、Ⅲ-11-A-o～p、Ⅲ-11-A-s、Ⅲ-11-A-x、Ⅳ-13-C ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-5-D-a、Ⅰ～Ⅲ-5-F-b、Ⅰ～Ⅲ-6-A-a、Ⅰ～Ⅲ-6-B-b、Ⅰ～Ⅲ-10-A-a、Ⅰ～Ⅲ-10-B、Ⅰ～Ⅲ-10-D ≪基礎看護学≫-Ⅱ-3-E、Ⅱ-5-A-a、Ⅱ-5-A-c	
履修条件・履修上の注意	予習および復習を行い、主体的に講義に臨むこと。	
アクティブ・ラーニングの実施	なし	

講義科目名称： ヘルスアセスメント演習　　授業コード： 4N067

英文科目名称： Practice in Health Assessment　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
森田 綾子	萩原一美		堀込由紀	長嶺めぐみ
	千葉今日子		佐藤美保	

授業形態	講義（1回）演習（14回）	担当者
授業計画	第１・２回　バイタルサイン①（脈拍・血圧） ・脈拍、血圧の測定方法を習得する。 ・測定した値をアセスメントし、報告する方法を習得する。	萩原一美・堀込由紀・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第３・４回　バイタルサイン②（呼吸・体温） ・呼吸、体温の測定方法を習得する。 ・測定した値をアセスメントし、報告する方法を習得する	萩原一美・堀込由紀・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第５・６回　フィジカルアセスメント①（呼吸器・循環器） ・呼吸器系・循環器系のフィジカルアセスメント技術を習得する。 ・観察、測定した内容を、アセスメントし、報告する方法を習得する。	萩原一美・堀込由紀・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第７・８回　フィジカルアセスメント②（消化器・筋骨格系） ・消化器・筋骨格系のフィジカルアセスメント技術を習得する。 ・観察、測定した内容を、アセスメントし、報告する方法を習得する。	萩原一美・堀込由紀・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第９・10回　フィジカルアセスメント③（神経系・感覚器系・外皮系） ・神経系・感覚器系・外皮系のフィジカルアセスメント技術を習得する。 ・観察、測定した内容を、アセスメントし、報告する方法を習得する。	萩原一美・堀込由紀・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第11・12回　ガイダンス（技術習得度チェック） ・技術習得度チェックの留意点についての説明。 ・正確な測定に向け、手技の確認を行う。	萩原一美・堀込由紀・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第13・14回　技術習得度チェック（バイタルサイン測定） ・正確にバイタルサイン測定を実施する。	萩原一美・堀込由紀・長嶺めぐみ・千葉今日子・森田綾子・佐藤美保
	第15回　まとめ ・技術習得度チェックについて振り返り、自己の課題を明確にする。	森田綾子
科目の目的	対象者の健康状態を把握するための基礎知識を理解する【対象の理解】 対象者の健康状態を把握するための基礎知識に基づき、技術を習得する【看護の実践】	
到達目標	１．既習の知識（ヘルスアセスメント）に基づき、正確にバイタルサイン測定を行う。 ２．既習の知識（ヘルスアセスメント）に基づき、各系統別の観察・測定を手順に従って行う。 ３．１．２に基づき、対象の健康状態を正しく把握するための自己の課題を述べる。	

関連科目	関連する教養科目：心理学、生命倫理、環境学 関連する専門基礎科目：解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、栄養学、 病態栄養学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、臨床心理学 関連する専門科目：看護学概論Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション論、基礎看護学技術演習、 日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、看護過程論入門、看護過程展開論演習、 治療援助学演習、その他各看護学総論、ヘルスアセスメント
成績評価方法・基準	実技試験（５０％）　ワークシート（５０％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	演習内容に沿った教科書の該当ページ、動画（指示があった場合）、配布資料を熟読したうえで臨むこと。提出課題に計画的に取り組むこと。 【準備学習に必要な学習時間の目安】 １コマあたり１時間の予習・復習が必要。
教科書・参考書	教科書１：「系統看護学講座　専門　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学２」茂野香おる他編 （医学書院） 教科書２：「基礎・臨床看護技術　第３版」任和子他編　（医学書院）
オフィス・アワー	【萩原一美】授業の前後の時間（研究室） 【堀込由紀】授業の前後の時間（研究室） 【長嶺めぐみ】授業の前後の時間（研究室） 【千葉今日子】授業の前後の時間（研究室） 【森田綾子】授業の前後の時間（研究室） 【佐藤美保】授業の前後の時間（研究室）
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-b～e、Ⅲ-10-A-h～j、Ⅲ-11-A-f、Ⅲ-11-A-h、Ⅲ-11-A-l～m、Ⅲ-11-A-o～p、Ⅳ-13-C ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-5-C-b、Ⅰ～Ⅲ-11-B-g ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅲ-4-A-a ≪基礎看護学≫-Ⅱ-3-E、Ⅱ-5-A-a、Ⅱ-5-A-c、Ⅱ-5-A-f
履修条件・履修上の注意	演習では、実習用ユニフォーム、ナースシューズ、名札を着用し、身だしなみを整えること。 演習の内容を復習し、臨むこと。 課題提出に計画的に取り組み、提示された期日までに提出すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施あり（体験学習）
実務経験のある教員による授業	
実務経験	森田 綾子（看護師）、萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、長嶺めぐみ（看護師）、千葉今日子（看護師）、佐藤 美保（看護師）
授業の概要	授業科目「ヘルスアセスメント」の学習をふまえ、対象者の健康と生活の情報を把握し、人間の身体的・心理的・社会的側面をアセスメントするために必要な技術・プロセス・態度を習得する。また、解剖生理学、病態生理学の基本的知識に基づき、看護に必要となる対象者の身体的な情報について、五感を駆使して収集する方法を系統別に学び、アセスメントに必要な技術・プロセス・態度を習得する。バイタルサイン測定、器官系統別ヘルスアセスメントの技術を演習により修得する。

講義科目名称： 看護過程論入門　　授業コード： 4N068

英文科目名称： Introduction to Nursing Process Theory　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀込 由紀			

授業形態	講義8回	担当者
授業計画	第1回　ガイダンス　看護過程とは、 看護過程の定義や看護実践における意義を学ぶ。 また、看護と情報という視点から捉えた看護過程について学ぶ。 問題解決に必要なクリティカルシンキングについて学ぶ。	堀込由紀
	第2回　看護過程における情報の捉え方 人間の反応を捉えるための看護理論と看護過程の関係性について学ぶ。	堀込由紀
	第3回　看護過程の各段階（アセスメント1） 情報の具体的な収集方法(データベース）や情報に関する倫理的配慮について学ぶ。	堀込由紀
	第4回　看護過程の各段階（アセスメント2） 対象者の情報を解釈・分析・推論・判断する方法について学ぶ。	堀込由紀
	第5回　看護過程の各段階（看護問題の明確化） 収集した情報及びアセスメント結果を関連図として図式化し、関連性を含めた全体像を捉える。 看護問題の抽出について学ぶ。看護問題の優先順位付けについて学ぶ。 看護診断についても学ぶ。	堀込由紀
	第6回　看護過程の各段階（看護計画1　期待される結果とケアプラン） 看護上の問題に関する看護目標の設定や個別性を踏まえた具体的な看護計画を立案する方法を学ぶ。立案した看護計画の評価方法について学ぶ。	堀込由紀
	第7回　看護過程の各段階（看護計画2　実施・評価） 立案した看護計画の評価方法について学ぶ。	堀込由紀
	第8回　看護記録 看護記録の意義、様式、具体的な書き方と留意点について学ぶ。 これまでの学習内容について事例を用いて知識を確認する。	堀込由紀
科目の目的	看護過程は、看護を実践するものが独自の知識体系に基づき、看護により解決できる問題を効果的に取り上げ、解決していくために系統的、組織的に行う活動である。ここでは看護過程の構成要素とその展開の方法を理解する。【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】	
到達目標	1.　看護過程の定義や構成要素について説明できる。 2.　看護が扱う情報の種類と情報収集について説明できる。 3.　患者を理解するためのアセスメントの方法について説明できる。 4.　アセスメント結果から看護問題を抽出し、優先順位を決定する方法が説明できる。 5.　患者の個別性を反映した看護計画を立案する方法を説明できる。 6.　立案した看護計画の評価方法について説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、基礎看護技術、コミュニケーション論、看護基礎実習、日常生活援助学演習Ⅰ、日常生活援助学演習Ⅱ	
成績評価方法・基準	筆記試験（70%）、課題（20%）ミニッツペーパー（10%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	【予習】講義予定の該当ページを熟読する。 【復習】講義終了後、該当ページを熟読する。配布した資料があれば、それを熟読する。 1コマ当り予習・復習を含め90分程度の自己学習が必要である。	
教科書・参考書	【教科書】有田清子他「系統看護学講座　専門分野　基礎看護学［2］基礎看護技術Ⅰ」第18版第2刷、医学書院、2022. 【教科書】医療情報学研究所「看護がみえる　Vol.4　看護過程の展開」第1版第1刷、医療情報学研究所、2020.	
オフィス・アワー	【堀込由紀】講義の前後(312研究室)	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅳ-13-B ≪基礎看護学≫-Ⅰ-2-B、Ⅱ-3-C	
履修条件・履修上の注意	予習及び復習を行い、主体的に講義に臨むこと。	
アクティブ・ラーニングの実施	特になし	

講義科目名称： 看護過程展開論演習　　授業コード： 4N069

英文科目名称： Nursing Process Development Theory Exercise　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
千葉 今日子	萩原一美		堀込由紀	長嶺めぐみ
	森田綾子		佐藤美保	

授業形態	講義(8回)、演習(7回)	担当者
授業計画	第1回　ガイダンス、事例紹介(A氏)、情報収集／講義 事例(A氏)の紹介と情報収集について学ぶ。	千葉今日子
	第2回　医学情報の整理、アセスメント①／講義 事例(A氏)の医学情報の整理について学ぶ。 紙上患者(A氏)のアセスメントについて学ぶ。	千葉今日子
	第3回　アセスメント②／講義 事例(A氏)のアセスメントについて学ぶ。	千葉今日子
	第4回　看護問題／講義 事例(A氏)の看護問題について学ぶ。	千葉今日子
	第5回　関連図、問題リスト／講義 事例(A氏)の全体像を捉え、関連図を作成する方法について学ぶ。 紙上患者(A氏)の問題リストを作成し、看護診断の優先順位の考え方について学ぶ。	千葉今日子
	第6回　看護計画立案／講義 事例(A氏)の看護問題の計画立案（目標設定・実施計画）について学ぶ。 紙上患者(A氏)の看護援助計画の記載方法について学ぶ。	千葉今日子
	第7回　評価、経過記録①／講義 事例(A氏)の看護計画の評価について学ぶ。 実施した看護における看護記録の書き方を学ぶ。	千葉今日子
	第8回　経過記録②、事例紹介（B氏）／講義 事例(A氏)の経過記録の書き方について学ぶ。 紙上患者(B氏)の情報収集をする。	千葉今日子
	第9回　事例展開①(個人ワーク)／演習 事例(B氏)の看護過程を個人ワークにて展開し、情報からアセスメント、看護問題を導く。	千葉今日子
	第10-12回　事例展開②③④(グループワーク①②③)／演習 個人ワークにて抽出した看護問題をグループワークにて検討し、期待される結果と実施計画の立案をする。 プレゼンテーション資料を準備する。	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 森田綾子 佐藤美保
	第13-14回　プレゼンテーション／演習 事例(B氏)の看護問題、期待される結果、看護計画、実施について発表し、個別性のある看護過程展開のについて共有し、討議する。	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 森田綾子 佐藤美保
	第15回　既出事項のまとめ／演習 プレゼンテーションした看護実践の結果を評価・修正する。 看護過程展開における知識を確認し、自己の課題を明確にする。	千葉今日子
科目の目的	看護過程は、看護を実践する者が独自の知識体系に基づき、看護により解決できる問題を効果的に取り上げ、解決していくために系統的、組織的に行う活動である。ここでは講義・演習を繰り返しながら科学的思考、問題解決思考をもとに看護過程における思考の方法を学習し、対象者のニーズに応じた看護援助を意図的、科学的に行っていく技術を修得する。 また理論的枠組みを活用した対象者の情報の整理・記録の方法を修得する。 【看護の実践】	
到達目標	1. 事例の情報の整理を行い、得られた事実に関するアセスメント（解釈・判断）ができる。 2. 事例のアセスメント結果から看護問題を導き、優先順位が設定できる。 3. 事例の患者目標を設定し、個別性のある看護計画が立案できる。 4. 立案した事例の看護計画を発表できる。 5. 発表した看護計画の評価・修正ができる。	
関連科目	専門基礎科目群：解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生化学、病理学、臨床病態学Ⅰ、免疫・感染症学、薬理学、臨床検査学、栄養学(含食品学)、発達心理学、臨床心理学、歯科保健、リハビリテーション概論	

	専門科目群：看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、看護援助学概論、日常生活援助学演習、看護過程論、治療援助学演習、成人看護学概論
成績評価方法・基準	看護過程課題(A氏15%、B氏60%)、プレゼンテーション（15%）、ミニッツペーパーの提出状況(10%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	【準備学習の内容】 ・予習：次回の講義内容に沿った教科書の該当ページを熟読する。 予習課題を前回の講義時に提示する。予習課題の解説は講義冒頭に実施する。 ・復習：解説を参考に予習課題の修正をし、提出課題を完成させていく。 【学習に必要な時間の目安】 ・予習・復習を合わせ、1コマあたり60分程度
教科書・参考書	教科書1：「系統看護学講座　専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅰ基礎看護学②」茂野香おるほか(医学書院) 教科書2：「看護技術がみえるvol.4看護過程の展開」医療情報科学研究所編(メディックメディア) 参考書1：「系統看護学講座　専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ基礎看護学③」任和子ほか(医学書院) 参考書2：「根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術」任和子ほか(医学書院)
オフィス・アワー	【千葉今日子】授業の前後(研究室) 【萩原一美】授業の前後(研究室) 【堀込由紀】授業の前後(研究室) 【長嶺めぐみ】授業の前後(研究室) 【森田綾子】授業の前後(研究室) 【佐藤美保】授業の前後（研究室）
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅳ-13-B ≪基礎看護学≫-Ⅱ-3-C
履修条件・履修上の注意	各回で提示される予習課題および提出課題に主体的に取り組み、準備を整えて授業に臨むこと。
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習　グループワーク
実務経験のある教員による授業	
実務経験	千葉今日子（看護師）、萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、長嶺めぐみ（看護師）、森田 綾子（看護師）、佐藤 美保（看護師）
授業の概要	本科目では、看護の対象者のニーズに応じた看護援助を意図的・科学的に行っていくための、紙上事例を教材として活用し授業を進めていく。講義では科目名「看護過程入門」の知識をもとに、紙上事例の対象理解をするための情報の整理・分析を行う。演習では、アセスメント、看護診断、看護援助計画立案、看護援助実施、評価までの過程を、対象者の状況に合わせ個別性を踏まえた看護過程展開を行う。

講義科目名称： 治療援助学演習　　授業コード： 4N070

英文科目名称： Practice in Therapeutical Nusing Care　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
長嶺めぐみ	萩原一美		堀込由紀	千葉今日子
	森田綾子		佐藤美保	

授業形態	講義（9回）、演習（14回）		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス、創傷管理　感染予防技術　（講義） 創傷管理の方法と根拠について理解する。基本的な感染予防対策について学習する。	長嶺めぐみ
	第2回	排泄に伴う治療援助技術　導尿・浣腸(講義) 排泄に関連した治療援助技術(導尿・浣腸）についての根拠と手順、管理について学ぶ。	長嶺めぐみ
	第3・4回	創傷管理　感染予防技術　（演習） 創傷管理及び感染予防技術に関する技術(包帯法・滅菌物の取り扱い等)を習得する。	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保
	第5・6回	排泄に伴う治療援助技術　導尿・浣腸(演習) 排泄に関連した治療援助技術(導尿・浣腸）についての技術を習得する。	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保
	第7回	検査時の看護　検体検査　①尿・便・喀痰、②血液検査、③穿刺　　（講義） 検査における看護師の役割について学ぶ。検査の分類と留意事項について学ぶ。 尿・便・喀痰検査、血液検査及び穿刺の目的と概要及び看護について学習する。	長嶺めぐみ
	第8・9回	静脈血採血(演習) 安全で正確な静脈血採血の方法を習得する。	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保
	第10回	生体検査　①内視鏡検査、②呼吸機能検査、③心電図、④画像検査　　（講義） 内視鏡検査・呼吸機能検査・心電図検査・画像検査の目的と概要及び看護について学習する。	長嶺めぐみ
	第11回	与薬管理　①薬剤の影響と取り扱い方法、②経口与薬　（講義） 与薬に関する法律、安全管理、薬物動態、投与方法について学習する。	長嶺めぐみ
	第12回	与薬管理　③外用薬、④静脈内注射(講義) 外用薬の種類、投与手順と根拠について学ぶ。静脈内注射の根拠と手順・管理について学ぶ。	長嶺めぐみ
	第13回	与薬管理　⑤筋肉内注射、⑥皮下注射、⑦皮内注射　（講義） 筋肉内・皮下・皮内注射の根拠と実施手順について学習する。	長嶺めぐみ
	第14・15回	筋肉内注射・皮下注射　（演習） 筋肉内注射・皮下注射の手順と観察点を習得する。	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保
	第16回	呼吸管理　呼吸機能の評価、呼吸調整法(講義) 呼吸調整法（ネブライザーの使い方、酸素吸入、体位ドレナージ等）と看護のポイントについて学習する。	長嶺めぐみ

	第17回	呼吸管理：呼吸調整法(演習) 呼吸調整法（ボンベの取り扱い・酸素吸入）の技術を習得する。	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保
	第18回	看護過程復習　事例展開①　治療を受ける患者の看護援助計画立案(講義) 治療を受ける患者の看護について既習の知識・技術を振り返る。設定された看護援助場面で、安全安楽な看護援助を検討し、看護援助計画を立案する。個人の援助計画をもとにグループワークによる看護援助計画を立案する。	長嶺めぐみ
	第19回・20回	事例展開②③GW：援助計画立案～援助計画の修正(演習) GWにて看護援助計画を立案し、演習を通して計画の見直し、ロールプレイング形式の発表準備を行う。	長嶺、萩原、堀込、千葉、森田
	第21回	ロールプレイ発表①(演習) 事例に適した安全で安楽な援助に関するロールプレイを発表し、評価を受けることで学習を深める。	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保
	第22回	事例展開④GW：援助計画の修正(演習) 教員や模擬患者などからフィードバックを受け、立案した計画の修正を行う。	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保
	第23回	ロールプレイ発表②(演習) 修正した計画をもとに、再度安全で安楽な援助に関するロールプレイを発表し、学習を深める。	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保

科目の目的	対象者のニーズに応じた診療に伴う看護援助の方法とその根拠を理解する。 設定された看護援助場面で、これまで学習してきた知識・技術を統合し、安全安楽を考慮した適切な援助を考え、実践することができる。【対象の理解】【看護の実践】
到達目標	１．診療に伴う看護援助の方法とその根拠を説明することができる ２．治療・検査を受ける人の心理を推察し、必要な援助を考えることができる。 ３．治療を受ける患者に対して、個別性のある適切な援助を実施することができる。
関連科目	関連する教養科目…心理学、生命倫理、環境学 関連する専門基礎科目…解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学、生化学、疾病の成り立ち、免疫・感染症学、薬理学、栄養学、病態栄養学、臨床心理学 関連する専門科目…看護学概論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、看護過程論、コミュニケーション論、その他各看護学総論
成績評価方法・基準	筆記試験(40%)、ロールプレイ(30%)、ワークシート・ミニッツペーパー(30%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿った教科書該当ページを熟読して講義に臨むこと。 演習内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、演習内容を把握してイメージトレーニングの上、授業に臨むこと。 提出課題に取り組むこと。 【準備学習に必要な学習時間の目安】 1コマ当たり30分の準備学習と30分の復習が必要。
教科書・参考書	教科書1：「根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術」第3版(医学書院)
オフィス・アワー	【長嶺】担当授業の前後(長嶺研究室) 【萩原】担当授業の前後(萩原研究室) 【堀込】担当授業の前後(堀込研究室) 【千葉】担当授業の前後(千葉研究室) 【森田】担当授業の前後(森田研究室) 【佐藤美】担当授業の前後(佐藤美研究室)
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-k、Ⅲ-11-A-i、Ⅲ-11-C-a～b、Ⅲ-11-C-d、Ⅲ-12-B-b～c、Ⅳ-14-B-b～c、Ⅳ-15-B-b、Ⅳ-15-C-e～h、Ⅳ-16-B～D、Ⅳ-16-E-a～e、Ⅳ-16-G-a ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅱ-3-B-a～b、Ⅲ-4-A-b、Ⅲ-4-B-a、Ⅲ-4-B-c ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅳ-11-D-c ≪基礎看護学≫-Ⅱ-3-F-c～d、Ⅱ-3-G-b、Ⅱ-3-G-d～e、Ⅱ-5-A-b、Ⅱ-5-A-d、Ⅱ-5-C～D、Ⅱ-5-F-a～b、Ⅱ-5-F-d

履修条件・履修上の注意	演習では、実習用ユニフォーム(ナースウェア、ナースシューズ、名札)を着用して臨むこと。 身だしなみを整えること。 事前に演習内容について把握し該当講義内容を復習して臨むこと。 提出課題に取り組み、提示された期日までに提出すること。
アクティブ・ラーニングの実施	演習では、積極的に事前学習や発表に向けた自己練習に取り組むことで、自身の課題に気づき、それを改善するための方法を考えることを期待する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	長嶺めぐみ（看護師）、萩原 一美（看護師）、掘込 由紀（看護師）、千葉今日子（看護師）、森田 綾子（看護師）、佐藤 美保（看護師）
授業の概要	医療現場において治療・処置に伴う看護援助は、安全かつ正確であることが求められる。また、治療・処置を必要とする対象者の身体状況や療養生活・療養行動をアセスメントし、対象者に応じた援助を計画、実施することは看護師が日々実施する主な看護業務である。本科目では与薬管理、呼吸管理、検査・処置時の援助といった基本的な治療・処置に伴う看護援助を安全かつ正確に提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

講義科目名称： 基礎看護学特論　　授業コード： 4N071

英文科目名称： Advanced Fundamental Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀込 由紀			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 地域・在宅看護学概論　　授業コード： 4N072

英文科目名称： Introduce to Commnity and Home Care Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤　基			

授業形態	講義（６回）、演習（２回）	担当者
授業計画	第１回　人々の暮らしと地域・在宅看護 地域・在宅看護の社会的背景・現状、人々の暮らしの理解、地域・在宅看護の基盤となる考え方、地域・在宅看護に求められる役割	齋藤
	第２回　暮らしの基盤としての地域の理解 暮らしと地域、暮らしと地域を理解するための考え方、地域ケアシステムと地域共生社会	齋藤
	第３回　地域・在宅看護の対象者① 地域の多様性からみた対象者、ライフステージからみた対象者、健康レベルからみた対象者	齋藤
	第４回　地域・在宅看護の対象者② 看護の対象者としての家族の理解、家族のライフステージの理解と看護	齋藤
	第５回　地域・在宅看護の対象者③ 「対象者・家族の事例」に関するグループワーク	齋藤
	第６回　地域・在宅看護の対象者④ グループワーク結果発表・まとめ	齋藤
	第７回　地域における暮らしを支える看護 地域における対象者への看護、地域における家族への看護、地域におけるライフステージに応じた看護	齋藤
	第８回　地域・在宅看護に関わる制度 訪問看護ステーションに関する規程、利用者、訪問回数、利用までの手順、費用、訪問看護サービスの提供	齋藤
科目の目的	地域・在宅看護が求められている社会的背景・現状を踏まえ、地域・在宅看護の対象者である療養者及びその家族の「生活の場」における地域・在宅看護の目的、役割を思考し、地域・在宅看護の展開方法を理解する。また、地域・在宅看護の提供における法的根拠を理解する。【対象の理解】【国際的な視野】	
到達目標	１．地域・在宅看護が必要とされる社会的背景、現状について説明できる。 ２．地域・在宅看護の対象である人々の暮らし及び地域について説明できる。 ３．地域・在宅看護の基盤となる考え方及び役割について説明できる。 ４．地域・在宅看護の対象である療養者とその家族について説明できる。 ５．地域における暮らしを支える看護について説明できる。 ６．地域・在宅看護に関わる訪問看護制度について説明できる。	
関連科目	看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、看護学への誘い、成人看護学総論、老年看護学総論、精神保健、多職種理解と連携	
成績評価方法・基準	定期試験（60%）、ワークシート評価（20%）、グループワーク評価（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	人口構造の変化、国民の健康意識、保健・医療・福祉の現状、ライフサイクル上の発達課題などから、地域・在宅看護の必要性との関連性について事前学修し、知識を得ておく。概ね90分程度の事前学修が必要である。	
教科書・参考書	教科書：「系統看護学講座　地域・在宅看護論［１］地域・在宅看護の基盤」河原加代子（医学書院） 参考書：「ナーシンググラフィカ　地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア　第7版」臺有桂（メディカ出版）	
オフィス・アワー	月曜日　昼休み　齋藤研究室	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫－Ⅰ-3-A-c、Ⅰ-3-B、Ⅱ-9-A-c、Ⅰ-3-A-e ≪健康支援と社会保障制度≫－Ⅰ-1-A、Ⅰ-1-B-a、Ⅰ-1-B-c、Ⅰ-2-A-b、Ⅰ-2-A-c、Ⅱ-4-B-c～e、Ⅱ-4-C、Ⅱ-5-G、Ⅳ-11-C-c、Ⅳ-11-C-e ≪在宅看護論／地域・在宅看護論≫－Ⅰ-1-A～B、Ⅰ-2-A～D、Ⅰ-4-B-e、Ⅱ-5-B-a～c、Ⅲ-9-A～B	
履修条件・履修上の注意	講義資料は、前回授業翌日から当該授業日までの間にActive Academy Advanceにアップロードするので、各自印刷して授業に臨んでください。	
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク、プレゼンテーション	

講義科目名称： 地域・在宅看護方法論　　授業コード： 4N073

英文科目名称： Home and Community-based Care Nursing Methods　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
齋藤　基	反町　真由		林　恵	

授業形態	講義11 演習4		担当者
授業計画	第1回	地域包括ケアシステム１（講義） 地域包括ケアシステム、地域包括支援センター	齋藤
	第2回	地域・在宅看護マネジメント1（講義） 療養の場の移行に伴う看護、入退院時の連携	齋藤
	第3回	多職種で連携する在宅療養（講義） 地域・在宅看護実践のおもな場、多職種連携・多職種チームでの協働	齋藤
	第4回	地域・在宅看護に関わる制度1（講義） 介護保険制度①	齋藤
	第5回	地域・在宅看護に関わる制度2（講義） 介護保険制度②	齋藤
	第6回	地域・在宅看護に関わる制度3（講義） 医療保険制度、医療提供体制、権利保障に関する法制度	齋藤
	第7回	地域包括ケアシステム２（演習） 地域包括ケアシステムによる多職種連携を考える	齋藤・反町・林
	第8回	地域・在宅看護を支える制度4（講義） 障がい者・難病・公費負担医療に関する法制度	林
	第9回	地域・在宅看護を支える制度5（講義） 訪問看護制度①	林
	第10回	地域・在宅看護に関わる制度6（講義） 訪問看護制度②	林
	第11回	多職種連携の実際（講義） ゲストスピーカー：理学療法士の立場から　業務と多職種連携・協働の実際	齋藤
	第12回	地域・在宅看護マネジメント2（講義） その他の地域・在宅看護マネジメント、暮らしの保健室	齋藤
	第13回	事例から学ぶ社会資源のマネジメントの実際1（演習） グループワーク 模擬事例から考える社会資源のマネジメントと訪問看護師の役割	齋藤・反町・林
	第14回	事例から学ぶ社会資源のマネジメントの実際2（演習） グループワーク 模擬事例から考える社会資源のマネジメントと訪問看護師の役割	齋藤・反町・林
	第15回	事例から学ぶ社会資源のマネジメントの実際3（演習） グループ発表、評価、まとめ	齋藤・反町・林
科目の目的	在宅看護の対象である療養者と家族について理解を深め、在宅看護活動の特質について学ぶ。また、在宅療養継続のために、退院調整、療養環境整備、在宅療養を支える社会資源の活用についてその方法を学び、それらを有効に機能させるためのケアマネジメント及び多職種連携の方法、地域で療養者・家族を支えるケアシステムについて学ぶ。 ディプロマポリシー【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探求】		
到達目標	１．在宅ケアを支える制度や社会資源を知り、その活用方法を説明できる。（医療保険制度、介護保険制度、障害者総合支援法、難病施策、小児慢性疾患施策など） ２．在宅ケアにおけるケアマネジメントや関係機関・関係職種間の連携を説明できる。 ３．現在の訪問看護制度の基本を説明できる。 ４．退院支援・調整における訪問看護師の役割を学び、訪問看護師が行う在宅療養移行支援について説明できる。		
関連科目	地域・在宅看護学概論、成人看護学総論、老年看護学総論、精神保健		
成績評価方法・基準	筆記試験（80%）グループワーク評価（20%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習においては、テキストの該当ページを熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。復習においては、講義資料、参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。また、主体的に演習に参加すること。（約30分程度予習をして授業に臨んでほしい）		
教科書・参考書	教科書:「系統看護学講座　地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤」河原加代子（医学書院） 「系統看護学講座　地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践」河原加代子（医学書院） 参考書:「ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア」臺有桂（メディカ出版）		
オフィス・アワー	専任教員：火曜日昼休み（齋藤・反町・林研究室） 非常勤講師：当該講師の講義終了後（場所：教室または非常勤講師控室）		
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-3-A-a、Ⅰ-3-A-c、Ⅰ-3-B、Ⅰ-4-A-d、Ⅰ-4-A-f、Ⅰ-4-C-c、Ⅱ-9-A-c～e、Ⅱ-9-A-i～j		

	≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅰ-2-A-b、Ⅱ-3-B-c、Ⅱ-4-B-b～f、Ⅱ-4-C、Ⅱ-5-D、Ⅱ-5-E-b、Ⅱ-5-G、Ⅳ-11-C-a～c、Ⅳ-11-C-e ≪成人看護学≫-Ⅲ-6-D-b～c ≪在宅看護論／地域・在宅看護論≫-Ⅰ-2-C-d～e、Ⅰ-2-D、Ⅰ-4-B-e、Ⅱ-5-B、Ⅱ-6-A～C、Ⅲ-8-A-a～d、Ⅲ-8-B-a～d、Ⅲ-8-C-a～d、Ⅲ-8-D-a～d、Ⅲ-8-E-a～d、Ⅲ-8-F-a～d、Ⅲ-9-A～B
履修条件・履修上の注意	講義資料は，概ね講義の１週間前までにActive Academyにて配布するので，各自ダウンロードまたは印刷して講義に臨んでください。
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ワーク、ケーススタディ、プレゼンテーション

講義科目名称： 地域・在宅看護展開論　　授業コード： 4N074

英文科目名称： Development Theory in Home and Community-based Care Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤　基	反町　真由	林 恵	

授業形態	講義10　演習5	担当者
授業計画	第1回　在宅看護過程演習1（講義） 地域・在宅看護の看護展開について、暮らしの場で看護をするための心がまえ	齋藤
	第2回　在宅療養者の状態別看護1（講義） 認知症療養者の事例展開	齋藤
	第3回　在宅療養者の状態別看護2（講義） 呼吸器疾患の療養者の事例展開	齋藤
	第4回　在宅療養者の状態別看護3（講義） ALS・パーキンソンの療養者の事例展開	林
	第5回　在宅療養者の状態別看護4（講義） 心不全・糖尿病の療養者の事例展開	齋藤
	第6回　在宅療養者の状態別看護5（講義） 精神疾患の療養者の事例展開	齋藤
	第7回　在宅療養者の状態別看護6（講義） がん・終末期の療養者の事例展開	齋藤
	第8回　在宅療養者の状態別看護7（講義） 医療的ケア児の事例展開	林
	第9回　在宅療養者の状態別看護8(講義) ゲストスピーカー：褥瘡ケア・ストーマ管理・スキンテアの予防	齋藤
	第10回　在宅療養者の状態別看護9（講義） 地域・在宅における時期別の看護、演習についてのオリエンテーション、事前課題について説明、配布	林
	第11回　在宅看護過程演習2（演習） [シミュレーション]脳梗塞療養者の情報収集①	齋藤・反町・林
	第12回　在宅看護過程演習3（演習） [シミュレーション]脳梗塞療養者の情報収集② [個人ワーク]アセスメント	齋藤・反町・林
	第13回　在宅看護過程演習4（演習） [個人ワーク]問題抽出、計画立案	齋藤・反町・林
	第14回　在宅看護過程演習5（演習） [グループワーク]問題抽出、計画立案	齋藤・反町・林
	第15回　在宅看護過程演習6（演習） ケアプラン発表会、まとめ	齋藤・反町・林
科目の目的	特殊な看護技術を伴う各種事例を通して、在宅の場の特徴をふまえ、在宅療養者と家族の個別性に配慮した支援の方法について学ぶ。また、療養者・家族の自律性、セルフケア能力を高めるための教育的支援方法を学ぶ。さらに、在宅看護の対象者を「生活者」としてとらえた看護計画の立案など在宅看護の特性を生かした看護過程の展開を演習を通して学ぶ。 ディプロマポリシー【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探求】	
到達目標	1.対象特性に応じたアセスメントができる。 2.在宅における療養者とその家族の生活上の課題を検討できる。 3.在宅療養者とその家族の状況に応じた生活支援や医療管理の方法を検討できる。 4.生活の場における特徴をふまえ、療養者とその家族が望む在宅療養における看護過程を展開し、看護計画の立案ができる。	
関連科目	地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護方法論、看護過程論入門、看護過程展開論演習、成人看護方法論、高齢者の健康と障害	
成績評価方法・基準	筆記試験（70%）、看護過程ワークシート（30%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習においては、テキストの該当ページを熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。復習においては、講義資料、参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。また、主体的に演習に参加すること。（約30分程度予習をして授業に臨んでほしい）	
教科書・参考書	教科書:「系統看護学講座　地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤」河原加代子（医学書院） 「系統看護学講座　地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践」河原加代子（医学書院） 参考書:「ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論②　地域療養を支える技術」臺有桂（メディカ出版） 「看護診断ハンドブック」（医学書院）	
オフィス・アワー	専任教員：講義日昼休み（齋藤・反町・林研究室） 非常勤講師：当該講師の講義終了後（場所：教室または非常勤講師控室）	

国家試験出題基準	【看護師】 ≪基礎看護学≫-Ⅱ-3-C-a～c、Ⅱ-3-I-a～c、Ⅱ-5-B-d ≪在宅看護論／地域・在宅看護論≫-Ⅱ-5-A、Ⅱ-7-A～F
履修条件・履修上の注意	講義資料は，概ね講義の１週間前までにActive Academyにて配布するので，各自ダウンロードまたは印刷して講義に臨んでください。
アクティブ・ラーニングの実施	シミュレーション、グループ・ワーク、ケーススタディ、グループディスカッション

講義科目名称： 地域・在宅看護学演習　　授業コード： 4N075

英文科目名称： Practice in Home and Community-based Care Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
反町 真由			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 地域・在宅看護学特論　　授業コード： 4N076

英文科目名称： Advance Home and Community-based Care Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
齋藤　　基			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 成人看護学総論　　授業コード： 4N077

英文科目名称： Introduction to Adult Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
萩原 英子	金子吉美		小池菜穂子	

授業形態	講義(8回)	担当者
授業計画	第1回　成人と生活 成人看護の対象となる大人の生活の特徴について学習する。 keywords：生活様式、家族形態と機能、社会状況の変化、成人の健康の特徴	萩原英子
	第2回　成人各期の特徴と健康問題 成人各期（青年期、壮年期・中年期、向老期）における発達課題と身体的・心理的・社会的特徴について学習する。また、成人の健康の状況について学習する。 keywords：成人各期の身体的・心理的・社会的特徴、就労と疾病の関連	萩原英子
	第3回　成人の健康と保健・医療・福祉システム 成人の健康を守る保健・医療・福祉システムの概要について学習する。 keywords：保健・医療・福祉システム、健康増進と生活習慣病の予防	萩原英子
	第4回　健康をおびやかす要因と看護 生活行動がもたらす健康問題とその予防方法について学習する。 keywords：生活習慣と健康、ストレスと健康、職業性疾病	金子吉美
	第5回　成人への看護アプローチの基本 チームアプローチにおける看護師の役割、看護実践における倫理的判断、意志決定支援、家族支援について学習する。 keywords：倫理的判断、意思決定支援、家族支援	金子吉美
	第6回　海外における成人看護 諸外国における成人保健及び成人看護の実際について学習する。 keywords：諸外国に特徴的な健康問題、諸外国の保健・医療・福祉システム	小池菜穂子
	第7回　成人の健康障害と看護① がんとともに生活する人の講義を受けて、急激な健康破綻に陥った患者に対する看護について考える。 〔guest speaker:がん患者〕 keywords：治療の意思決定、抗がん剤治療、ピアサポート	萩原英子
	第8回　成人の健康障害と看護② 難病とともに生活する人の講義を受けて、慢性的な健康状態の揺らぎを持つ患者に対する看護について考える。 〔guest speaker:難病患者〕 keywords：生活の再構築、セルフケア、患者会	萩原英子
科目の目的	成人看護の対象である成人期にある人々の特徴と健康問題を理解し、健康の保持・増進および健康障害を持った人々への看護のあり方を考察する。 (ディプロマポリシー【対象の理解】【国際的な視野】)	
到達目標	１．成人期にある人々の身体的・心理的・社会的特徴と健康問題について説明できる。 ２．国内外の成人保健の動向と保健・医療・福祉システムについて説明できる。 ３．成人期にある人々への基本的な看護アプローチの方法を説明できる。 ４．健康障害を持ちながら生活する成人に対する看護アプローチについて、自分の考えを述べることができる。	
関連科目	成人看護方法論、慢性期看護論、周術期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学演習、成人看護学実習、成人看護学特論、救急看護、看護学概論Ⅰ、老年看護学総論、公衆衛生学、臨床看護基盤実習	
成績評価方法・基準	定期試験(期間外/筆記試験)90%、期末レポート10%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習及び復習に必要な学習時間は90分である。 準備学習として、授業計画欄に記載しているkeywordsに基づき、教科書を事前に読んでくること。 また復習として、講義終了後(ゲストスピーカーの講義以外)は、教科書や配布した資料をよく読み、理解できたか確認をすること。	
教科書・参考書	教科書： 「系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学総論　成人看護学①」医学書院 参考書： 「国民衛生の動向　厚生の指標　2022/2023年版」	

オフィス・アワー	萩原英子(研究室306)：講義開講日の12:10～13:00 金子吉美(研究室307)：講義開講日の12:10～13:00 小池菜穂子(研究室308)：講義開講日の12:10～13:00 ゲストスピーカー(非常勤講師室)：講義終了後の20分間
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-1-B～C、Ⅰ-2-A-f～h、Ⅰ-2-C、Ⅰ-4-A-c～d、Ⅱ-7-F、Ⅱ-8-A～B、Ⅱ-9-A-i、Ⅲ-11-B-a～b、Ⅲ-12-A-b ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅰ-1-A-a、Ⅰ-1-A-c、Ⅰ-2-A-b～c、Ⅳ-8-B-a ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅰ-1-A、Ⅰ-1-B-a、Ⅰ-1-B-e、Ⅰ-1-C、Ⅲ-6-D-c～h、Ⅲ-8-A-b～c、Ⅲ-8-A-e、Ⅲ-9-A-c、Ⅲ-9-E-a、Ⅲ-10-A-a～d、Ⅲ-10-A-g、Ⅲ-10-B ≪基礎看護学≫-Ⅰ-1-B-b、Ⅰ-1-C-c～d、Ⅰ-1-C-f、Ⅰ-2-C-c、Ⅱ-3-B、Ⅲ-6-B-a～b ≪成人看護学≫-Ⅰ-1-A～C、Ⅰ-2-A～C、Ⅴ-8-C-d
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業(他の科目の学習等)は禁止する。 ゲストスピーカーの方に対しての礼節を忘れずに講義に臨むこと。 講義で必要な資料は、各講義中に配布する。
アクティブ・ラーニングの実施	Minute Paper(双方向)

講義科目名称： 成人看護方法論　　授業コード： 4N078

英文科目名称： Adult Nursing Methods　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
堀越 政孝	萩原英子		金子吉美	

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	慢性期にある人の特徴と看護 慢性的な健康状態の揺らぎを持つ患者とその家族の特徴と看護について学ぶ。 〔キーワード〕慢性疾患、セルフケア、セルフマネジメント、就労・社会参加支援	堀越政孝
	第2回	急性期にある人の特徴と看護 急激な健康破綻に陥った人とその家族の特徴と看護について学ぶ。 〔キーワード〕急性疾患、急性増悪、手術療法	萩原英子
	第3回	リハビリテーション期にある人の特徴と看護 障害を持ちながら生活する人の特徴とその看護支援と看護について学ぶ。 〔キーワード〕リハビリテーション、ADL、補助具・自助具	萩原英子
	第4回	人生の最後のときを過ごしている人の特徴と看護 人生の最後のときを過ごしている人の特徴とその看護について学ぶ。 〔キーワード〕がん患者、慢性疾患患者、全人的苦痛、エンド・オブ・ライフ・ケア、家族ケア、意思決定支援、代理意思決定、予期的悲嘆、脳死	堀越政孝
	第5回	退院支援・退院調整 退院支援・退院調整の必要性と具体的な支援方法について学ぶ。 〔キーワード〕退院支援、退院調整、多職種連携、社会資源、居住環境	堀越政孝
	第6回	治療と看護① 薬物療法を受ける患者の看護 〔キーワード〕がん、化学療法、内分泌療法、分子標的療法、有害事象	萩原英子
	第7回	治療と看護② 放射線療法を受ける患者の看護 〔キーワード〕がん、放射線療法、有害事象	堀越政孝
	第8回	治療と看護③ 食事療法・運動療法を受ける患者の看護 〔キーワード〕食事療法、運動療法	萩原英子
	第9回	症状マネジメント 症状体験とその理解、症状マネジメントにおける看護師の役割、 症状マネジメントの考え方 〔キーワード〕症状アセスメント・マネジメント	堀越政孝
	第10回	症状とその看護①（全身症状） 貧血、出血傾向、易感染のある対象の症状マネジメント （発生のメカニズム、アセスメント、看護支援） 〔キーワード〕貧血、出血傾向、易感染	萩原英子
	第11回	症状とその看護②（疼痛） 疼痛のある対象の症状マネジメント (発生のメカニズム、アセスメント、看護支援（補完代替療法を含む）) 〔キーワード〕疼痛、集学的治療	堀越政孝
	第12回	症状とその看護③（消化器症状） 悪心/嘔吐、下痢/便秘、腹部膨満感のある対象の症状マネジメント （発生のメカニズム、アセスメント、看護支援） 〔キーワード〕悪心/嘔吐、下痢/便秘、腹部膨満感	金子吉美
	第13回	症状とその看護④（呼吸器症状） 呼吸困難、喘鳴、咳、痰のある対象の症状マネジメント （発生のメカニズム、アセスメント、看護支援） 〔キーワード〕呼吸困難、喘鳴、咳、痰、動脈血液ガス分析	堀越政孝
	第14回	症状とその看護⑤（脳・神経症状） 意識障害、頭痛、めまいのある対象の症状マネジメント （発生のメカニズム、アセスメント、看護支援） 〔キーワード〕意識障害、頭痛、めまい	金子吉美

	第15回　　症状とその看護⑥（腎・泌尿器症状） 浮腫、脱水のある対象の症状マネジメント （発生のメカニズム、アセスメント、看護支援） 〔キーワード〕浮腫、脱水	堀越政孝
科目の目的	様々な健康レベルにある成人の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、健康レベルに応じた看護支援のあり方を考察する。 【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】	
到達目標	1. 様々な健康レベルにある成人の身体的・精神的・社会的特徴を説明できる。 2. 様々な健康レベルにある成人に対する特徴的な看護支援について説明できる。 3. 健康障害に伴い生じる様々な症状や健康障害に対する治療を理解し、その看護について説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、病態栄養学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、免疫・感染症学、臨床検査学、発達心理学、臨床心理学、成人看護学総論、慢性期看護論、周術期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学演習、成人看護学実習、統合実習	
成績評価方法・基準	筆記試験100％：中間試験50％、期末試験50％を合算した結果で合否を判定する。 中間試験および期末試験の合算で、60％に満たない学生は再試験の対象とする。 ※中間試験は第1～7回を試験範囲とし、定期試験は第8～15回を試験範囲とする。 　中間試験の日程は、後日連絡する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1年次に学習した内容の復習及び、本科目講義内容に該当する部分の指定教科書を読んで、1時間の準備学習をしておくこと。授業後は、必ず1時間の復習を行うこと。	
教科書・参考書	教科書 　『系統看護学講座 専門分野　臨床看護総論』（医学書院） 　『系統看護学講座 専門分野　成人看護学総論』（医学書院） 参考書 　『緊急度・重症度からみた　症状別看護過程+病態関連図』（医学書院） 　『わかる！検査値とケアのポイント』（医学書院） 　　解剖学、生理学、薬理学、病態生理学、疾病の理解等において使用した教科書および参考書	
オフィス・アワー	講義開講日の12：10～13：00。各研究室にて対応。 堀越政孝(研究室324)、萩原英子(研究室306)、金子吉美(研究室307)	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-4-A-e、Ⅱ-6-B-b～c、Ⅱ-9-A-j、Ⅲ-10-A-b、Ⅲ-10-A-f、Ⅲ-10-A-i、Ⅲ-11-A-a、Ⅲ-11-A-f、Ⅲ-11-A-h～l、Ⅲ-11-A-o～s、Ⅲ-11-A-u～v、Ⅲ-11-A-x、Ⅳ-16-B-b、Ⅳ-16-C-c ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅱ-3-B-j、Ⅲ-4-A-a、Ⅲ-4-C-b～f、Ⅳ-9-A-a ≪基礎看護学≫-Ⅱ-3-I-a～b、Ⅱ-5-C-d、Ⅱ-5-D、Ⅱ-6-A-b、Ⅱ-6-B-c ≪成人看護学≫-Ⅱ-3-A～B、Ⅱ-5-E-b～d、Ⅲ-6-D-c、Ⅲ-6-A、Ⅲ-6-B-b～c、Ⅲ-6-C、Ⅲ-6-D-a～d、Ⅳ-7-A～E、Ⅴ-8-A、Ⅴ-8-B-b～c、Ⅴ-8-C～D、Ⅵ-9-A～C、Ⅶ-10-A、Ⅶ-10-B-a～b、Ⅶ-10-C-f、Ⅶ-14-C-a、Ⅶ-15-C-e、Ⅶ-16-A-a ≪在宅看護論／地域・在宅看護論≫-Ⅱ-5-B	
履修条件・履修上の注意	準備学習や自己学習を行った上で講義に参加すること。 尚、講義において必要な資料は当日配布する。	
アクティブ・ラーニングの実施	該当なし	

講義科目名称： 慢性期看護論　　授業コード： 4N079

英文科目名称： Chronic Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
金子 吉美	萩原 英子		堀越 政孝	小池　菜穂子
	安田 弘子		湯澤 香緒里	日下田 那美

授業形態	講義（15回）		担当者
授業計画	第1回	慢性期看護総論 慢性期にある患者とその家族の特徴と看護の役割 ＜keyword＞慢性疾患の特徴、意思決定支援、セルフケア・自己管理、社会的支援	金子吉美
	第2回	呼吸器疾患患者の看護1 炎症性疾患（肺炎、気管支炎、胸膜炎）患者の特徴と看護 ＜keyword＞肺炎、気管支炎、胸膜炎、胸腔穿刺、薬物療法	堀越政孝
	第3回	呼吸器疾患患者の看護2 慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉患者の特徴と看護 ＜keyword＞COPD、呼吸機能検査、動脈血液ガス分析、酸素療法	堀越政孝
	第4回	循環器疾患患者の看護 心不全をもつ患者の特徴と看護 ＜keyword＞心不全、心電図、心血管超音波、血管造影	小池菜穂子
	第5回	消化器疾患患者の看護1 潰瘍性大腸炎、クローン病患者の特徴と看護 ＜keyword＞潰瘍性大腸炎、クローン病、上部消化管内視鏡、大腸内視鏡	金子吉美
	第6回	消化器疾患患者の看護2 急性膵炎、慢性膵炎患者の特徴と看護 ＜keyword＞膵炎、造影CT・MRI、ERCP	安田弘子
	第7回	消化器疾患患者の看護3 肝炎、肝硬変患者の特徴と看護 ＜keyword＞肝炎、肝硬変、肝生検、腹部超音波、腹腔鏡、肝庇護療法、インターフェロン療法、 食道静脈瘤内視鏡治療	安田弘子
	第8回	内分泌代謝疾患患者の看護 糖尿病患者の特徴と看護 ＜keyword＞1・2型糖尿病、OGTT、SMBG、インスリン補充療法、糖尿病経口薬、食事・運動療法	日下田那美
	第9回	血液・造血器疾患患者の看護 血液悪性疾患（悪性リンパ腫、多発性骨髄腫）患者の特徴と看護 ＜keyword＞悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄穿刺	萩原英子
	第10回	感染症患者の看護 ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症患者の特徴と看護 ＜keyword＞HIV感染症、HIV療法	萩原英子
	第11回	脳神経疾患患者の看護1 重症筋無力症患者の特徴と看護 ＜keyword＞重症筋無力症、薬物療法	金子吉美
	第12回	脳神経疾患患者の看護2 ギランバレー症候群、ALS患者の特徴と看護 ＜keyword＞ギランバレー症候群、ALS、免疫グロブリン療法、在宅療養支援	金子吉美
	第13回	膠原病患者の看護1 自己免疫疾患（SLE）患者の特徴と看護 ＜keyword＞SLE、ステロイド療法、免疫抑制薬	金子吉美
	第14回	膠原病患者の看護2 関節リウマチ患者の特徴と看護 ＜keyword＞関節リウマチ、薬物療法	金子吉美
	第15回	感覚器疾患患者の看護 突発性難聴、メニエール病患者の特徴と看護 ＜keyword＞突発性難聴、メニエール病、聴力検査、薬物療法	湯澤香緒里

科目の目的	慢性期にある患者とその家族の身体的・精神的・社会的特徴を理解するとともに、病と共に生きる人の生活を支援するための看護を習得する。 【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】
到達目標	１．慢性期にある患者とその家族の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。 ２．慢性期にある患者の病態に応じた看護について説明できる。 ３．慢性期にある患者のセルフケア・自己管理能力を高めるための看護支援方法について説明できる。
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、薬理学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護学総論、成人看護方法論、周術期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学演習、成人看護学実習
成績評価方法・基準	筆記試験100％：中間試験50％、期末試験50％を合算した結果で合否を判定する。 中間試験および期末試験の合算で、60％に満たない学生は再試験の対象とする。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習及び復習に必要な学習時間は約60分である。準備学習は「成人看護学　事前・事後学習シート」を活用し、学習を行った上で講義に参加すること。尚、「成人看護学　事前・事後学習シート」に該当がない場合は、講義内容に該当する部分の指定教科書を読んでおくこと。また、各講義終了後には復習として、教科書や講義中に配付された資料を見ながら、確実に理解できたか確認すること。
教科書・参考書	教科書： 「系統看護学講座　成人看護学①成人看護学総論」（医学書院） 「系統看護学講座　成人看護学②呼吸器」（医学書院） 「系統看護学講座　成人看護学③循環器」（医学書院） 「系統看護学講座　成人看護学④血液・造血器」（医学書院） 「系統看護学講座　成人看護学⑤消化器」（医学書院） 「系統看護学講座　成人看護学⑥内分泌・代謝」（医学書院） 「系統看護学講座　成人看護学⑦脳・神経」（医学書院） 「系統看護学講座　成人看護学⑪アレルギー 膠原病 感染症」（医学書院） 「系統看護学講座　成人看護学⑭耳鼻咽喉」（医学書院） 参考書 　解剖学、生理学、薬理学、臨床病態学等において使用したテキスト
オフィス・アワー	金子吉美（研究室307）：講義開講日の12：10～13：00 萩原英子（研究室306）：講義開講日の12：10～13：00 堀越政孝（研究室324）：講義解雇日の12：00～13：00 小池菜穂子（研究室308）：講義開講日の12：10～13：00 安田弘子（研究室301）：講義開講日の12：10～13：00 湯澤香緒里（研究室302）：講義開講日の12：10～13：00 日下田那美（研究室302）：講義開講日の12：00～13：00
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-b、Ⅲ-10-A-d～f、Ⅲ-10-A-h～j、Ⅲ-10-A-m、Ⅲ-11-A-g、Ⅲ-11-A-m、Ⅲ-12-A-c、Ⅲ-12-A-l～m ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-3-A-a、Ⅰ～Ⅲ-4-B-a、Ⅰ～Ⅲ-5-C、Ⅰ～Ⅲ-6-A、Ⅰ～Ⅲ-7-A、Ⅰ～Ⅲ-7-B-a、Ⅰ～Ⅲ-10-A～D、Ⅰ～Ⅲ-11-B-b～c、Ⅰ～Ⅲ-11-B-e～i、Ⅰ～Ⅲ-12-B、Ⅰ～Ⅲ-15-C-f ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅱ-3-B-a～b、Ⅱ-3-B-e、Ⅱ-3-C-b、Ⅲ-4-D-b、Ⅳ-5-A-a、Ⅳ-5-A-c、Ⅳ-6-A-d、Ⅳ-7-B-d、Ⅳ-7-C-a、Ⅳ-7-D-a～b、Ⅳ-8-B-b、Ⅳ-9-A-d、Ⅳ-10-A-a、Ⅳ-11-A-a～b、Ⅳ-12-A-c、Ⅳ-12-B-a、Ⅳ-12-C-b、Ⅳ-14-A-h ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅲ-7-B-f ≪基礎看護学≫-Ⅱ-5-F-a～c ≪成人看護学≫-Ⅲ-6-A～D、Ⅴ-8-B-e、Ⅶ-10-B-a～b、Ⅶ-10-B-d、Ⅶ-10-B-f、Ⅶ-10-C-a、Ⅶ-10-C-e、Ⅶ-10-C-f、Ⅶ-10-D-b～d、Ⅶ-11-B、Ⅶ-11-D-a、Ⅶ-12-A-c、Ⅶ-12-A-e、Ⅶ-12-B、Ⅶ-12-D-d、Ⅶ-13-A～B、Ⅶ-13-C-a～c、Ⅶ-13-D-a～b、Ⅶ-13-D-d、Ⅶ-15-A-d～e、Ⅶ-15-B、Ⅶ-15-C-c～e、Ⅶ-15-D-c～d、Ⅶ-16-B-c、Ⅶ-16-C-b、Ⅶ-16-C-d、Ⅶ-16-D-b～d、Ⅶ-17-D-f、Ⅶ-18-A-b、Ⅶ-18-A-f、Ⅶ-18-B-b、Ⅶ-18-D-b～c、Ⅶ-19-D-a
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォンの使用、講義と関係のない作業は禁止とする。 関連する専門基礎科目(解剖学、生理学、疾病の成り立ち)の理解が必須であるため、準備学習や自己学習を行った上で講義に参加すること。尚、講義において必要な資料は当日配付する。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 周術期看護論　　授業コード： 4N080

英文科目名称： Perioperative Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 英子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： クリティカルケア看護論　　授業コード： 4N081

英文科目名称： Critical Care Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 政孝			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 成人看護学演習　　授業コード： 4N082

英文科目名称： Practice in Adult Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
金子 吉美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 救急看護　　授業コード： 4N083

英文科目名称： Paramedic Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
小池菜穂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 成人看護学特論　　授業コード： 4N084

英文科目名称： Advanced Adult Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
萩原 英子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 老年看護学総論　　授業コード： 4N085

英文科目名称： Introduction to Gerontological Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
関妙子	傳谷典子		東泉貴子	

授業形態	講義（7回）、演習（1回）	担当者
授業計画	第1回　講義ガイダンス、ライフサイクルにおける老年期の特徴　（講義） 老いるということ、ライフサイクルにおける老年期 ※事前課題「老いに対するイメージと高齢者に対するイメージ」について 初回講義2週間前にアクティブアカデミーアドバンスを通して課題を提示する。 初回講義1週間前までにアクティブアカデミーアドバンスにて課題提出。 初回講義時に学生発表。全体的な内容について解説・講評をする。	関　妙子
	第2回　高齢社会と高齢者の生活（講義） 統計からみる高齢社会、高齢者の暮らし	関　妙子
	第3回　加齢とからだ、こころ（講義） 加齢による身体的変化、心理・社会的変化	関　妙子
	第4回　社会学的視点から見た高齢者（講義） 老年期の発達課題、役割機能、社会参加、経済的基盤	関　妙子
	第5回　高齢者の健康を支援する制度・システム（講義） 高齢者の保健・医療・福祉システム・高齢者医療の仕組み	関　妙子
	第6回　高齢者の倫理的課題（講義） 高齢者虐待、身体拘束、権利擁護	関　妙子
	第7回　高齢者理解と老年看護の役割（発表と講義） 高齢者のライフヒストリーインタビューを通しての高齢者理解と老年看護の機能・役割 「身近な高齢者のライフヒストリーインタビュー」発表と全体的な内容の解説・講評。 ※事前課題「身近な高齢者のライフヒストリー」について本講義の1ヶ月前に課題を提示する。 →本講義1週間前までにアクティブアカデミーアドバンスにて課題提出。	関　妙子
	第8回　高齢者疑似体験（演習とディスカッション） 老化疑似体験を通しての高齢者の理解 ※「演習を通しての学びについて」レポート提出 レポートのフィードバックは提出期限後にアクティブアカデミーアドバンスにて行う。	関　妙子・傳谷典子・東泉貴子
科目の目的	ライフサイクルにおける老年期の特徴を身体的・心理的・社会的側面から理解し、老年期にある人々の健康問題の特徴、保健および看護の機能・特性を学ぶ。 （ディプロマポリシー:【対象の理解】【国際的な視野】）	
到達目標	1. ライフサイクルにおける老年期の位置づけおよびからだ・こころ・生活の特徴を説明することができる。 2. 老年期における健康問題の特徴、保健ならびに看護の機能・特性を説明することができる。 3. 高齢者に関わる倫理課題、高齢者の尊厳について説明することができる。 4. 老年期にある人々の健康を支援する制度、システムについて説明することができる。 5. 老年看護活動の場と、その機能・役割について説明することができる。	
関連科目	高齢者の健康と障害、老年看護方法論、老年看護学演習、老年看護学特論、老年看護学実習	
成績評価方法・基準	期末試験（80%）、課題レポート（20%） ※定期試験は100点満点で実施するが、80点満点に換算する。 レポート課題は2回実施する。各10点満点で採点して、合計で20点満点とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業計画に沿って、講義3日前までにアクティブアカデミーアドバンスにて資料を配付する。 予習として、配付資料の内容確認と資料にある空欄を所定の教科書の内容を確認しながら事前に埋めて授業に臨むこと。 自己学習に必要な時間として予習60分、復習30分程度は要することが見込まれる。	
教科書・参考書	教科書：ナーシング・グラフィカ老年看護学①　高齢者の健康と障害　メディカ出版 参考書：「国民衛生の動向2022/2023」（厚生統計協会）	
オフィス・アワー	講義終了後および12:10～12:50関研究室（320）	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-1-A-a、Ⅰ-1-B、Ⅰ-1-C-a～b、Ⅰ-2-A-f、Ⅰ-2-B-c、Ⅰ-3-A-c、Ⅰ-3-B、Ⅰ-4-A-a～e、Ⅰ-4-C-c、Ⅱ-7-G、Ⅱ-8-A～B、Ⅱ-9-A-d～e、Ⅲ-11-B-a～b、Ⅲ-12-A-b ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅰ-1-A、Ⅰ-1-B-a～c、Ⅰ-2-A、Ⅱ-3-A-c、Ⅱ-3-B-b～c、Ⅱ-4-A-b、Ⅱ-4-B-b～c、Ⅱ-4-C、Ⅱ-5-G、Ⅲ-6-A-c、Ⅲ-6-D-c～h、Ⅲ-9-A-b～c、Ⅳ-11-C-b	

	≪基礎看護学≫-Ⅰ-1-A-c、Ⅰ-1-B-b、Ⅰ-1-B-g、Ⅰ-1-C-e～f、Ⅰ-1-D-a、Ⅰ-1-D-c～d、Ⅲ-6-A-b～c、Ⅲ-6-B ≪成人看護学≫-Ⅰ-1-A-b、Ⅲ-6-A、Ⅲ-6-B-a、Ⅲ-6-B-c、Ⅲ-6-C-c、Ⅲ-6-D-c、Ⅳ-7-D-a、Ⅶ-18-A-a～e ≪老年看護学≫-Ⅰ-1-A～C、Ⅰ-2-B、Ⅰ-3-A、Ⅰ-3-B-a、Ⅰ-3-D、Ⅰ-4-A～C、Ⅱ-5-A、Ⅱ-6-E-g、Ⅱ-8-A-d、Ⅲ-9-A～F ≪精神看護学≫-Ⅰ-1-C-b、Ⅲ-3-C-c～d ≪在宅看護論／地域・在宅看護論≫-Ⅰ-1-A-c、Ⅰ-1-B-b、Ⅰ-1-B-f、Ⅰ-2-B-a～b、Ⅰ-4-B-a～d、Ⅱ-5-B-c、Ⅱ-6-B-b、Ⅲ-8-A-a～d、Ⅲ-8-B-a～d、Ⅲ-8-C-a～d、Ⅲ-8-D-a～d、Ⅲ-8-E-a～d、Ⅲ-8-F-a～d、Ⅲ-9-A、Ⅲ-9-B-a
履修条件・履修上の注意	※講義3日前までにアクティブアカデミーアドバンスにて資料を配付する。配信期間は配信してから1ヶ月間とする。 毎回の授業の予習・復習に活用し、意欲的に授業に臨むこと。 ※講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、本講義と関係のない作業は禁止する。
アクティブ・ラーニングの実施	・各講義毎に空欄を設けた資料を事前配付し、講義にて回答・解説を行う。 ・発表：第1回「老いと高齢者に対するイメージ」。第7回「身近な高齢者のライフヒストリーインタビュー」。 ・演習：第8回「高齢者疑似体験」をグループ別に行い、ディスカッションにて学習内容を共有する。

講義科目名称： 高齢者の健康と障害　　授業コード： 4N086

英文科目名称： Gerontological Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
東泉 貴子	関妙子		

授業形態	講義（15回）	担当者
授業計画	第1回　高齢者の生理的特徴（講義） 身体機能・心理機能の加齢変化	関妙子
	第2回　高齢者の症候（講義） 発熱、痛み・しびれ、脱水、不眠、廃用症候群、老年症候群	東泉貴子
	第3回　高齢者の疾患①精神・神経疾患（講義） 脳卒中：脳出血・脳梗塞	関妙子
	第4回　高齢者の疾患②精神・神経疾患（講義） 変性疾患（パーキンソン病・ALS)、せん妄、うつ病	東泉貴子
	第5回　高齢者の疾患③認知症１（講義）	東泉貴子
	第6回　高齢者の疾患④認知症2（講義）	東泉貴子
	第7回　高齢者の疾患⑤循環器疾患（講義） 高血圧、浮腫、不整脈、虚血性心疾患、心不全	泉泉貴子
	第8回　高齢者の疾患⑥呼吸器疾患（講義）（講義） 肺炎、閉塞性肺疾患、結核、インフルエンザ	東泉貴子
	第9回　高齢者の疾患⑦代謝機能障害、腎・泌尿器疾患（講義） 糖尿病、腎不全、前立腺肥大症、	東泉貴子
	第10回　高齢者の疾患⑧運動器疾患（講義） 骨粗鬆症、大腿骨頸部骨折、変形性膝関節症	関妙子
	第11回　高齢者の疾患⑨皮膚・感覚器疾患（講義） 皮膚掻痒症、帯状疱疹、視覚・聴覚障害、睡眠障害	関妙子
	第12回　高齢者の疾患⑩感染性疾患（講義） 疥癬、ノロウイルス感染症、新型コロナウィルス感染症、院内感染	関妙子
	第13回　高齢者の疾患⑪その他高齢者に特徴的な疾患（講義） がん、貧血、めまい、低体温・熱中症	東泉貴子
	第14回　高齢者と治療①高齢者と薬物療法（講義）	東泉貴子
	第15回　高齢者と治療②高齢者の周手術期看護（講義）	東泉貴子
科目の目的	加齢による機能の変化と高齢者の疾患の特徴を理解し、高齢者の主な疾患、治療を受ける高齢者の看護、治療の場における具体的援助方法を学ぶ。 ディプロマポリシー【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】	
到達目標	１．高齢者の生理的特徴、加齢による身体・精神機能の変化を説明出来る。 ２．老年期の主要な症候、起こりやすい健康問題を説明出来る。 ３．高齢者に特徴的な疾患とその看護を説明出来る。 ４．治療を受ける高齢者の看護の特徴と看護を説明出来る。	
関連科目	老年看護学総論、老年看護方法論、老年看護学演習、老年看護学実習	
成績評価方法・基準	試験100％	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	レジュメに沿って授業を実施する。キーワードについて指定した教科書を用いて準備学習を行う。 時間は1時間程度。	
教科書・参考書	教科書1　ナーシング・グラフィカ　老年看護学①「高齢者の健康と障害」（堀内ふき編：メディカ出版） 教科書2　ナーシング・グラフィカ　老年看護学②「高齢者看護の実践」（堀内ふき編：メディカ出版）	
オフィス・アワー	講義終了後～18時20分	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅱ-6-B、Ⅱ-7-G、Ⅱ-9-A-i～j、Ⅲ-10-B-a～b、Ⅲ-11-A-b、Ⅲ-11-A-f、Ⅲ-11-A-r、Ⅲ-11-A-w、Ⅲ-11-B-f、Ⅲ-12-B-c、Ⅳ-16-B-b ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-5-B-b、Ⅰ～Ⅲ-5-C-c ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅱ-3-B-f～g、Ⅲ-4-B-b～c、Ⅲ-4-C-a、Ⅲ-4-D-c、Ⅳ-5-A-a、Ⅳ-5-A-c、Ⅳ-5-A-e、Ⅳ-6-A-b、Ⅳ-6-A-d、Ⅳ-6-B-d、Ⅳ-10-A-a～b、Ⅳ-12-A-a、Ⅳ-12-A-c、Ⅳ-	

	12-A-e、Ⅳ-12-C、Ⅳ-13-A-c、Ⅳ-14-A-a～b、Ⅳ-14-A-d、Ⅳ-16-A-c、Ⅳ-17-A-a、Ⅳ-17-A-d ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅲ-7-A-c、Ⅲ-7-B-a、Ⅲ-7-B-d、Ⅲ-9-C-c ≪基礎看護学≫-Ⅱ-4-D-a～b、Ⅱ-4-E-a～b、Ⅱ-5-C-d ≪成人看護学≫-Ⅱ-5-A-a～c、Ⅱ-5-B-a～c、Ⅱ-5-C-b～d、Ⅱ-5-D、Ⅲ-6-A～B、Ⅶ-10-D-b～c、Ⅶ-11-D-a～b、Ⅶ-11-D-f、Ⅶ-13-A-a～b、Ⅶ-14-D-b、Ⅶ-17-A-b、Ⅶ-17-D-a、Ⅶ-18-A-a～e、Ⅶ-19-C-c、Ⅶ-19-D-d～e、Ⅶ-20-A-a、Ⅶ-20-B-c、Ⅶ-20-D～e ≪老年看護学≫-Ⅰ-3-A～B、Ⅰ-3-C-a、Ⅰ-3-C、Ⅱ-6-B-a、Ⅱ-6-C-a、Ⅱ-6-D-a、Ⅱ-6-E-a、Ⅱ-6-F～I、Ⅱ-7-A-a～i、Ⅱ-7-B-a～i、Ⅱ-7-C-a～i、Ⅱ-7-D-a～i、Ⅱ-7-E-a～f ≪精神看護学≫-Ⅰ-1-C-c、Ⅴ-5-A-b ≪在宅看護論／地域・在宅看護論≫-Ⅱ-6-A、Ⅱ-6-B-b、Ⅱ-6-B-f～h
履修条件・履修上の注意	※講義に必要な資料は、各講義毎に配付する。授業後は学習強化する箇所を教科書および配付資料の内容を各自で整理すること。 ※講義中、携帯電話・スマートフォンの使用は禁止する。
アクティブ・ラーニングの実施	講義終了時に10問程度のミニテストを実施する。

講義科目名称： 老年看護方法論　　授業コード： 4N087

英文科目名称： Gerontological Nursing Methods　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
傳谷 典子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　【高齢者のヘルスアセスメント】 高齢者の健康歴・病歴・症状を聴取する際のポイント 事例から学ぶ高齢者のフィジカルアセスメントの実際	傳谷 典子
	第2回　【高齢者の日常生活を支援する】高齢者の健康段階に応じた看護 ①高齢者の基本動作　②高齢者の生活リズムと加齢にともなう睡眠と覚醒の特徴 基本的なADLの評価指標の特徴 加齢に伴う睡眠と覚醒の変化の特徴	傳谷 典子
	第3回　【高齢者の日常生活を支援する】高齢者の健康段階に応じた看護 ③高齢者の食生活を知るために必要な基礎知識（歯科口腔領域）	傳谷 典子
	第4回　【高齢者の日常生活を支援する】高齢者の健康段階に応じた看護 ④高齢者の食生活の特徴（変調も含む）と栄養アセスメント ⑤清潔の援助（整容、入浴、口腔ケア）	傳谷 典子
	第5回　【高齢者の日常生活を支援する】高齢者の健康段階に応じた看護 ⑥高齢者の生きがい　⑦社会活動　⑧メンタルヘルスケア ⑨セクシュアリティ	傳谷 典子
	第6回　【老年期に特有な看護問題と看護】 ①老年症候群　②転倒・転落の予防と看護	傳谷 典子
	第7回　【老年期に特有な看護問題と看護】 ③廃用症候群の予防と看護	傳谷 典子
	第8回　【老年期に特有な看護問題と看護】 ④高齢者のリハビリテーション看護	傳谷 典子
	第9回　【老年期に特有な看護問題と看護】 ⑤摂食・嚥下	傳谷 典子
	第10回　【老年期に特有な看護問題と看護】 ⑥高齢者の痛み	傳谷 典子
	第11回　【老年期に特有な看護問題と看護】 ⑦褥瘡・スキンテア（皮膚裂傷・表皮剥離）、高齢者のスキンケア	傳谷 典子
	第12回　【老年期に特有な看護問題と看護】 ⑧排尿障害、排便障害	傳谷 典子
	第13回　【老年期に特有な看護問題と看護】 ⑨認知機能障害のある高齢者のケア ・環境調整　・薬物療法　・非薬物療法 ・パーソンセンタードケア　・家族のサポートシステム	傳谷 典子
	第14回　【高齢者のリスクマネジメント】 １．医療安全　（１）事故予防　（２）救急時の対応 ２．災害看護	傳谷 典子
	第15回　【エンド オブ ライフ ケア】 １．「生ききること」を支えるケア 生涯発達と発達課題達成へのケア ２．末期段階の援助、家族支援	傳谷 典子
科目の目的	高齢者の健康の維持・増進における問題、老年期に特徴的な看護問題を取り上げ、アセスメント、具体的援助方法を学習する。また、老年期に発生しやすい事故、救急問題の理解と対応、終末期にある高齢者と家族のエンド・オブ・ライフケアの考え方と看取りへの援助について学習する。さらに、高齢者のアセスメント方法を学習を通して、多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法の理解を目的とする。本科目ではディプロマ・ポリシーである看護の対象を多角的にとらえ科学的根拠に基づいた看護実践ができる能力を養う。	
到達目標	1.高齢者の健康維持・増進に向けての支援策および具体的方法について説明できる。 2.健康問題を有する高齢者の疾患・症状をアセスメントし、対象に応じた生活を営むための日常生活援助について説明できる。 3.老年期の特徴的な看護問題の理解を深め、多様な場に応じた高齢者のリスクマネジメント方法を列挙することができる。 4.高齢患者および家族のエンド・オブ・ライフケアにおける看護師の役割、看取り看護のあり方について述べることができる。 5.高齢者を支える家族介護者への具体的な看護支援について述べることができる。	

関連科目	老年看護学総論 高齢者の健康と障害
成績評価方法・基準	定期試験　(80%) 授業内レポート (20%) ＊レポート課題のテーマは、講義にて提示します。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容については、事前に教科書等々で確認し予習しておく。学習時間の目安：1時間程度
教科書・参考書	教科書１：「老年看護学②　高齢者看護の実践」、堀内ふき　他（メディカ出版） 教科書２：「カラー写真で学ぶ　高齢者の看護技術第2版」、大野眞理子（医歯薬出版株式会社） 参考書１：「生活機能からみた老年看護過程」、山田律子（医学書院） 参考書２：「根拠と事故防止からみた老年看護技術」亀井智子（医学書院）
オフィス・アワー	講義日の9：00～17：00（傳谷研究室）
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-2-A-a～g、Ⅲ-10-B-a～b、Ⅲ-11-A-b、Ⅲ-11-A-f、Ⅲ-11-A-r、Ⅲ-11-A-w、Ⅳ-14-A、Ⅳ-14-B-a、Ⅳ-14-C、Ⅳ-15-B-a、Ⅳ-15-B-c～d、Ⅳ-16-A-a、Ⅳ-16-G-b ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-9-A-a、Ⅰ～Ⅲ-11-A-d～e、Ⅰ～Ⅲ-12-A ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅱ-3-B-f～g、Ⅲ-4-C-e～f、Ⅳ-7-C-b、Ⅳ-7-C-d、Ⅳ-12-A-e、Ⅳ-15-A-e ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅲ-10-A-b ≪基礎看護学≫-Ⅰ-2-C-b～c、Ⅱ-3-E-a、Ⅱ-3-E-e、Ⅱ-3-G-b～c、Ⅱ-3-I、Ⅱ-4-B-c～h、Ⅱ-4-C-a～b、Ⅱ-4-C-e、Ⅱ-4-C-g、Ⅱ-4-D-c、Ⅱ-4-E-c、Ⅱ-5-B-b、Ⅲ-6-A-b ≪成人看護学≫-Ⅴ-8-C～D、Ⅳ-7-A-a～b、Ⅳ-7-B、Ⅳ-7-C-a～c、Ⅳ-7-D-a、Ⅵ-9-B～C、Ⅶ-12-A-a、Ⅶ-12-C-i～j、Ⅶ-13-A-a～b、Ⅶ-20-A-a、Ⅶ-20-B-c、Ⅶ-20-D-d ≪老年看護学≫-Ⅰ-2-A、Ⅰ-3-C、Ⅱ-5-B～G、Ⅱ-6-A～E、Ⅱ-6-J、Ⅱ-7-E、Ⅱ-8-A、Ⅲ-9-D～G ≪在宅看護論／地域・在宅看護論≫-Ⅱ-5-A-c、Ⅱ-5-B-a～b、Ⅱ-6-B-b、Ⅱ-6-C-f～g、Ⅱ-7-A、Ⅱ-7-B-e、Ⅱ-7-C-a ≪看護の統合と実践≫-Ⅱ-2-B-b～d
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	グループワークおよび、プレゼンテーションを行う単元もある。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	傳谷典子（看護師）
授業の概要	老年期に特徴的な看護問題として、寝たきりと廃用症候群、サルコペニア、転倒と骨折、摂食・嚥下障害、脱水、褥瘡、失禁、せん妄、認知症高齢者と家族を取り上げ、問題の要因と背景を理解した上で、アセスメント、具体的援助方法を学習する。また、老年期に発生しやすい事故、救急問題の理解と対応、治療を受ける高齢者の看護として、入院、検査、手術、リハビリテーションを受ける高齢者の理解と治療の場に応じた安全・安楽、終末期にある高齢者と家族のエンド・オブ・ライフケアの考え方と死の看取りへの援助について学習する。さらに、高齢者の特徴をとらえた健康歴の聴取、フィジカルアセスメント、認知機能のアセスメント方法を学習する。授業は講義を中心に行う。

講義科目名称： 老年看護学演習　　授業コード： 4N088

英文科目名称： Practice in Gerontological Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
傳谷 典子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 老年看護学特論　　授業コード： 4N089

英文科目名称： Advanced Gerontological Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
関　妙子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 小児看護学総論　　授業コード： 4N090

英文科目名称： Introduction to Child Health Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　オリエンテーション　小児看護で用いられる概念と理論① 小児看護の対象、小児看護の変遷、子どもの権利と擁護 子どもの権利と擁護	中下 富子
	第2回　小児看護で用いられる概念と理論② 小児看護と法律・施策、小児看護で用いられる理論	中下 富子
	第3回　乳児期の成長・発達と看護 乳児期の特徴と発達課題、形態的成長発達・機能的発達・心理社会的発達、 乳児期の発育・発達評価、親子関係、栄養と睡眠、健康問題と対策	中下 富子
	第4回　幼児期の成長・発達と看護① 幼児期の特徴と発達課題、形態的成長発達・機能的発達・心理社会的発達	中下 富子
	第5回　幼児期の成長・発達と看護② 遊びについて、幼児の発育・発達評価、家族関係、栄養と睡眠、健康問題と対策	中下 富子
	第6回　学童期の成長・発達と看護 学童期の特徴と発達課題、形態的成長発達・機能的発達・心理社会的発達 学習について（特別支援学校含む)、学童期のセルフケアの発達、健康問題と対策	中下 富子
	第7回　思春期の成長・発達と看護 思春期の特徴と発達課題、形態的成長発達・機能的発達・心理社会的発達、 セルフケアの自立と課題　　家族関係、健康問題と対策	中下 富子
	第8回　虐待児と家族への看護 虐待が子どもに与える影響、虐待のサイン、虐待児と家族への看護	中下 富子
科目の目的	子どもの成長発達過程の特徴を生涯発達の視点で総合的に理解し、それらを育む家族や地域社会・環境を含めて子どもの健やかな成長・発達を援助する小児看護について学習する。 【知識・理解】【関心・意欲】【態度】	
到達目標	1.小児看護の理念、子どもの権利と擁護する小児看護の考え方を説明することができる。 2.子どもの成長・発達の特徴を発達段階別に理解し、それぞれの特徴を説明することができる。 3.子どもを育む親・家族の役割を学び、支援のポイントを説明することができる。 4.子どもを取り巻く環境の特性と健康に及ぼす影響について学び、必要な支援について説明することができる。 5.子どもの健やかな成長・発達を支援する看護職の役割を説明することができる。	
関連科目	小児看護学（小児看護方法論、小児看護過程・技術論、小児看護学演習、小児看護学特論、小児看護学実習）、母性看護学各科目、基礎看護学各科目、精神看護学各科目、公衆衛生看護学各科目、共通基礎科目群、教養科目群（心理学、生命倫理、教育学、社会学、環境学ほか）、専門基礎科目群（解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、発達心理学、病理学、免疫・感染症学、薬理学、公衆衛生学、保健統計、栄養学(含む食品学)、臨床病態学Ⅳ）	
成績評価方法・基準	課題レポート（20%）授業第1回目でテーマを提示する。定期試験（80%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義に臨む前に、教科書・配布資料を精読して下さい。 講義ノート（資料含む）は、小児看護方法論、小児看護過程・技術論、小児看護学演習、小児看護学実習で活用できるよう工夫して作成してください。 1コマにつき、60分程度の準備時間を求めます。	
教科書・参考書	教科書 １．ナーシング・グラフィカ　小児看護学①　　小児の発達と看護　中野綾美他著　（メディカ出版） 参考書 １．系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学［1］小児看護学概論　小児臨床看護総論」奈良間美保他著（医学書院）.	
オフィス・アワー	本授業当日（授業終了後随時）	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-1-A-a、Ⅰ-1-B-g、Ⅱ-7-B～E ≪小児看護学≫-Ⅰ-1-A～C、Ⅰ-2-A～C、Ⅰ-3-A～I、Ⅱ-4-A～D	
履修条件・履修上の注意	日常生活において周囲の子どもに関心をもち、子どもの関連グッズを含めて観察を深めるよう心掛けましょう。	
アクティブ・ラーニングの実施	学生の理解に重点を置いて授業のレジュメの段階で、科目全体の目標、本時の内容に適切な学習目標を設定し明示する。	

	目標と評価の整合性をもたせるために、評価方法（定期試験・課題レポート）を提示する。課題レポートにおいては、レポート作成のためのルーブリックによる評価方法によって模範を示す。 授業では発問を行い、ワークシートに書かせて、学生の先行知識を引き出し、思考を整理することを促す。 コメント用紙を用いて、学んだこと、わからなかったこと、質問や感想を書かせることで、学習内容を整理させ、授業全体の振り返りを促す。 授業内容に応じて事例（紙面・動画等）を用いて学習を促す。

講義科目名称： 小児看護方法論　　授業コード： 4N091

英文科目名称： Child Health Nursing Methods　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子	高野直美		

授業形態	講義15回		担当者
授業計画	第1回	科目ガイダンス　健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護 子どもの病気の理解、子どものプレパレーション	中下富子
	第2回	健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護 健康障害に伴う子どものストレスと対処、子どものストレス対処への支援、子どもの健康障害に伴う家族のストレス、家族のストレス対処への援助	中下富子
	第3回	急性期にある子どもと家族への看護① 主要症状（発熱・脱水・けいれん）のアセスメントと看護	高野直美
	第4回	急性期にある子どもと家族への看護② 主要症状（呼吸困難・嘔吐・下痢）のアセスメントと看護	高野直美
	第5回	急性期にある子どもと家族への看護③ 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護、急性期にある子どもの家族への援助	高野直美
	第6回	慢性期にある子どもと家族への看護① 慢性期の特徴、慢性期にある子どもと家族、慢性期にある子どもと家族を支援する看護	高野直美
	第7回	慢性期にある子どもと家族への看護② 事例にみる慢性期にある子どもと家族への看護（腎疾患・糖尿病など）	高野直美
	第8回	終末期にある子どもと家族への看護 子どもの死の概念発達、終末期にある子どもと家族の心理、身体的特徴、緩和ケア	高野直美
	第9回	検査や処置を受ける子どもと家族への看護 子どもへの説明と同意、子どもの安全・安楽の援助、検査や処置を受ける子どもと家族への援助	高野直美
	第10回	手術を受ける子どもと家族への看護① 手術をうける子どもの特徴、手術の時期と種類、手術を受ける子どもと家族の反応、手術をうける子どもの術前術後の看護	高野直美
	第11回	手術を受ける子どもと家族への看護② 事例にみる手術前後の子どもと家族への看護（先天性疾患・骨折など）	高野直美
	第12回	外来における子供と家族への看護 外来看護の果たす役割、小児外来の環境調整、外来における子どもと家族への援助	中下富子
	第13回	心身障がいのある子どもと家族への看護 障がいの捉え方、障がいのある子どもと家族の特徴、障がいのある子どもと家族の社会的支援、看護の視点	中下富子
	第14回	在宅における子どもと家族への看護 小児在宅医療の意義と現状、在宅療養を必要とする子どもと家族への看護	中下富子
	第15回	災害を受けた子どもと家族への看護 災害を受けた子どもの心身への影響、災害時の子どもと家族への看護、看護する者への支援	中下富子
科目の目的	成長発達過程にある子どもにおこる代表的な健康障害やそれに付随した環境の変化によって及ぼされる子どもや家族への影響を理解し、子どもの健康回復の促進及び成長発達の阻害を最小限にする看護方法を修得する。 ディプロマポリシーとの関連【知識・理解】【思考・判断】		
到達目標	１．子どもの健康障害や治療環境が子どもや家族に与える影響について説明できる。 ２．健康障害をもつ子どもの健康回復に向けた子どもと家族への基礎的看護方法について説明できる。 ３．健康障害をもつ子どもの治療環境によって及ぼされる成長発達への阻害を最小限にする看護方法について説明できる。		
関連科目	小児看護学（小児看護学総論、小児看護総論、小児看護演習、小児看護学特論、小児看護学実習）、母性看護学各科目、基礎看護学各科目、精神看護学各科目、公衆衛生看護学各科目、統合分野各科目、教養科目群（心理学、生命倫理、教育学、家族学、環境学）、専門基礎臨床科目群（解剖学、生理学、発達心理学、臨床病態学Ⅲ、免疫・感染症学、薬理学）、専門基礎地域科目群（公衆衛生学、保健統計、栄養学（含む食品学））		
成績評価方法・基準	定期試験　50%　　中間試験　30%　　レポート20%		

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義に臨む前に、講義前日に配布する資料を精読して講義日に持参する。 小児看護学総論、小児看護学総論を復習する。 1コマにつき、分程度の準備時間を求めます。
教科書・参考書	教科書 １．ナーシング／グラフィカ小児看護学①　小児の発達と看護　　中野綾美他著（メデイカ出版） ２．ナーシング／グラフィカ小児看護学③　小児の疾患と看護　　中村友彦他著（メデイカ出版） ３．写真でわかる小児看護技術アドバンス　山元恵子編集　インターメディカ 参考書 1.「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学［1］小児看護学概論　小児臨床看護総論」奈良間美保他著（医学書院）2017. 2.「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学［2］小児臨床看護各論」奈良間美保他著（医学書院）2017.
オフィス・アワー	本授業終了後、随時
国家試験出題基準	【看護師】 ≪小児看護学≫-Ⅱ-4-E～H、Ⅲ-6-A～B、Ⅳ-7-A～C、Ⅳ-8-A～C、Ⅳ-8-A～C、Ⅳ-9-A～B
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	学生の理解に重点を置いて授業のレジュメの段階で、科目全体の目標、本時の内容に適切な学習目標を設定し明示する。目標と評価の整合性をもたせるために、評価方法（試験・課題レポート）を提示する。課題レポートにおいては、レポート作成のためのルーブリックによる評価方法によって模範を示す。 授業では発問を行い、ワークシートに書かせて、学生の先行知識を引き出し、思考を整理することを促す。 コメント用紙を用いて、学んだこと、わからなかったこと、質問や感想を書かせることで、学習内容を整理させ、授業全体の振り返りを促す。 授業内容に応じて事例（紙面・動画等）を用いて学習を促す。

講義科目名称： 小児看護過程・技術論　　授業コード： 4N092

英文科目名称： Nursing Process & Technical Theory of Pediatric Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 小児看護学演習　　授業コード： 4N093

英文科目名称： Practice in Child Health Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 小児看護学特論　　授業コード： 4N094

英文科目名称： Advanced Pediatric Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 母性看護学総論　　授業コード： 4N095

英文科目名称： Introduction to Maternity Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　母性看護の概念　性と性行動１ ・母性看護学総論オリエンテーション(学習の範囲、学習の視点、基本的知識) ・母性（父性）とは、	中島久美子
	第2回　母性看護の概念　性と性行動２ ・リプロダクティブヘルツ／ライツ、ヘルスプロモーション、 セクシュアリティーの概念	中島久美子
	第3回　母性看護の機能と役割　母子保健の現状と動向 ・母性の健康と社会　母子保健統計からみた母性の健康　母性の健康と社会	中島久美子
	第4回　母性看護の変遷と諸施策 ・母性看護の歴史と役割、母性看護の変遷、女性をめぐる諸施策・母子保健施策(法律)	中島久美子
	第5回　性と生殖に関する健康問題と援助1：【思春期女性への支援】 ・思春期のセクシュアリティー発達支援（二次性徴の早発・遅発ケースへの対応と支援、） ・子宮頸がん予防、DV予防と支援、性感染症（STD）予防(予防に関する啓発) 人工妊娠中絶の予防と支援 ・性感染症STI（性器ヘルペス　尖圭コンジローマ　AIDS　クラミジア感染他）その他の感染症	中島久美子
	第6回　性と生殖に関する健康問題と援助2：【成熟期・更年期・老年期女性への支援】 ・不定愁訴・閉経への指導、乳がん・子宮頸がん検診、DV予防と支援	中島久美子
	第7回　母性看護の課題と展望１ ・女性のライフサイクルの変化　高齢化・少子化 ・多様化する女性のライフスタイル　高学歴化及び晩婚化・労働力率 ・在日外国人の母子保健など	中島久美子
	第8回　母性看護の課題と展望２ ・現代社会における母性の健康と課題(子ども虐待の背景、親子関係、子育て支援)	中島久美子
科目の目的	国内外の母性看護の歴史的変遷と母性看護の現状について学ぶ。 ライフサイクルを通して母性看護の諸施策と役割を学ぶ。性と生殖に関する理解をする。 【知識・理解】	
到達目標	母性看護の対象となる人々の置かれた状況が説明できる。 母性看護の基盤となる知識が説明できる。 女性の性の周期性の変化について説明ができる。	
関連科目	教養科目群：生命倫理　家族学 専門基礎科目群：　解剖学Ⅰ　解剖学Ⅱ　生理学　栄養学　免疫・感染症学	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習内容：母性関連の解剖生理について復習して講義に臨むこと。 ライフサイクル各期の健康問題を身近な人を例に考え、自分の意見として述べられること。 準備学習時間の目安：3時間45分	
教科書・参考書	教科書：「母性看護学Ⅰ、母性看護学概論」森恵美他（医学書院） 参考書：授業にて提示	
オフィス・アワー	中島：開講日の昼休み	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅰ-1-B、Ⅰ-1-C-b～c、Ⅰ-2-B-b～d、Ⅱ-5-F-a～b、Ⅱ-5-F-d、Ⅱ-5-H-a、Ⅲ-7-B-f、Ⅲ-9-B ≪母性看護学≫-Ⅰ-1-A～D、Ⅰ-2-A～C、Ⅱ-3-A、Ⅱ-3-B-a～b、Ⅱ-3-B-e～f、Ⅱ-3-C 【助産師】 ≪基礎助産学Ⅰ≫-Ⅱ-2-A～B、Ⅱ-5-A、Ⅱ-5-C、Ⅲ-7-A、Ⅲ-7-B-a～g、Ⅲ-7-C-a～g ≪助産診断・技術学≫-Ⅰ-1-A、Ⅱ-2-A～B、Ⅱ-2-D ≪助産診断・技術学Ⅱ≫-Ⅱ-4-B、XIII-33-D ≪地域母子保健≫-Ⅰ-1-A～B、Ⅰ-2-A～B、Ⅱ-3-B	

履修条件・履修上の注意	助産師課程資格取得のための要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	ディスカッション

講義科目名称： 母性看護方法論　　授業コード： 4N096

英文科目名称： Maternity Nursing Methods　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
橋爪由紀子			

授業形態	講義（15コマ）		担当者
授業計画	第1回	妊娠の始まりと胎児の成長、妊娠経過 ・妊娠の成立、胎児の発育 ・妊娠の診断 ・妊娠の経過（妊婦のからだと心の変化）	橋爪由紀子
	第2回	妊婦と胎児のアセスメントと看護 ・在胎週数に応じた胎児の発育と健康状態の評価 ・妊婦健康診査の目的と内容 ・妊娠各期における妊婦の健康状態のアセスメント ・妊婦の看護（日常生活における健康管理・保健指導）	橋爪由紀子
	第3回	妊婦の心理社会的側面と看護 ・妊婦の心理社会的側面のアセスメント ・バースプラン作成とそれに対する支援 ・出産・育児の準備	橋爪由紀子
	第4回	妊娠期の健康問題に対する看護 ・ハイリスク妊娠に対する看護 ・流産・早産、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、前置胎盤・常位胎盤早期剥離などの疾患を持つ妊婦に対する看護	橋爪由紀子
	第5回	分娩の生理と経過 ・正常分娩の生理と経過	橋爪由紀子
	第6回	産婦と胎児のアセスメント ・産婦と胎児の健康状態のアセスメント ・胎児心拍モニタリング図の判読方法	橋爪由紀子
	第7回	・産婦の看護 ・産婦の看護（分娩経過に伴う看護、産痛緩和、産婦とその家族への支援） ・産婦の心理社会的側面のアセスメントと看護	橋爪由紀子
	第8回	異常分娩時の看護 ・帝王切開術を受ける産婦の看護 ・急速遂娩を受ける産婦の看護 ・分娩時異常出血のある産婦の看護	橋爪由紀子
	第9回	産褥期の身体的変化と適応、褥婦のアセスメント ・既出事項（妊娠期・分娩期）のまとめ（中間試験15分） ・生殖器の変化と適応 ・産褥期に起こる全身の変化 ・褥婦の健康状態のアセスメント	橋爪由紀子
	第10回	褥婦の心理社会的側面と看護 ・中間試験の解説 ・褥婦の心理社会的側面のアセスメント ・出産体験の振り返り ・児との関係確立への看護	橋爪由紀子
	第11回	褥婦と家族の看護 ・産褥期にある女性とその家族への日常生活の支援 ・育児にかかわる看護 ・家族計画 ・健康問題のある褥婦の看護	橋爪由紀子
	第12回	新生児の生理 ・胎児から新生児への生理的変化 ・新生児の身体的な特徴	橋爪由紀子
	第13回	新生児の健康状態のアセスメント ・新生児の診断、発育の評価 ・新生児の健康状態のアセスメント	橋爪由紀子

	第14回　新生児の看護 ・出生直後の看護、出生後から退院時までの看護 ・健康障害のある新生児の看護 第15回　生殖医療を受ける女性に対する看護 ・生殖医療を受ける女性の心理社会的背景 ・不妊治療を受ける女性の心理社会的側面のアセスメントと看護 ・生殖医療をめぐる倫理	橋爪由紀子 橋爪由紀子
科目の目的	妊娠・分娩・産褥期、及び新生児に起こる身体的・心理的・社会的変化を理解し、母性看護の特徴と看護の役割について考える。母性看護の対象への看護を展開するための基礎的知識・技術を学ぶ。【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	・正常な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦及び新生児の経過とその看護について説明できる。 ・ハイリスク状況にある妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護が説明できる。 ・生殖医療を受ける女性の看護について説明できる。 ・母子とその家族への支援について説明できる。	
関連科目	基礎科目群：生命倫理　環境学　生物学　生活文化と医療 専門基礎科目群：生理学Ⅰ・Ⅱ　生化学　臨床病態学Ⅳ　発達心理学　免疫・感染症学　社会福祉・社会保障制度論 専門科目群：母性看護学演習および、この科目の基盤となる専門科目の全て（主に小児看護学・公衆衛生看護学など）	
成績評価方法・基準	中間試験（20%）　定期試験（80%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・母性看護に関する既習の講義内容の復習が重要となる。 ・特に周産期医療とその看護について、課題を持って講義に臨んでほしい。 【準備学習に必要な学習時間の目安】1コマにつき1時間の授業時間外における学習（予習・復習など自己学習）が必要となる。	
教科書・参考書	教科書:「系統看護学講座　母性看護学各論　母性看護学Ⅱ」森恵美（医学書院） 参考書:「母性の心理社会的側面と看護ケア」新道幸恵（医学書院） 「病気がみえる⑩産科　第4版」（メディックメディア） その他、講義内で紹介する	
オフィス・アワー	講義前後	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅲ-10-A-o ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-16-A-d～g、Ⅰ～Ⅲ-16-C ≪母性看護学≫-Ⅱ-3-B-c～d、Ⅲ-4-A～B、Ⅲ-4-D、Ⅲ-5-A～B、Ⅲ-5-C-a、Ⅲ-5-D、Ⅲ-6-A～D、Ⅲ-7-A-a～e、Ⅲ-7-A-j、Ⅲ-7-A-l～m、Ⅲ-7-A-p～q、Ⅲ-7-B～D 【助産師】 ≪基礎助産学Ⅱ≫-Ⅰ-1-A～B、Ⅰ-2-A～B、Ⅰ-4-A～B、Ⅰ-5-A～D	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより、資料を事前配布（配布期間：講義4日前～講義2日後）する。各自印刷して授業に持参すること。	
アクティブ・ラーニングの実施	なし	

講義科目名称： 母子の健康支援　　授業コード： 4N097

英文科目名称： Health Supports for Mother and Child　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
早川 有子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 母性看護学演習　　授業コード： 4N098

英文科目名称： Practice in Maternal Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 母性看護学特論　　授業コード： 4N099

英文科目名称： Advanced Maternity Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 精神看護学概論　　授業コード： 4N101

英文科目名称： Introduction to Psychiatric Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川　薫	佐藤 和也		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　精神看護の概念を理解する 精神看護の役割と機能、精神医療と看護の歴史（諸外国及び日本）について理解する	西川　薫
	第2回　精神保健医療福祉の変遷と現状を理解する 精神医療に関連した法律、入院形態、看護の変遷について理解する	西川　薫
	第3回　精神看護を構成する基礎理論（1） 精神看護学におけるオレム・アンダーウッド理論（セルフケア理論）について理解する	西川　薫
	第4回　精神看護を構成する基礎理論（2） 精神看護学における対人関係理論（患者-看護者関係_ペプロウなど）について理解する	西川　薫
	第5回　精神看護を構成する基礎理論（3） 精神看護におけるリカバリー、エンパワーメント、ストレングスの概念について理解する	西川　薫
	第6回　精神に障害を抱える人を理解するうえで必要な生物学的な知識 脳の構造と認知機能などについて理解する	佐藤 和也
	第7回　精神看護を構成する基礎理論を用いたケア（1） 統合失調症を抱える人を理解するために疾患特性・看護について理解する	佐藤 和也
	第8回　精神看護を構成する基礎理論を用いたケア（2） 気分障害を抱える人を理解するために疾患特性・看護について理解する	西川　薫
科目の目的	精神看護学を構成する基礎理論及び精神看護学の発展経過を学習する。精神（こころ）の健康問題が個人と社会にもたらす変化とその意味、精神看護を構成する基礎理論（精神力動論、対人関係理論、セルフケア理論など）、精神医学・精神看護学の歴史的背景と課題について深い理解をめざす。ディプロマポリシーである【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】の修得をめざす。	
到達目標	1.精神看護の概念を説明できる。 2.精神保健医療福祉の変遷と現状を説明できる。 3.精神看護を構成する基礎理論（対人関係理論、セルフケア理論など）について説明できる。 4.精神看護におけるリカバリー、エンパワーメント、ストレングスの概念について説明できる。	
関連科目	精神保健、精神看護方法論、精神看護学演習，精神看護学実習，精神看護学特論、臨床心理学	
成績評価方法・基準	定期試験（70%）　各回のリフレクションシート（30%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：各講義日の講義内容について教科書及び参考図書を講読し、学習内容を把握し、疑問点等を抽出する（1時間） 復習：講義終了後に、講義内容の再確認及び疑問点を抽出し、疑問点について調べる（1時間）	
教科書・参考書	教科書 新体系 看護学全書 精神看護学概論／精神保健 編集：岩﨑弥生・渡邉博幸　メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 精神障害をもつ人の看護 編集：岩﨑弥生・渡邉博幸　メヂカルフレンド社 参考書 落合滋之監修、精神神経疾患ビジュアルブック、学研メディカル秀潤社	
オフィス・アワー	火曜日・水曜日：12:10～12:50（西川研究室）	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-4-A、Ⅰ-4-C、Ⅱ-6-A、Ⅲ-11-B-d、Ⅲ-12-A-n ≪人体の構造と機能≫-Ⅰ～Ⅲ-3-A-a、Ⅰ～Ⅲ-3-B-a～c ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅲ-4-B-c、Ⅳ-17-A-c～d ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅱ-5-E-e～f、Ⅱ-5-H-b～d ≪老年看護学≫-Ⅱ-7-A-i、Ⅱ-7-B-i、Ⅱ-7-C-i、Ⅱ-7-D-i ≪精神看護学≫-Ⅰ-1-F-c、Ⅱ-2-A-a～c、Ⅱ-2-B-a～c、Ⅱ-2-C-a～c、Ⅱ-2-D-a～c、Ⅱ-2-E-a～c、Ⅱ-2-F-a～c、Ⅱ-2-G-a～c、Ⅱ-2-H-a～c、Ⅱ-2-I-a～c、Ⅱ-2-J-a～c、Ⅱ-2-K-a～c、Ⅲ-3-A～C、Ⅳ-4-A-a～c、Ⅳ-4-A-e、Ⅳ-4-C、Ⅳ-4-F-a～b、Ⅴ-5-A-a～b、Ⅴ-5-A-d、Ⅴ-6-A～C	
履修条件・履修上の注意	履修条件は特にないが、不明な点は積極的に質問をしてください。 配布資料は、前日までにActive Academyで配布するので各自が印刷し持参してください。	
アクティブ・ラーニングの実施	リフレクションシートを用いた発見学習、調査学習、Think Pair Share（シンク・ペア・シェア）	

講義科目名称： 精神看護方法論　　授業コード： 4N102

英文科目名称： Psychiatric Nursing Methods　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川　薫	佐藤 和也		

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	精神障がいを抱える人への看護 精神看護の基礎的な姿勢（安全と倫理的観点を含む）を理解する。	西川　薫
	第2回	患者－看護師関係 プロセスレコードの概要、プロセスレコードを用いた精神的苦痛への支援について理解する。	西川　薫
	第3回	リエゾン精神看護 リエゾン精神看護の概要について理解する。	西川　薫
	第4回	地域における精神看護 訪問看護及び社会資源を用いた地域支援について理解する。	西川　薫
	第5回	代表的な精神疾患を抱える人への看護（1） 統合失調症を抱える人の看護（フィジカルアセスメント含む）について理解する。	佐藤 和也
	第6回	代表的な精神疾患を抱える人への看護（2） 気分障害を抱える人の看護（フィジカルアセスメント含む）について理解する。	西川　薫
	第7回	代表的な精神疾患を抱える人への看護（3） パーソナリティ障害を抱える人の看護（フィジカルアセスメント含む）について理解する。	西川　薫
	第8回	代表的な精神疾患を抱える人への看護（4） アルコール依存症を抱える人の看護（フィジカルアセスメント含む）について理解する。	西川　薫
	第9回	代表的な精神疾患を抱える人への看護（5） 摂食障害を抱える人の看護（フィジカルアセスメント含む）について理解する。	西川　薫
	第10回	代表的な精神疾患を抱える人への看護（6） 強迫性障害を抱える人の看護（フィジカルアセスメント含む）について理解する。	西川　薫
	第11回	代表的な精神疾患を抱える人への看護（7） 発達障害を抱える人の看護（フィジカルアセスメント含む）について理解する。	西川　薫
	第12回	精神看護に活かせる心理社会的療法（1） SST・心理教育について理解する。	佐藤 和也
	第13回	精神看護に活かせる心理社会的療法（2） 精神科作業療法・WRAP・クライシスプランについて理解する。	佐藤 和也
	第14回	精神看護に活かせる心理社会的療法（3） 当事者研究（浦河べてるの家）について理解する。	西川　薫
	第15回	精神看護に活かせる心理社会的療法（4） オープンダイアログなど海外での先進的な療法について理解する。	西川　薫
科目の目的	精神（こころ）の健康問題と強く関係する精神疾患や危機的状況にある人を理解し、患者-看護者関係の発展方法、精神（こころ）の健康問題を持つ人に対し必要となる看護方法について学習する。精神機能と精神症状の理解、代表的な精神疾患の概要、病態、症状、治療方法を理解し、精神障害に対する心理社会的リハビリテーションの概要、地域における精神看護（精神科訪問看護）の目的・機能・実際の展開、及び、実践例を盛り込みながら理解する。ディプロマポリシーである【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】の修得をめざす。		
到達目標	1. 患者-看護者関係の発展方法について説明できる 2. 代表的な精神疾患を持つ人への看護（概要、病態、症状、治療方法を含む）について説明できる。 3. 精神障害に対する心理社会的リハビリテーションの概要について説明できる。 4. 地域における精神看護（精神科訪問看護）の目的・機能について説明できる。		
関連科目	精神保健、精神看護学概論、精神看護学演習、精神看護学実習、精神看護学特論、臨床心理学		
成績評価方法・基準	定期試験（70%）、リフレクションシート（30%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：各講義日の講義内容について教科書及び参考図書を講読し、学習内容を把握し、疑問点等を抽出する（1時間） 復習：講義終了後に講義内容の再確認及び疑問点を抽出し、疑問点について調べる（1時間）		
教科書・参考書	教科書：新体系 看護学全書 精神看護学概論／精神保健 編集：岩﨑弥生・渡邉博幸　メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 精神障害をもつ人の看護 編集：岩﨑弥生・渡邉博幸　メヂカルフレンド社 参考書：落合滋之監修、精神神経疾患ビジュアルブック、学研メディカル秀潤社		

オフィス・アワー	火曜日・水曜日：12:10～12:50（西川研究室）
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-3-A-a、Ⅱ-9-A-a、Ⅱ-9-A-c、Ⅱ-9-A-j、Ⅲ-11-A-w、Ⅲ-11-B-d、Ⅳ-13-A ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅰ-2-B-d、Ⅲ-4-A-f、Ⅲ-4-B-c、Ⅲ-4-C-e、Ⅲ-4-C-i、Ⅳ-12-A-e、Ⅳ-17-A ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅰ-2-A、Ⅱ-3-B-c、Ⅱ-5-E-a～b ≪基礎看護学≫-Ⅲ-6-A、Ⅲ-6-B-a～b ≪精神看護学≫-Ⅰ-1-F-b、Ⅰ-1-F-e～f、Ⅱ-2-A-a～c、Ⅱ-2-B-a～c、Ⅱ-2-C-a～c、Ⅱ-2-D-a～c、Ⅱ-2-E-a～c、Ⅱ-2-F-a～c、Ⅱ-2-G-a～c、Ⅱ-2-H-a～c、Ⅱ-2-I-a～c、Ⅱ-2-J-a～c、Ⅱ-2-K-a～c、Ⅳ-4-B、Ⅳ-4-D、Ⅳ-4-E-d～e、Ⅳ-4-F-c、Ⅳ-4-G～H、Ⅴ-5-A-c、Ⅴ-7-A～B
履修条件・履修上の注意	履修条件は特にないが、不明な点は積極的に質問をしてほしい。 配布資料は、前日までにActive Academyで配布する。配布資料は各自が印刷し持参する。
アクティブ・ラーニングの実施	リフレクションシートを用いた発見学習、調査学習、Think Pair Share（シンク・ペア・シェア）

講義科目名称： 精神看護学演習　　授業コード： 4N103

英文科目名称： Practice in Psychiatric Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川　　薫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 精神看護学特論　　授業コード： 4N104

英文科目名称： Advanced Psychiatric Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
西川　　薫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 多職種理解と連携　　授業コード： 4N106

英文科目名称： Multidisciplinary Understanding and Cooperation　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
矢島 正栄	田村遵一、佐藤満		石井良和、白坂康俊	長田誠、渡辺浩
	大濱和也、鍵山智樹			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　チーム医療とは チーム医療の背景、目的、意義、看護師とチーム医療	矢島正榮
	第2回　関係職種の理解　１ 医師とは、医師からみた看護職とのかかわり、医師とチーム医療	田村遵一
	第3回　関係職種の理解　２ 理学療法士とは、理学療法士からみた看護職とのかかわり、理学療法士とチーム医療	佐藤満
	第4回　関係職種の理解　３ 作業療法士とは、作業療法士からみた看護職とのかかわり、作業療法士とチーム医療	石井良和
	第5回　関係職種の理解　４ 言語聴覚士とは、言語聴覚士からみた看護職とのかかわり、言語聴覚士とチーム医療	白坂康俊
	第6回　関係職種の理解　５ 臨床検査技師とは、臨床検査技師からみた看護職とのかかわり、臨床検査技師とチーム医療	長田誠
	第7回　関係職種の理解　６ 診療放射線技師とは、診療放射線技師からみた看護職とのかかわり、診療放射線技師とチーム医療	渡邊浩
	第8回　関係職種の理解　７ 臨床工学技士とは、臨床工学技士からみた看護職とのかかわり、臨床工学技士とチーム医療医師とは、医師からみた看護職とのかかわり、医師とチーム医療	大濱和也
	第9回　関係職種の理解　８ 薬剤師とは、薬剤師からみた看護職とのかかわり、薬剤師とチーム医療	鍵山智樹
	第10回　関係職種の理解　９ 管理栄養士とは、管理栄養士からみた看護職とのかかわり、管理栄養士とチーム医療（ゲストスピーカー：塚越淳） 介護福祉士とは、介護福祉士からみた看護職とのかかわり、介護福祉士とチーム医療（ゲストスピーカー：田口敏治）	矢島正榮
	第11回　関係職種の理解　１０ メディカルソーシャルワーカー（MSW）とは、MSWからみた看護職とのかかわり、MSWとチーム医療（ゲストスピーカー：藤井裕哉） 精神保健福祉士とは、精神保健福祉士から見た看護職とのかかわり、精神保健福祉士とチーム医療（ゲストスピーカー：米山恵美子）	矢島正榮
	第12回　関係職種の理解　１１ ケアマネージャーとは、ケアマネージャーから見た看護職との関わり、ケアマネージャーとチーム医療（ゲストスピーカー：未定） 技師装具士とは、技師装具士から見た看護職との関わり、技師装具士とチーム医療（ゲストスピーカー：平井正利）	矢島正榮
	第13回　チーム医療の実際　１ 栄養サポートチームについて（ゲストスピーカー：板垣卓美）	矢島正榮
	第14回　チーム医療の実際　２ 摂食嚥下障害看護認定看護師について（ゲストスピーカー：板垣卓美）	矢島正榮
	第15回　地域における多職種連携・カンファレンスについて 訪問看護師、保健師と多職種連携 カンファレンスについて	矢島正榮
科目の目的	チーム医療、多職種連携の意義と目的、看護職が連携する様々な関係職種の専門性と役割、チーム医療、多職種連携における看護の役割を理解し、自らが、将来、医療チームの一員として役割を果たすことと、今後の大学での学びを関連付ける。【協調・協働】	
到達目標	1. チーム医療の背景、目的、意義を説明できる。 2. 各保健医療福祉専門職の専門性、主たる業務、チーム医療における役割を説明できる。 3. 各保健医療福祉専門職と看護職がどのように連携しているかを説明できる。	

	4. カンファレンスの意義と進め方を説明できる。 5. 将来、医療チームの一員として役割を果たすための自らの課題を述べることができる。
関連科目	看護への誘い、看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、地域在宅看護学概論、成人看護学総論、老年看護学総論、精神保健
成績評価方法・基準	レポート　100％
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習として、各回の職種について事前に下調べを行うこと（30分程度）。復習として、理解し得た事項を箇条書きにしてノートにまとめておくこと（30分程度）。
教科書・参考書	特に指定しない。
オフィス・アワー	全ての先生：講義の前後
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅱ-9-A-i ≪成人看護学≫-Ⅲ-6-D-c
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	なし

講義科目名称： 国際看護論　　授業コード： 4N107

英文科目名称： International Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長嶺めぐみ	堀込由紀		

授業形態	講義6回、演習2回	担当者
授業計画	第1回　国際看護の概念と対象・文化とは何か（講義） 1.なぜ国際看護について学ぶのか 2.日本と海外で異なる国際看護の対象 3.何が看護に影響を与えるか 4.国際看護を知る 5.日本の国際看護の歴史 ６．文化の捉え方	長嶺めぐみ
	第2回　世界の健康課題（講義） １．国際協力を必要とする世界の現状 ２．世界の人々の健康にかかわる諸要因	長嶺めぐみ
	第3回　国際看護と異文化看護（講義） 1.看護と文化 2.異文化の理解と看護 3.文化ケアアプローチ 4.異文化への適応	長嶺めぐみ
	第4回　日本の国際協力と国際協力に関わる国際機関（講義） １．国際協力の理念 ２．国際協力に関わる機関	長嶺めぐみ
	第5回　国際協力としての看護の実際（講義） １．国際協力としての看護の現状と課題	長嶺めぐみ
	第6回　在留外国人への医療（講義） 1.在日外国人・訪日外国人への医療と看護の実際	長嶺めぐみ
	第7回　国際協力・看護協力の机上シュミレーション（GW）（演習） 事例内の課題解決に向けてグループごとに話し合う	長嶺めぐみ 堀込由紀
	第8回　発表会（演習） グループごとに話し合った課題解決に向けた取り組みの発表会	長嶺めぐみ 堀込由紀
科目の目的	国際協力や国際看護の概念や意義などを理解し、国際保健医療という視点において国際看護や国際協力などのあり方について考える。【対象の理解】【地域社会への貢献】【国際的な視野】	
到達目標	１．国際看護の概念や必要性を説明できる。 ２．国際協力の歴史的な経緯と最近の動向が説明できる。 ３．諸外国における健康問題や看護の現状が説明できる。 ４．日本や諸外国で自分ができる国際看護活動とは何かを考えることができる。	
関連科目	専門基礎科目―公衆衛生学、疫学，保健統計 専門科目－災害看護論	
成績評価方法・基準	ミニッツペーパー(16点)、GW・発表会（14点)、試験(70点)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿った教科書該当ページを熟読して講義に臨むこと。 【学習に必要な自己学習の目安】 1コマ当たり30分の準備学習と30分の復習が必要。	
教科書・参考書	教科書：国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために（看護学テキストNiCE）（南江堂） 参考書：「国際看護学入門」国際看護研究会編（医学書院） 医者のいないところで　村のヘルスケア手引書　デビッド・ワーナー（シェア） 世界子供白書（ユニセフ）等	
オフィス・アワー	授業前後	
国家試験出題基準	【看護師】 ≪看護の統合と実践≫-Ⅲ-3-A～B 【保健師】 ≪公衆衛生看護学概論≫-Ⅰ～Ⅲ-4-B-g ≪対象別公衆衛生看護活動論≫-Ⅰ～Ⅱ-6-B-a、Ⅰ～Ⅱ-7-A-b ≪保健医療福祉行政論≫-Ⅰ-3-D	
履修条件・履修上の注意	なし	

アクティブ・ラーニングの実施	グループごとに興味のあるテーマについて調査し、発表会で発表を行う。

講義科目名称： 災害看護論　　授業コード： 4N108

英文科目名称： Disaster Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床看護管理学　　授業コード： 4N109

英文科目名称： Clinical Nursing Administration and Policies　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 公衆衛生看護学概論　　授業コード： 4N110

英文科目名称： Introduction to Public Health Nursing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
矢島 正栄	中下冨子		廣田幸子	

授業形態	講義（28回）、演習（2回）		担当者
授業計画	第1回	公衆衛生看護の基本的な考え方 「公衆衛生」と「公衆衛生看護」、「地域看護」と「公衆衛生看護」 公衆衛生看護の理念と目的	矢島 正栄
	第2回	公衆衛生看護の場 公衆衛生看護の主な活動の場	矢島 正栄
	第3回	公衆衛生看護活動の特質（演習） 公衆衛生看護活動の実践例を題材に、レポート課題への取り組みとグループワークをとおして公衆衛生看護活動の特質を考える。	矢島 正栄
	第4回	公衆衛生看護活動の特質（演習） 公衆衛生看護活動の実践例を題材に、レポート課題への取り組みとグループワークをとおして公衆衛生看護活動の特質を考える。	矢島 正栄
	第5回	公衆衛生看護の対象　個人 公衆衛生看護の対象である個人の捉え方、個人に対する公衆衛生看護活動の特徴	矢島 正栄
	第6回	公衆衛生看護の対象　家族 公衆衛生看護の対象である家族の捉え方、家族に対する公衆衛生看護活動の特徴	矢島 正栄
	第7回	公衆衛生看護の対象　集団・地域 公衆衛生看護の対象である集団・地域の捉え方、集団・地域を対象とする公衆衛生看護活動の特徴	矢島 正栄
	第8回	公衆衛生看護の対象　現代の人々の健康課題 現代人々の生活と健康課題	矢島 正栄
	第9回	公衆衛生看護の対象　現代の人々の健康課題 現代の主要な健康課題と対策	矢島 正栄
	第10回	公衆衛生看護活動の方法 健康相談	矢島 正栄
	第11回	公衆衛生看護活動の方法 家庭訪問、健康診査	矢島 正栄
	第12回	公衆衛生看護の活動方法 健康教育、地区組織活動支援	矢島 正栄
	第13回	公衆衛生看護の活動方法 公衆衛生看護活動の展開	矢島 正栄
	第14回	公衆衛生看護の歴史 英国、米国における公衆衛生看護の萌芽 日本の公衆衛生看護の歴史1	矢島 正栄
	第15回	公衆衛生看護の歴史 日本の公衆衛生看護の歴史2	矢島 正栄
	第16回	公衆衛生看護と法律、職業倫理 公衆衛生看護と法律 公衆衛生看護と職業倫理	矢島 正栄
	学校保健		
	第1回	養護教諭と保健室 養護教諭制度の歴史的変遷、養護教諭の職務と役割、学校における保健室の目的と機能	中下 富子
	第2回	学校保健・学校保健組織 学校保健に関する関係法規、学校保健の領域、学校保健の行政体制・主な担当者とその役割、学校保健委員会の意義と機能	中下 富子
	第3回	学校における保健教育、特別支援教育 保健教育の位置づけと構成・内容、特別支援教育の概念と教育設置基準、学校における医療的ケア、発達や行動上の課題のある児童生徒への対応	中下 富子

	第4回	児童生徒の心の健康 心の健康課題のあらわれ方と特徴、心の健康課題のある児童生徒への対応、不登校や保健室登校の理解と対応	中下 富子
	第5回	学校における健康診断 児童生徒の健康状態における情報収集とその活用、健康観察、健康診断の目的と法的根拠、健康診断の方法と内容	中下 富子
	第6回	学校における疾病予防と感染症予防 児童生徒の疾病傾向、安全な学校生活を送るための学校生活管理指導票による対応、学校感染症とその対応	中下 富子
	第7回	学校環境衛生及び学校給食 学校環境衛生の目的と法的根拠、学校環境衛生活動と学校環境衛生基準、食育と学校給食、学校給食の衛生管理	中下 富子
	第8回	学校における救急処置と学校安全及び危機管理 学校事故の現状、保健室を中心とした救急処置と救急処置活動、学校安全の考え方、学校安全の領域、危機管理の考え方と進め方	中下 富子
	産業保健		
	第1回	産業保健・看護の考え方と我が国における変遷 産業保健の目的と定義、産業看護の定義と役割、産業保健・看護の歴史	廣田 幸子
	第2回	産業保健活動を推進するための体制 労働衛生行政、法体系、労働衛生管理体制、労働安全衛生マネジメントシステム	廣田 幸子
	第3回	産業保健の現状と健康課題 労働災害と業務上疾病の発生状況、労働者の健康状態	廣田 幸子
	第4回	産業保健活動の基本 総括管理、作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生教育と各管理における産業看護職の役割	廣田 幸子
	第5回	産業看護活動の実際① 職業性疾病及び作業関連疾患と予防対策、過重労働対策、メンタルヘルスケア対策	廣田 幸子
	第6回	産業看護活動の実際② 職場巡視、多様化する労働者への対応、地域・職域連携活動	廣田 幸子

科目の目的	公衆衛生看護の概念、地域の人々の健康課題と公衆衛生看護活動の方法について理解し、これからの公衆衛生看護の役割を展望する。【対象の理解】【国際的な視野】
到達目標	1. 公衆衛生看護の理念と歴史的変遷を説明できる。 2. 公衆衛生看護の対象である個人、家族、集団、地域について説明できる。 3. 公衆衛生看護活動の法的根拠を説明できる。 4. 公衆衛生看護の活動方法を説明できる。 5. 現代の我が国における人々の健康課題について説明できる。 6. 公衆衛生看護活動の場の特徴を説明できる。 7. 公衆衛生看護活動の倫理について説明できる。
関連科目	教養科目群：心身の発達の各科目、人と生活及び社会の仕組みの各科目 専門基礎科目群：健康支援と社会保障制度の各科目 専門科目群の各科目
成績評価方法・基準	公衆衛生看護学概論（担当：矢島）　試験70%、レポート20%、演習の観察評価10% 学校保健（担当：中下）　試験100% 産業保健（担当：廣田）　試験100% それぞれについて評価します。 （最終評価：公衆衛生看護学概論50%、学校保健25%、産業保健25%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義に臨む前にテキスト、配付資料を精読しておいてください。1コマにつき1時間程度の準備学習を求めます。
教科書・参考書	教科書 「保健学講座１　公衆衛生看護学概論」（メヂカルフレンド社） 「国民衛生の動向2021/2022」（財団法人厚生統計協会） （学校保健） 「編集　衛藤隆・岡田加奈子　改訂10版　学校保健マニュアル」（南山堂） 「国民衛生の動向2021/2022」（財団法人厚生統計協会） （産業保健） 「保健師講座３　公衆衛生看護活動展開論」（メヂカルフレンド社） 参考書 （産業看護） 「国民衛生の動向2021/2022」（財団法人厚生統計協会） 公衆衛生看護学テキスト第4巻 公衆衛生看護活動II 2021年版学校保健・産業保健（医歯薬出版株式会社） 産業看護学第2版 2020年版（日本看護協会出版会）
オフィス・アワー	矢島正栄：月～金曜日17:00～18:00 中下富子・廣田幸子：講義の前後
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修≫-Ⅰ-1-A-b、Ⅰ-1-B、Ⅰ-2-C、Ⅰ-4-A-a、Ⅰ-4-A-e、Ⅰ-4-C-c、Ⅰ-5-A、Ⅱ-9-A-e～h

	≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅰ-1-A ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅰ-2-A-b～d、Ⅰ-2-B、Ⅱ-3-A-c、Ⅲ-6-A～B、Ⅲ-9-A～B、Ⅲ-9-C-c、Ⅲ-9-D、Ⅲ-10-B ≪小児看護学≫-Ⅲ-6-A ≪母性看護学≫-Ⅰ-1-B-a、Ⅰ-1-B-c～f、Ⅰ-1-C 【保健師】 ≪公衆衛生看護学概論≫-Ⅰ～Ⅲ-1-A～B、Ⅰ～Ⅲ-2-A～E、Ⅰ～Ⅲ-3-A～C、Ⅰ～Ⅲ-4-A～B、Ⅰ～Ⅲ-5-A～B ≪公衆衛生看護学方法論Ⅰ≫-Ⅰ-4-A、Ⅰ-5-A-a～e、Ⅰ-5-B-a～e、Ⅰ-5-C-a～e、Ⅰ-5-D-a～e、Ⅰ-E-A-a～e、Ⅰ-5-F-a～e ≪対象別公衆衛生看護活動論≫-Ⅰ～Ⅱ-1-D-d ≪学校保健・産業保健≫-Ⅰ～Ⅱ-1-A～C、Ⅰ～Ⅱ-2-A～D、Ⅰ～Ⅱ-3-A～C、Ⅰ～Ⅱ-4-A～D ≪健康危機管理≫-Ⅰ～Ⅲ-7-A-b ≪保健医療福祉行政論≫-Ⅰ-8-M-a～b
履修条件・履修上の注意	講義資料は原則として講義2日前から1週間の間Active Academyにより配布します。印刷して持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク

講義科目名称： 公衆衛生看護技術論　　授業コード： 4N111

英文科目名称： Public Health Nursing Skills Method　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
奥野みどり	奥野みどり		

授業形態	講義（20回）・演習（10回）		担当者
授業計画	第1回	公衆衛生看護の支援技術1 対人支援の目的、必要な態度	奥野みどり
	第2回	公衆衛生看護の支援技術2 対人支援の過程と特徴、共通技術	奥野みどり
	第3回	面接技術1：面接技術の基本	奥野みどり
	第4回	面接技術2：面接技術演習 ※提出課題あり。本授業内にて振り返りを行う。	奥野みどり
	第5回	健康相談1：健康相談の基本姿勢、場の特徴、対象（講義）	奥野みどり
	第6回	健康相談2：健康相談の展開方法	奥野みどり
	第7回	健康相談3：演習1　相談的対応1	奥野みどり
	第8回	健康相談4：演習2　相談的対応2 事例における相談的対応の検討②課題の検討　※提出課題あり。本授業内にて発表、共有の機会を設定して振り返りを行う。	奥野みどり
	第9回	健康教育1：健康教育の理念	奥野みどり
	第10回	健康教育2：健康教育の目的・対象・方法	奥野みどり
	第11回	健康教育3：健康教育に用いられる理論1	奥野みどり
	第12回	健康教育4：健康教育に用いられる理論2	奥野みどり
	第13回	健康教育5：健康教育の展開	奥野みどり
	第14回	健康教育6：健康教育計画と指導案	奥野みどり
	第15回	健康教育7：健康教育の実際 ※提出課題あり。本授業内にて振り返りを行う。	奥野みどり
	第16回	健康教育8：健康教育の評価	奥野みどり
	第17回	家族保健指導1：家族の発達課題、家族の持つ保健機能	奥野みどり
	第18回	家族保健指導2：家族の問題把握と診断、家族支援	奥野みどり
	第19回	家族保健指導3：演習1　家族の保健指導計画立案① 家族の健康課題の抽出	奥野みどり
	第20回	家族保健指導4：演習2　家族の問題把握と診断、家族支援 家族の健康課題に対する支援目的・目標の設定	奥野みどり
	第21回	家族保健指導5：演習3　家族の保健指導計画案① 保健指導計画の立案①	奥野みどり
	第22回	家族保健指導6：演習4　家族の保健指導計画案② 保健指導計画の立案②	奥野みどり
	第23回	家族保健指導7：演習5　家族の保健指導計画案③ 教育媒体の作成①	奥野みどり
	第24回	家族保健指導8：演習6　家族の保健指導計画案④ 教育媒体の作成②　12月最終授業にて課題の返却およびフィードバックを行う。	奥野みどり
	第25回	家庭訪問1：家庭訪問の意義と目的、対象	奥野みどり
	第26回	家庭訪問2：家庭訪問の展開、事後処理	奥野みどり
	第27回	検診・健康診査1：健康診査の意義、目的、対象	奥野みどり
	第28回	検診・健康診査2：演習1　健康診査の方法 問診の実際	奥野みどり

	第29回　　地域組織活動1：地域組織活動の意義と目的、実際 第30回　　地域組織活動2：地域組織の育成・運営に関わる保健師活動のあり方	奥野みどり 奥野みどり
科目の目的	公衆衛生看護活動の方法である健康相談、面接技術、家庭訪問、家族保健指導、健康教育、健康診査、地区組織活動支援について、活動方法の特徴、対象の理解や活動の展開に用いられる主要な理論、地域における展開方法の実際について学び、活動展開に必要な基本的知識・技術を習得する。 【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	1.面接技術、健康相談、家族保健指導の意義と目的を理解し、対象や場面に応じた保健指導が実施できる。 2. 健康教育の概念と理論、個人及び集団を対象に健康教育を実施するプロセスと方法が説明できる。 3. 家庭訪問の意義、目的とプロセス（準備・実施・評価）が説明できる。 4. 健康診査の意義、目的とプロセス（規格・実施・評価）が説明できる。 5. 地域組織活動の意義、活用される理論と支援方法が説明できる。	
関連科目	公衆衛生看護学概論、個人・家族の公衆衛生看護技術演習、集団・地域の公衆衛生看護技術演習、公衆衛生看護活動展開論、地域保健政策論、施策化・政策形成過程演習、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ、公衆衛生看護管理、公衆衛生看護学実習、カウンセリング	
成績評価方法・基準	試験（50%）、レポート（50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各講義に対する事前および事後は、各テーマについて教科書の内容および講義内配布資料等を精読して予習および復習を行う。（各回1時間）尚、健康相談演習事例に関する事前学習（2.5時間）、家族への保健指導計画作成と実施・評価（10時間）	
教科書・参考書	【教科書】標準保健師講座2　公衆衛生看護技術（第5版）　中村裕美子　他（医学書院）	
オフィス・アワー	奥野　12:10～13:00、16:10～18:00	
国家試験出題基準	【保健師】 ≪公衆衛生看護学方法論Ⅰ≫-Ⅰ-1-A～C、Ⅰ-2-A～C、Ⅰ-3-A～C、Ⅰ-4-B～F、Ⅰ-5-A-a～e、Ⅰ-5-B-a～e、Ⅰ-5-C-a～e、Ⅰ-5-D-a～e、Ⅰ-5-E-a～e、Ⅰ-5-F-a～e ≪公衆衛生看護学方法論Ⅱ≫-Ⅰ～Ⅱ-3-A～B ≪対象別公衆衛生看護活動論≫-Ⅰ～Ⅱ-1-C-a～f、Ⅰ～Ⅱ-1-C-h、Ⅰ～Ⅱ-2-C	
履修条件・履修上の注意	保健師国家試験受験資格取得のための要件科目。	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、体験学習、グループディスカッション	

講義科目名称： 対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ　　授業コード： 4N112

英文科目名称： Public Health Nursing Activities I　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
奥野 みどり			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ　　授業コード： 4N113

英文科目名称： Public Health Nusring Activities II　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
廣田 幸子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 個人・家族の公衆衛生看護技術演習　　授業コード： 4N114

英文科目名称： Practice in Public Health Nursing Skills Method for Person & Family　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
奥野 みどり			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 集団・地域の公衆衛生看護技術演習　　授業コード： 4N115

英文科目名称： Practice in Public Health Nursing Skills Method for Group & Community　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
廣田 幸子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 公衆衛生看護活動展開論　　授業コード： 4N116

英文科目名称： Advanced Public Health Nursing Activities　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
小林亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 地域保健政策論　　授業コード： 4N117

英文科目名称： Community Health Policy　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
小林亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 施策化・政策形成過程演習　　授業コード： 4N118

英文科目名称： Practice in measure and Policy Formation Process　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
小林亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 公衆衛生看護管理　　授業コード： 4N119

英文科目名称： Public Health Nursing Administration　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
矢島 正栄			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 助産学概論　　授業コード： 4N120

英文科目名称： Introduction to Midwifery　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 母子と家族の心理・社会学　　授業コード： 4N121

英文科目名称： Psychosociology for Mother, Child and Family　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 助産基礎医学　　授業コード： 4N122

英文科目名称： Basic Medicine for Midwifery　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
早川 有子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 周産期診断学　　授業コード： 4N123

英文科目名称： Perinatal Diagnostics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
家坂 直子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 妊娠期助産診断技術学　　授業コード： 4N124

英文科目名称： Gestation Period Midwifery Diagnostic Technology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 分娩期助産診断技術学　　授業コード： 4N125

英文科目名称： Intrapartum Period Midwifery Diagnostic Technology　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 産褥期助産診断技術学　　授業コード： 4N126

英文科目名称： Puerperium Midwifery Diagnostic Technology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 新生児・乳幼児期助産診断技術学　　授業コード： 4N127

英文科目名称： Neonatal and Infant Period Midwifery Diagnostic Technololy　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： ハイリスク助産診断技術学　　授業コード： 4N128

英文科目名称： High Risk Midwifery Diagnostic Technololy　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
廣瀬 文乃			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 助産診断技術学演習　　授業コード： 4N129

英文科目名称： Practice in Midwifery Diagnostic Technololy　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： ハイリスク助産診断技術学演習　　授業コード： 4N130

英文科目名称： Practice in High Risk Midwifery Diagnostic Technololy　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
廣瀬 文乃			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 地域母子保健論　　授業コード： 4N131

英文科目名称： Community maternal and child health　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 助産管理　　授業コード： 4N132

英文科目名称： Midwifery Management　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
早川 有子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 看護基礎実習　　授業コード： 4N133

英文科目名称： Basic Nursing Practicum　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
萩原 一美	堀込由紀		長嶺めぐみ	千葉今日子
	森田綾子		佐藤美保	

授業形態	実習（5日間）	担当者
授業計画	実習内容・方法 １．病院の構造・機能、地域医療の中での役割を理解する。 1)看護部のオリエンテーション、部門見学 2)病棟オリエンテーション、病棟見学 ２．病院で働く看護職及び他の様々な職種の役割を理解する。 1)看護師の援助場面に同行 2)病棟でのカンファレンス 3)看護部のオリエンテーション ３．対象との関係を成立させるコミュニケーションを理解する。 1)看護師と患者のコミュニケーション場面の見学 ・傾聴・受容的態度、言語的・非言語的コミュニケーション 2)患者とコミュニケーション ４．コミュニケーションをとおしての自己の課題と解決策を考える。 1)プロセスレコードによる自己のコミュニケーションの振り返り 2) コミュニケーションのおける自己の傾向と課題と解決策 ５．看護者の役割と責務、看護の目的を考える。 １）実習をとおしての学びとしてレポート記述 実習期間・時間 2023年：2月の5日間（9：00～16：00） 実習場所 １．病院実習：高崎総合医療センター ２．学内実習（大学内　講義室） 実習のすすめ方 1)学内オリエンテーション：学内 ・実習目的、目標、行動目標、実習方法、実習記録、評価、留意事項について教員が説明を行う。 2)病院実習 （１）病院オリエンテーション：高崎総合医療センター ①病院の機能、構造、役割 ②看護部の役割、チーム医療 （２）病棟オリエンテーション 病棟の特徴、看護体制、構造などを実習指導者より説明を受ける。 （３）選定された患者とのコミュニケーション （４）看護師の看護援助場面の見学 3)学内実習 （１）入院患者の身体的・心理的・社会的特徴の特徴を理論と実際を比較し考察する。 （２）患者とのコミュニケーションから、自己のコミュニケーション能力を分析し考察する。	萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 千葉今日子 森田綾子 佐藤美保
科目の目的	コミュニケーションをとおして看護の対象とその生活環境を理解し、看護の役割を考えることを目的とする。【対象の理解】【協調・協働】	
到達目標	1. 対象が療養する場としての病院の環境を説明できる。 2. 対象が療養する場での生活について説明できる。 3. 会話をとおして、看護の対象の特徴を説明できる。 4. 対象とのコミュニケーションをとおして自己を振り返り、課題に気づくことができる。 5. 実習をとおして、看護師の役割と責任及び看護の目的を説明できる。 6. 看護学生として積極的に学び、責任ある行動をとることができる。	
関連科目	専門科目群：看護学概論Ⅰ・Ⅱ　基礎看護技術演習　コミュニケーション論　日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ	
成績評価方法・基準	看護基礎実習の評価表に準じ評価する（100%）。評価にあたっては、実習の出席日数、実習中の学習・事前・事後学習への取り組みを勘案して総合的に評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	実習前・後　1日につき　60分～120分	
教科書・参考書	教科書1：系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ　医学書院 教科書2：系統看護学講座　専門分野　看護学概論　医学書院	
オフィス・アワー	実習前（2月初旬のオリエンテーション～病院実習終了時）実習時間　9：00～16：00　実習終了後：16：00～16：30 萩原一美（実習場所または研究室）	

	堀込由紀（実習場所または研究室） 長嶺めぐみ（実習場所または研究室） 千葉今日子（実習場所または研究室） 森田綾子（実習場所または研究室） 佐藤美保（実習場所または研究室）
国家試験出題基準	≪必修問題≫Ⅰ-1-C-e　Ⅱ-9-A-a、B-b　Ⅳ-13-A-a・b、15-A-a~c ≪基礎看護学≫Ⅰ-1-A-a~c、B-a~g、C-a~c　Ⅱ-3-A-a・b、　Ⅲ-6-A-b、6-B-a
履修条件・履修上の注意	病院実習では、実習用ユニフォーム、ナースシューズ、名札を着用すること。また、実習要項を熟読の上、積極的な姿勢で臨むこと。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習・発見学習・問題解決学習
実務経験のある教員による授業	
実務経験	萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、長嶺めぐみ（看護師）、千葉今日子（看護師）、森田 綾子（看護師）、佐藤 美保（看護師）
授業の概要	療養生活支援実習及び臨床看護実習、地域・在宅看護実習の基盤の実習となるよう、従来の病院での療養者（患者）だけを対象とするのではなく、さまざまな場（環境）で生活する看護の対象を理解する。対象を理解する上で必要な、コミュニケーションの基本「聴く」「書く」「話す」を通して、自己のコミュニケ―ションを振り返る。

講義科目名称： 療養生活支援実習　　授業コード： 4N134

英文科目名称： Nursing Practicum in Hospitalized Life Support　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
堀込 由紀	萩原一美		長嶺めぐみ	千葉今日子
	森田綾子		佐藤美保	

授業形態	実習(2週間)	担当者
授業計画	実習病院　高崎総合医療センター、公立藤岡総合病院、群馬中央病院、善衆会病院、日高病院 学内実習　群馬パース大学教室、ゼミ室、実習室等 実習期間　2023年8月14日～8月24日、 2023年8月27日～9月7日　２週間 実習時間　8：30～16：00 実習内容　病院実習 ＜1週目＞ 月曜日　病院実習（病院・病棟オリエンテーション、患者受け持ち実習） 火～水、金曜日 病院実習（患者受け持ち実習） 木曜日　学内実習（関連図、看護問題リストを中心に学習を進める） ＜2週目＞ 月～木曜日 病院実習（ケアプランの実施・評価・修正） 金曜日　学内実習（記録整理・評価面接） 実習内容 病院実習においては、学生１名に対し、一名の対象者を受け持ち、療養生活上のニーズを捉え、必要な看護援助を行う。詳細は実習要項に提示する。 実習記録 1. 受け持ち患者記録1（フェイスシート） 2. 受け持ち患者記録2-1、2-2、2-3（アセスメントシート） 3. 受け持ち患者記録3（関連図､看護の方向性） 4. 受け持ち患者記録4（問題リスト） 5. 受け持ち患者記録5（ケアプラン） 6. 看護援助実施計画 7. 実習行動計画表 8. カンファレンスの記録 9. 実習評価表 10. レポート 11. その他（事前学習、看護技術自己練習表、実習及び演習におけるプログレスファイル） オリエンテーション（７月） 実習目的、実習目標、実習方法、留意事項、事前学習等に関して説明を聞き、実習に向けての準備を行う。	堀込由紀・萩原一美・長嶺めぐみ、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保他
科目の目的	対象を理解し、健康の維持や回復に関わる療養生活上のニーズを捉え看護過程の展開を通して対象に必要な看護援助を行う。また、実施した看護について振り返り、自己の課題を明確化する。 【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	1.　対象者へ関心を持ち、援助関係を構築することができる。 2.　対象者の療養生活におけるニーズを把握し看護過程を展開することができる。 3.　対象者に必要な療養生活上の看護援助を根拠に基づき、安全、安楽に配慮し実施することができる。 4.　看護学生としての責任と態度について考え、自己の課題を明らかにすることができる。	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ、臨床検査学、免疫・感染症学、発達心理学、看護学概論Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション論、基礎看護技術演習、看護基礎実習、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、看護過程論入門、看護過程展開論演習	
成績評価方法・基準	実習期間の4/5以上出席した者を対象に、療養生活支援実習評価表に基づき評価する（100%）。療養生支援実習評価表は、実習目標の到達度、実習に対する主体的な態度や取り組み状況の評価、記録物の提出状況等を総合的に評価するよう構成する。	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習は別途提示する。また、既習の看護技術について、実習室にて自己学習を行う（療養生活支援実習技術練習表参照）。
教科書・参考書	特に指定しない。
オフィス・アワー	火曜・金曜日：12：10～12：50（堀込研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	事前学習を行い、既習の看護技術について自己練習を行って十分な準備をした上で、主体的に実習に臨むこと。実習では身だしなみを整え、体調管理を十分に行い参加すること。個人情報保護の必要性を十分に理解し、倫理的態度をもって実習に臨むこと。
アクティブ・ラーニングの実施	臨地での実習において、学生自らが主体となり、療養生活支援を中心とした看護を実践するための基礎的能力を修得し、学習過程で生じた疑問や意見は、教員や実習指導者への質問、カンファレンスでの意見交換による相互学習を行うことで、理解につなげていく。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	堀込 由紀（看護師）、萩原 一美（看護師）、長嶺 めぐみ（看護師）、千葉 今日子（看護師）、吉野めぐみ（看護師）、森田 綾子（看護師）、佐藤 美保（看護師）、林　恵（看護師）
授業の概要	健康問題を抱えた対象の療養生活上のニーズを捉え、対象者と援助的関係を築きながら、 日常生活援助支援を中心とした看護を実践するための基礎的能力を育む。また、看護を実践する上で必要な思考過程を学ぶ。

講義科目名称： 臨床看護基盤実習　　授業コード： 4N135

英文科目名称： Fundamental Clinical Nursing Practicum　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 政孝	看護学科全教員		

授業形態	実習	担当者
授業計画	実習期間 実習日程：2024年2月16日(金)～3月12日(火) 　病院実習7日間、学内実習3日間 実習時間：8:30～16:30 実習施設 独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター 公立藤岡総合病院 公立富岡総合病院 実習の過程 2週間の実習期間の内、病院実習7日間、学内実習3日間で展開する。 1)病院実習 受け持ち対象者基準に準じた1名を受け持ち、疾患や障害により生じる健康上の問題に焦点をあて、情報の分析、看護診断、計画立案、実施・評価という健康問題の解決のための看護の過程を展開する。また、病棟オリエンテーション（病院実習初日）、ショートカンファレンス（毎日）、ケアプラン検討カンファレンス（5日目）、最終カンファレンス（最終日7日目）を実施する。 2)学内実習 臨床看護基盤実習初日の1日、ならびに病院実習後の2日間に学内実習を実施する。学内実習初日に、実習目的、目標、行動目標、実習方法、実習記録、評価等について、教員より説明を受ける。また、患者選定を行い、病院実習に臨む前に受け持つ患者の疾患について学習する機会を設ける。 病院実習翌日からの2日間で、病院実習で用いた実習記録の追加修正、提出物の整理、実習後レポートの作成を行う。 実習記録 1. 受け持ち患者記録Ⅰ(アセスメントシート) 2. 受け持ち患者記録Ⅱ(関連図) 3. 受け持ち患者記録Ⅲ(ケアプラン) 4. 受け持ち患者記録Ⅳ(看護記録) 5. 実習行動計画表 6. 事前学習 7. 実習後レポート	
科目の目的	既習の看護学の知識と技術および態度を統合し、対象の疾患や障害により生じる健康上の問題を解決するための看護過程を展開し実践する能力を養う。 【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	1. 対象の身体的・心理社会的特性を把握することができる。 2. 対象の健康問題を理解し系統的に看護過程を展開することで、具体性のある看護を実践できる。 3. 展開した看護過程を振り返り、実践した看護の評価ができる。 4. チーム医療における看護師の役割を理解し、チームの一員という自覚のもと行動できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、病態栄養学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、免疫・感染症学、臨床検査学、発達心理学、臨床心理学、看護学概論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習、コミュニケーション論、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、看護過程論入門、看護過程展開論演習、治療援助学演習、看護基礎実習・療養生活支援実習ほか全臨地実習、統合実習	
成績評価方法・基準	実習日数のうち4/5以上、出席した者を評価の対象とし、臨床看護学基盤実習評価表に基づき評価する。 実習目標の到達度50%、記録物の内容及び提出状況30%、実習態度20%とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	受け持ちが予測される疾患(呼吸器、消化器、血液造血器等)について、病態生理、症状、検査、治療、看護に関する学習をすること。準備学習の内容や項目、それに必要な時間など、詳細は、実習要項に提示する。	
教科書・参考書	教科書 『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学1　看護学概論』(メディカ出版) 『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学2　基礎看護技術Ⅰ』(メディカ出版) 『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学3　基礎看護技術Ⅱ』(メディカ出版) 『看護がみえるvol.1　基礎看護技術』（MEDIC MEDIA) 『系統看護学講座 専門分野　臨床看護総論』（医学書院） 『系統看護学講座 専門分野　成人看護学総論』（医学書院） 参考書 『緊急度・重症度からみた　症状別看護過程+病態関連図』（医学書院） 『わかる！検査値とケアのポイント』（医学書院）	

	解剖学、生理学、薬理学、病態生理学、疾病の理解等において使用した教科書および参考書
オフィス・アワー	担当教員が実習時間内（病棟実習、学内実習）に対応する。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	自己の健康管理に留意し、主体的に実習に取り組むこと。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習（実習）
実務経験のある教員による授業	
実務経験	堀越 政孝（看護師）
授業の概要	生活上の視点から看護の対象を捉え看護過程を展開する方法から、健康問題・健康障害をもつ対象という視点に移行する初期の段階に位置づけた実習となる。1名の患者を受け持ち、健康上の問題に焦点をあて、情報の分析、看護診断、計画立案、実施・評価という、健康問題の解決のための看護の過程を学ぶ。

講義科目名称： 地域・在宅看護学実習　　授業コード： 4N136

英文科目名称： Home and Community-based Care Nursing Practicum　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2学年	必修
担当教員	担当者		
齋藤　　基			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 成人看護学実習　　授業コード： 4N137

英文科目名称： Adult Nursing Practicum　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	5単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 英子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 老年看護学実習　　授業コード： 4N138

英文科目名称： Gerontological Nurisng Practicum　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	3単位	必修
担当教員	担当者		
東泉 貴子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 小児看護学実習　　授業コード： 4N139

英文科目名称： Child Health Nursing Practicum　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 母性看護学実習　　授業コード： 4N140

英文科目名称： Maternity Nursing Practicum　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 精神看護学実習　　授業コード： 4N141

英文科目名称： Psychiatric Nursing Practicum　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
西川　　薫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 統合実習　　授業コード： 4N142

英文科目名称： Integrated Practice　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習　　授業コード： 4N143

英文科目名称： Public Health Nursing Practicum　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	5単位	選択
担当教員	担当者		
小林亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 助産学実習　　授業コード： 4N144

英文科目名称： Actual practice midwifery　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	11単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 看護研究概説　　授業コード： 4N145

英文科目名称： Introduction to Nursing Research　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤　　基			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 卒業研究　　授業コード： 4N146

英文科目名称： Nursing Research　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	4単位	必修
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		